お客さまへ

取扱説明書記載内容訂正のお知らせ

このたびは CLIPPER EV をお買い上げいただき , ありがとうございました。
取扱説明書のインテリジェント エマージェンシーブレーキに関する記載内容を , 下記のとおり訂正させていただきますので , 本シートをお読みいただき , 取扱説明書とともに保管をお願い致します。

訂正内容

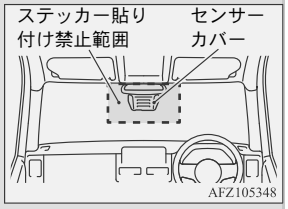
9-26 ～ 27 ページ　センサーの取り扱いの「注意」は , 本シートに読み替えをお願いします。

9-26 ～ 27 ページ

⚠注意

●システムの正しい作動のため，つぎのことをお守りください。取り扱いを誤ると，システムが正しく作動せず，重大な事故につながるおそれがあります。

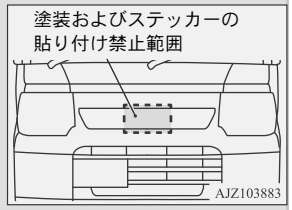
- センサー周辺は常にきれいにする。フロントガラスの内側が汚れたときは，日産販売会社にご連絡ください。
- センサーやセンサーの周辺に強い力や衝撃を与えたり，センサーを取り外したり，分解しない。
- センサーおよびセンサーカバー付近のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）や赤外線カットフィルムなどを貼らない。



- センサーカバーは，塗装や改造をしない。

⚠注意

- センサーおよびセンサー周辺のバンパーにステッカー（透明なものを含む）を貼らない。



- センサーおよびセンサー周辺のバンパーは，塗装や改造をしない。
- センサー付近にナンバープレートやグリルガードなどを取り付けない。
- フロントガラスが曇った場合は，マニュアルエアコンの設定を変えて曇りを取り除く。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P.11-7
- フロントガラスのセンサー前方部分をワイパーで適切にふき取れない場合は，ワイパーブレードを早めに交換する。フロントワイパー本体，ワイパーブレードを交換する場合は日産純正品をご使用ください。
- センサーのレンズを汚したり，傷をつけない。
- ガラスクリーナーや液体をセンサーにかけない。

⚠注意

- センサー付近に電子機器またはアンテナなど強い電波を発信する機器を取り付けない。
- 指定以外のサイズのタイヤを装着しない。または，摩耗差の著しいタイヤを混ぜて装着しない。
- サスペンションを改造しない。

●センサー付近のフロントガラスにひび割れや傷などがある状態では，システムが正しく作動せず，重大な事故につながるおそれがあります。インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチを操作してインテリジェント エマージェンシーブレーキおよび踏み間違い衝突防止アシストを停止させ，日産販売会社で点検を受けてください。
フロントガラスの交換が必要な場合は，日産販売会社にご相談ください。

●事故などでフロントバンパー内側のセンサーやセンサーの周辺が破損，変形した状態では，システムが正しく作動せず，重大な事故につながるおそれがあります。インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチを操作してインテリジェント エマージェンシーブレーキおよび踏み間違い衝突防止アシストを停止させ，日産販売会社で点検を受けてください。

発行－2024年9月
T00CCW076P-Z

このたびは日産車をお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200102963

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「CLIPPER EVを正しく理解していただくために」および「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

- 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠警告　記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

⚠注意　記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

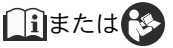
その他の表示

- お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

アドバイス　お車のために守っていただきたいこと。知っておくと便利なこと。

タイプ別装備　グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

- お車や装備品に貼られているラベルなどに表示されているマークの意味は，つぎの通りです。



または　取扱説明書をお読みください。

- 取扱説明書は車の中に保管してください。
- 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- 日産販売会社で取り付けられた装備の取り扱い要領については，その装備に添付の取扱説明書をお読みください。
- お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートをお車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

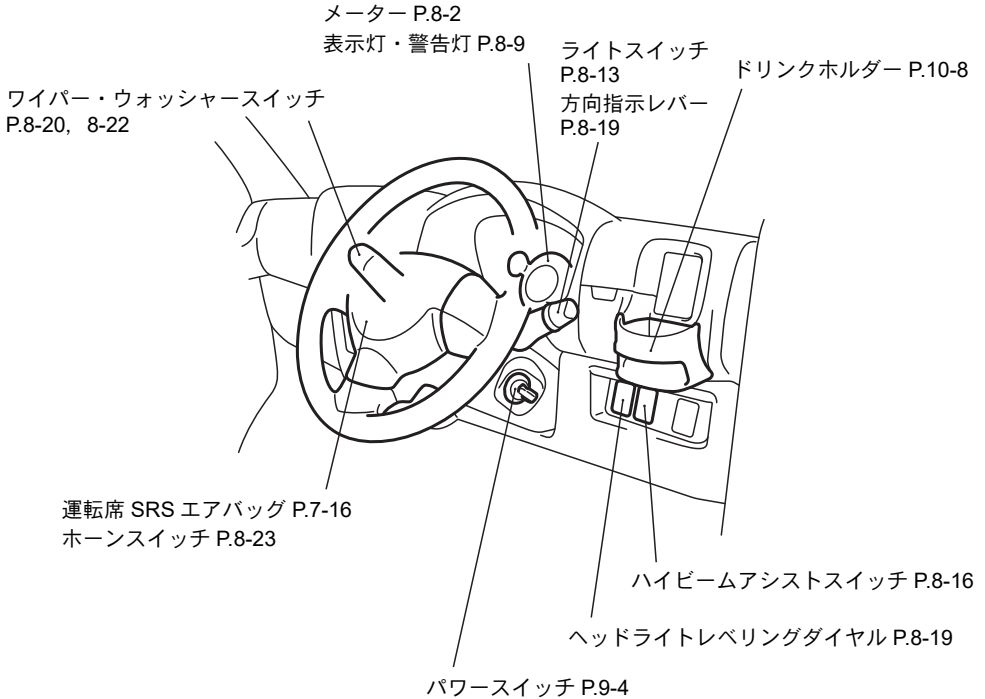
目次

絵で見る目次	1
CLIPPER EVを正しく理解していただくために	2
安全なドライブのために	3
環境にやさしく快適なドライブのために	4
充電	5
各部の開閉	6
安全装備	7
計器盤・スイッチ	8
運転装置	9
室内装備	10
エアコン	11
オーディオ	12
簡単な整備・車のお手入れ	13
寒冷時の取り扱い	14
もしものときの処置	15
サービスデータ	16
さくいん	17

1

ハンドルまわり

J00100802634



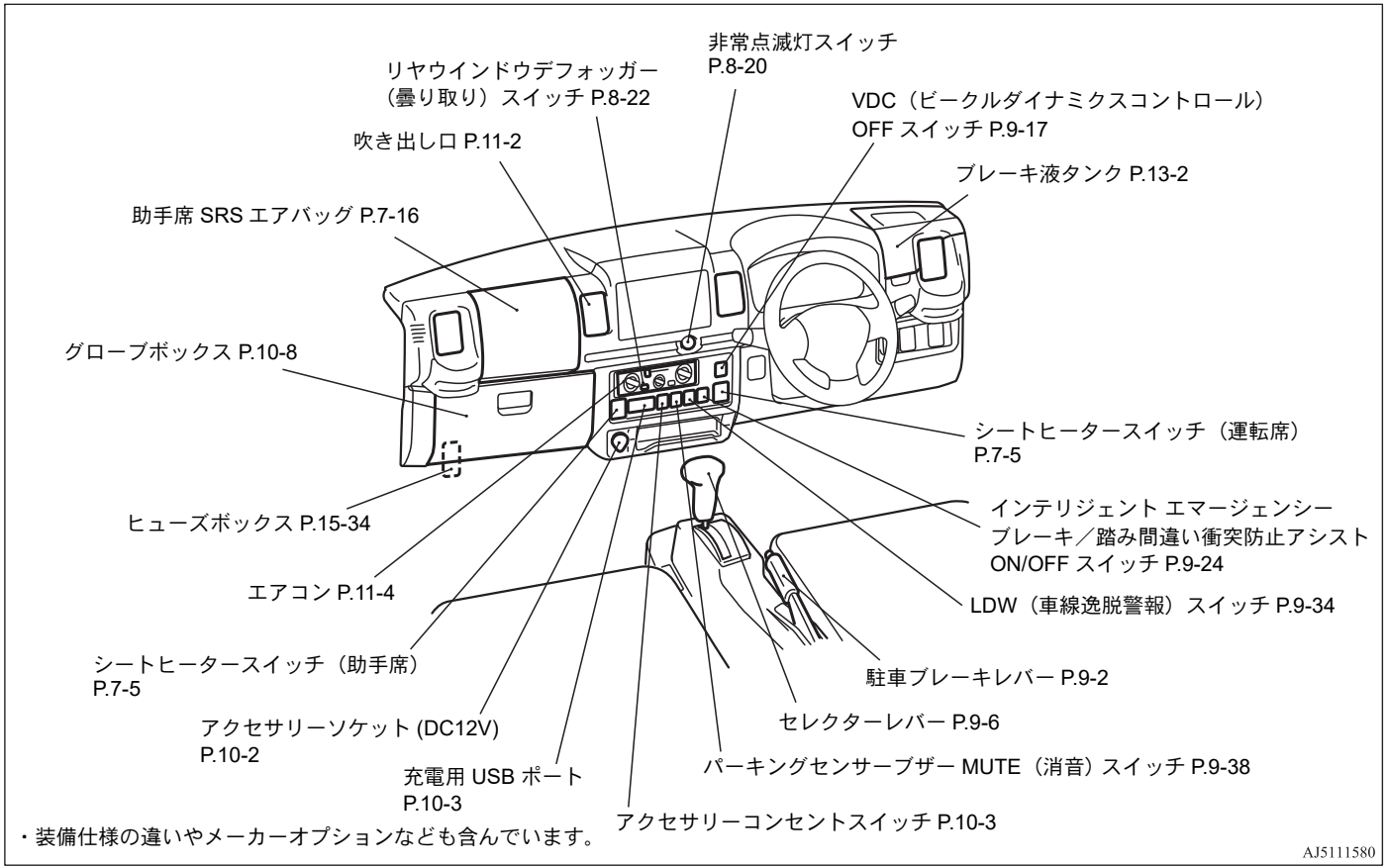
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005964

1-1　絵で見る目次

計器盤まわり

J00100103504

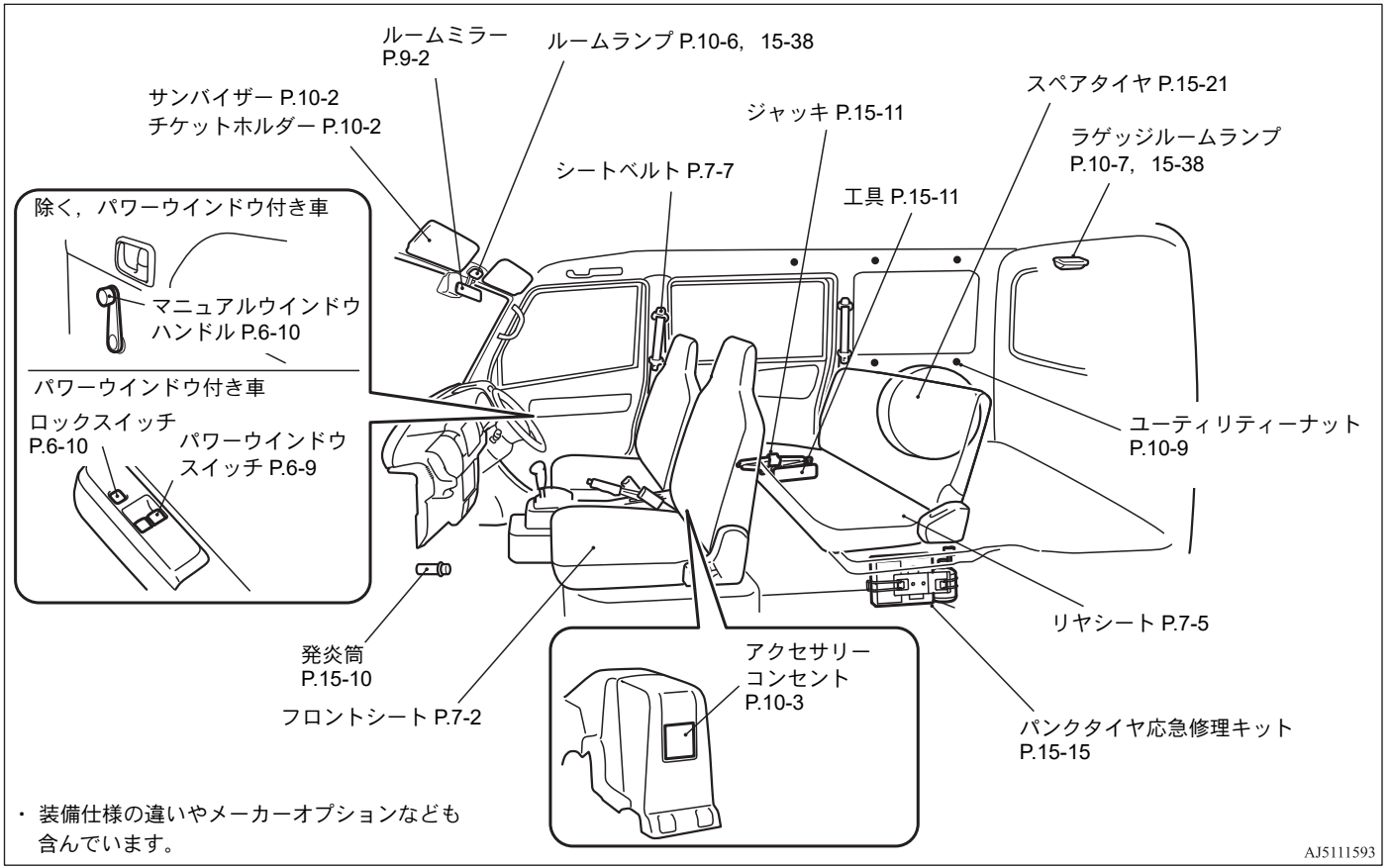


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

1

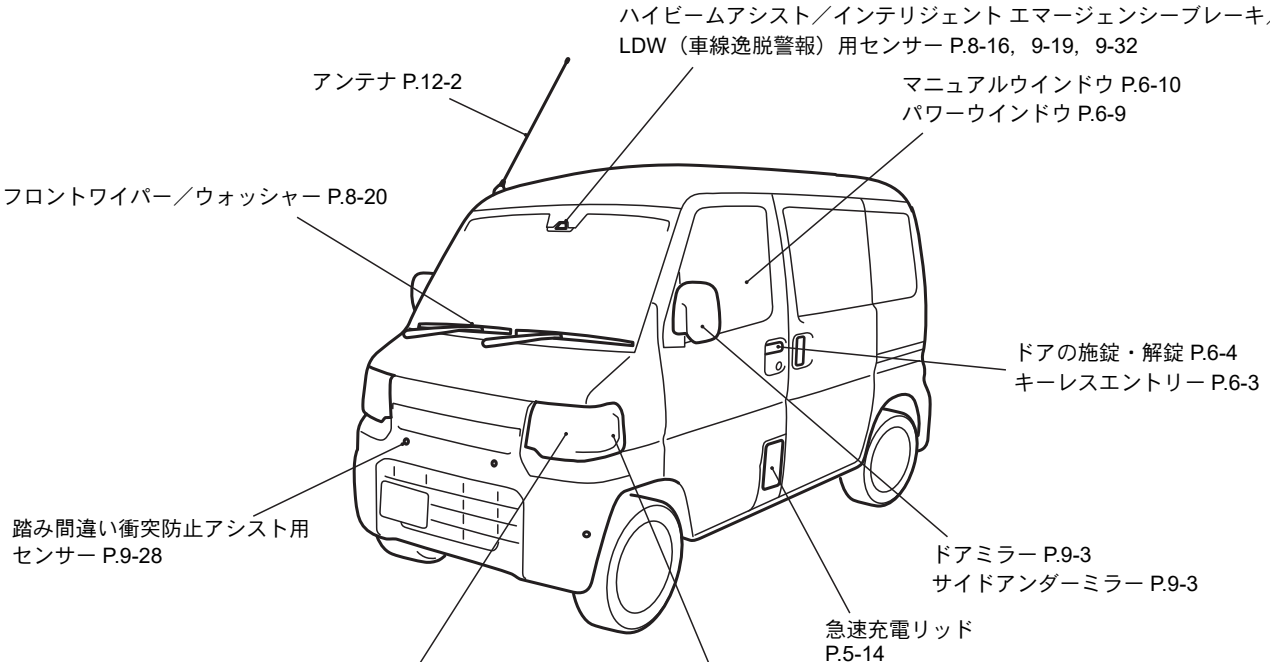
室内

J00100303346



外まわり

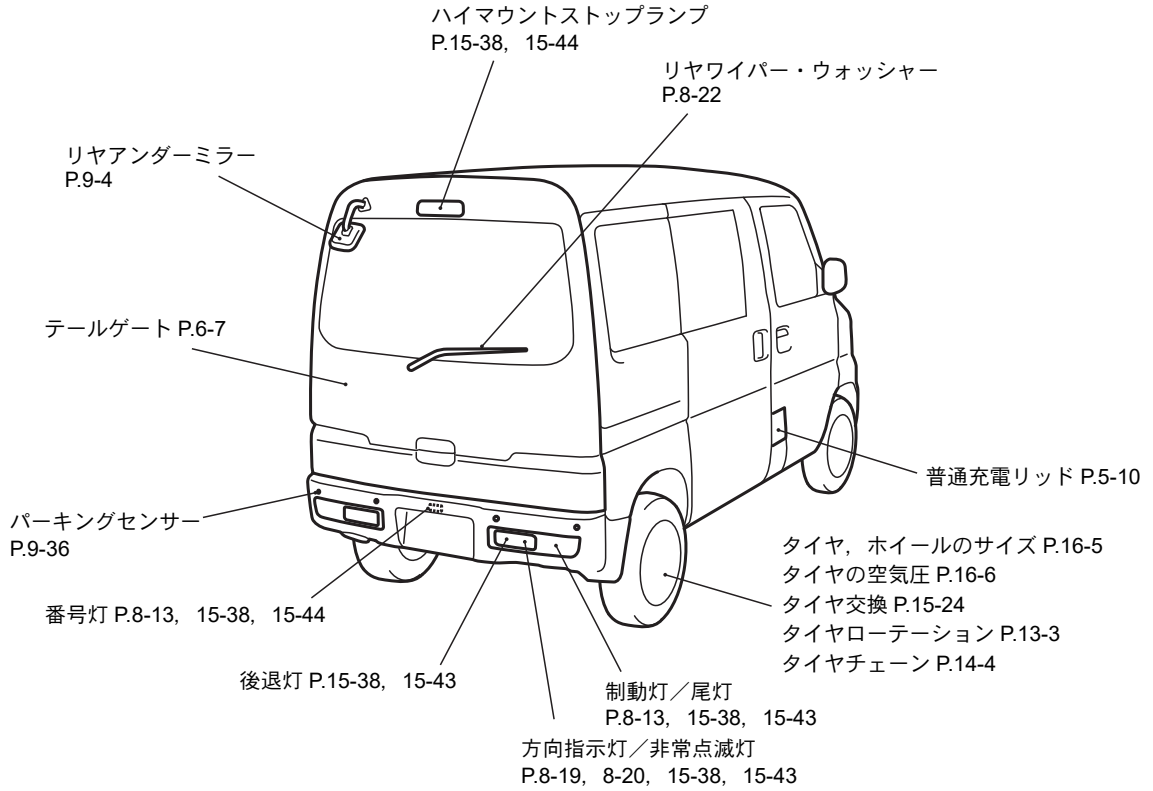
J00100403709



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AJ5111607

1

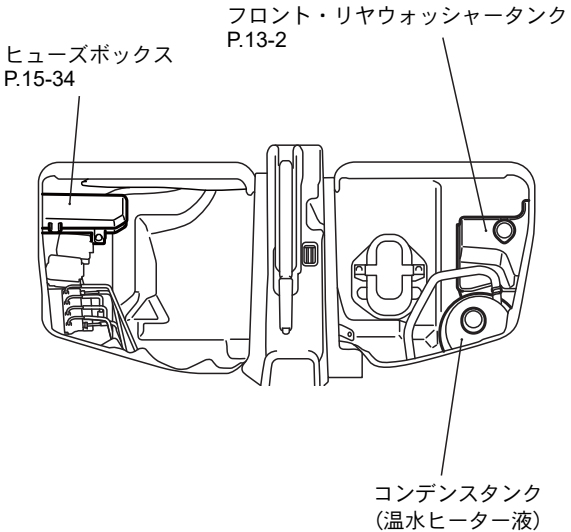


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AJ5111610

点検口（運転席／助手席下）

J00100502699



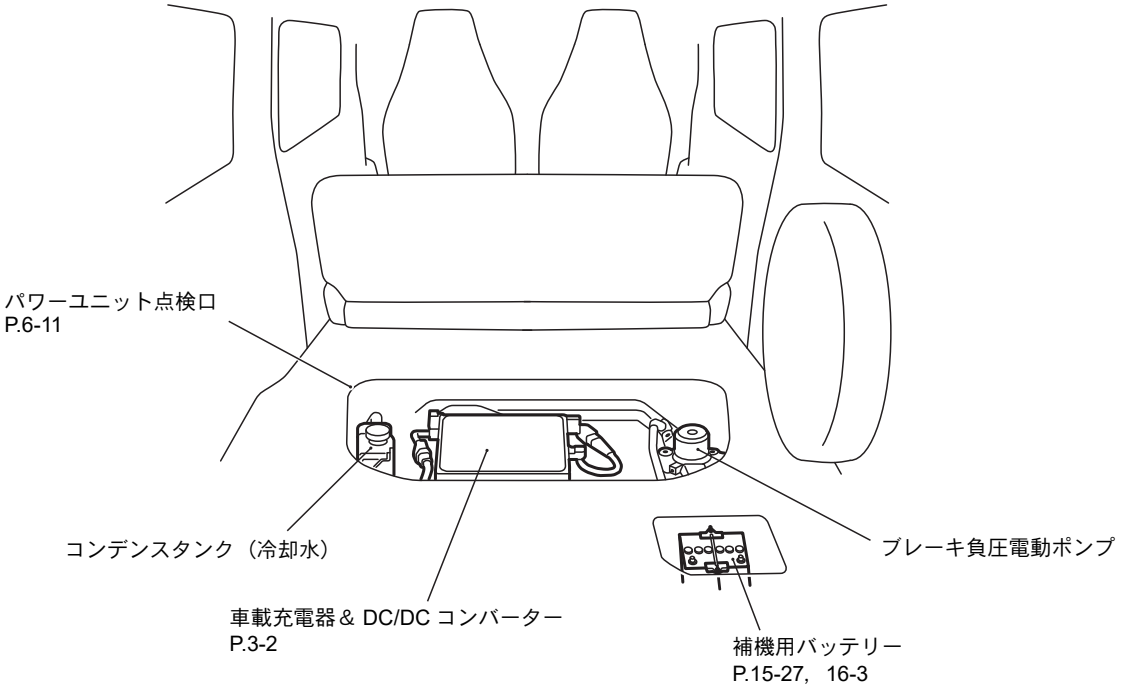
・点検はシートを操作して行います。→「点検口（運転席／助手席下）」P.6-10
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AAF005557

1

点検口（パワーユニットルーム / 補機用バッテリー）

J00100502833



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AJ5111623

⚠警告

- パワーユニットルーム内ではコンデンスタンク以外の部品に触れないでください。コンデンスタンク以外に点検が必要な部品はありません。
  特に高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し，分解などは絶対に行わないでください。
  感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。
- 点検や交換した後は，工具や布などを点検口（運転席／助手席下）またはパワーユニットルームに置き忘れていないことを確認してください。万一の場合，故障や火災になるおそれがあります。

⚠注意

- パワーユニットルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
  これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。

CLIPPER EV を正しく理解していただくために

CLIPPER EV の電気自動車としての特徴，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

主な特長 2-2
駆動用バッテリーについて 2-2
航続可能距離について 2-3
車両接近通報装置 [AVAS] について 2-3
充電中の作動音について 2-3
万一，事故が起きたときは 2-4
酷暑時の注意事項と対処方法 2-6
極寒時の注意事項と対処方法 2-7

主な特長

J02000101170

- 走行に必要なエネルギーは電気のみで，燃料の補給を必要としません。
- 駆動用バッテリーやパワーユニット（モーターなど）を全て車室外に搭載することで，エンジン車と同等の室内空間を確保しました。
- 高性能モーターの採用により，走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに力強く加速します。
- 回生ブレーキを採用し，アクセルオフ時に自動的に駆動用バッテリーを充電します。
- AC 100VまたはAC 200VのEV充電用コンセントから充電することができます。
- CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器による充電が可能です。（タイプ別装備）
  CHAdeMO は，日本発の電気自動車用急速充電の規格で，その内容は国際標準にもなっています。

回生ブレーキとは ...

モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。
この変換時にブレーキ力が発生し，変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。

- 走行中アクセルペダルから足を離したときに，エンジン車のエンジンブレーキに相当するブレーキ力が発生します。
  また，セレクターレバーの位置がⒹ→Eco→Ⓑの順に回生ブレーキの効きが強くなります。
  走行状況に合わせて，セレクターレバーをEcoまたはⒷに入れてください。
- ブレーキペダルを踏み込んだときは，より強い回生ブレーキが得られます。
- 回生ブレーキの効きが強いときは，ブレーキペダルを踏んでいなくても制動灯が点灯します。
- つぎの場合は，回生ブレーキの働きは制限されて効きにくくなると同時に回生ブレーキ力警告灯が点滅します。この場合でも，フットブレーキは効きますのでブレーキペダルを踏んで減速してください。
  - ABS や VDC が作動しているとき
  - 満充電に近いか満充電のため，回生ブレーキで変換された電気エネルギーが，駆動用バッテリーに充電されないとき
    →「下り坂では回生ブレーキを併用，満充電に近いときや満充電時の下り坂はスピードを控えて走行」P.3-11
    →「下り坂走行」P.9-10
  - 外気温が約 40°C 以上のとき
    →「酷暑時の注意事項と対処方法」P.2-6
  - 外気温が約 −15°C 以下のとき
    →「極寒時の注意事項と対処方法」P.2-7
  - パワーユニットに異常があるとき

駆動用バッテリーについて

J02001401112

駆動用バッテリーとは ...

モーター（パワーユニット）およびエアコンを作動させるバッテリーです。
この車両には駆動用バッテリーの他に照明，ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーも搭載しています。

- この車両には，密閉式のリチウムイオン高電圧電池が搭載されています。リチウムイオン電池は，不適切な方法で処分すると，重度のやけどや感電により重大な傷害または死亡につながるおそれがあるだけでなく，環境汚染につながります。

●リチウムイオン電池には，つぎの特性があります。よくお読みいただき，つぎの点に注意して取り扱いください。

特性

●一般的なリチウムイオン電池と同様に時間の経過や使用状況に伴い，バッテリー容量が低下し，これに伴い航続可能距離が短くなります。
バッテリー容量の低下は，バッテリーが元々持つ特性であり，故障などではありません。また，バッテリー容量低下の割合は，車両の使用および保管の状況，充電のしかたなどによって変化するため，残存バッテリー容量は，5 年経過時で新車時の 80％目安（10 年で 70％目安）と予測しておりますが，これを保証するものではありません。
特に，急な加減速の繰り返し，頻繁な急速充電の実施，酷暑地での使用，高温での車両保管などの場合は低下の割合が大きくなります。
●外気温により性能が変化することがあります。特に低温時は常温時に比べて，航続可能距離が短くなり，充電時間が長くなります。
●使用しなくても徐々に放電しバッテリー残量が減っていきます。
●充電前にバッテリー残量を使い切る必要はありません。

取り扱いの注意点

●駆動用バッテリー残量計の目盛が 0 になった状態でお車を保管しないでください。
目盛が 0 の状態でお車を保管すると電池がダメージを受け，容量低下の状態によっては，駆動用バッテリーの交換が必要になる場合があります。
●長期間お車を使用されない場合は，駆動用バッテリー残量計の目盛が 0 の状態になるのを避けるため，3ヶ月ごとには，満充電するようにしてください。
●駆動用バッテリーの回収を行っていますので，廃車するときは必ず日産販売会社にご相談ください。

航続可能距離について

J02001501083

●エアコン（冷房または暖房）は駆動用バッテリーの電力を消費するため，過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。
冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。
●充電量が同じでも走行状況によって航続可能距離は変化します。高速走行や山道の登坂は，通常よりも駆動用バッテリーの電力を消費するため，航続可能距離が短くなります。
●道路状況に合わせてセレクターレバーを Ⓑ または Eco に入れ，回生ブレーキを上手に使用して，駆動用バッテリーを充電すれば航続距離を延ばすことができます。

車両接近通報装置[AVAS]について

J02001201107

●低速で走行しているとき，通報音で歩行者などに車両の接近などを知らせる装置です。
→「車両接近通報装置 [AVAS]」P.9-11
●AVAS が鳴っていても，歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気付かずに，事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

充電中の作動音について

J02002000033

充電中，パワースイッチが LOCK の位置でも，冷却ファンの作動音が聞こえることがありますが，異常ではありません。

万一，事故が起きたときは

J02000801119

事故などにより車体に衝撃を受けたときに，パワーユニットの作動を停止する場合があります。
この場合，パワーユニットを再起動できなくなりますので日産販売会社へご連絡ください。
緊急処置が必要となるような事故が発生した場合は，エンジン車と同様の処置をしてください。また，重大な傷害または死亡につながるおそれのある重度のやけどや感電を防止するため，つぎのことに注意してください。

⚠警告

- 続発事故を防ぐため，走行可能な場合は，車両を現場付近の路肩など安全な場所に移動してください。
  また，可能な場合はつぎの処置を行い，緊急隊員が到着するまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
  - 輪止めをする。
  - セレクターレバーをⓅにする。
  - 駐車ブレーキをかける。
  - 窓，ドアおよびテールゲートを開ける。
  - パワースイッチを LOCK にする。
  - 非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示をする。

⚠警告

- キーレスエントリー付き車は，意図しないスイッチ操作によるシステム起動や事故などの影響による予期しないシステム起動の可能性を低減させるため，キーレスエントリーキーを車両から離れた場所（車外）に保管する。
- 車載充電器や駆動用バッテリーなどの高電圧の配線ならびにそのコネクター，他の高電圧部位に触れないでください。車両の内部または外部から露出した電線が見える場合は，感電するおそれがあります。高電圧部位については，「主な高電圧部位」を参照してください。→P.3-2
- 駆動用バッテリー液の漏れ，車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず消防に通報してください。
  車内または車外に液体の漏れが見つかったときは，火気を近づけないでください。また，絶対に触れないでください。
  駆動用バッテリー液が皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。
- ブレーキ液の漏れがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れが見つかったときは，そのまま使用せず日産販売会社へご連絡ください。

⚠警告

- 車両が損傷し，車両が安全であることを確認できない場合は，車両に触れないでください。車両から離れ，日産販売会社に連絡し，事故車が電気自動車であることを伝えてください。
- リチウムイオン電池の消火には多量の水が継続的に必要となります。万一，車両火災が発生したときは，自分で消火しようとせず，できるだけ早く車両から離れて，消防に通報してください。
  不適切な消火器の使用，小量の水での消火は重大な傷害または感電死につながるおそれがあります。
- 避難する際，有毒ガスや可燃性ガスが室内にこもらないよう，また乗員救助や消火作業を容易にするため，可能であれば窓やドア，テールゲートを開けてください。
- 他の車両火災の場合と同様に，車両から出る煙，蒸気，ガスは有毒である可能性があるため，吸わないでください。風上の高い場所に移動し，消防が来るまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
- 駆動用バッテリー付近から液体の漏れ，火花，煙，火炎，ゴボゴボ音，シューシュー音，またはパーンという音がする場合はバッテリー火災のおそれがあります。すぐに消防に通報してください。

⚠警告

- 車両または駆動用バッテリーが損傷している場合は，有毒ガスや可燃性ガスが発生して発火するおそれがあります。事故後しばらく時間が経過してからガスが発生することもあるため，注意してください。
- 車体が大きく破損・変形しているときにけん引される場合は，必ず 4 輪とも持ち上げて搬送してください。後輪が接地した状態でけん引すると，モーターが発電して火災の原因となります。
  →「けん引」P.15-30
- 損傷している電気自動車を自分で修理しようとしないでください。日産販売会社に修理を依頼してください。
- ボデー修理や塗装の補修が必要なときは，駆動用バッテリーや車載充電器，配線などの高電圧部品の取り外しが必要になるため，日産販売会社にご連絡ください。駆動用バッテリーが塗装ブースで高温にさらされると，バッテリー容量が低下します。また，駆動用バッテリーが損傷している場合，訓練されていない方が整備作業を行うと危険です。

アドバイス

- つぎの場合は自動的に高電圧遮断システムが作動し，高電圧システムが働かなくなることがあります。
  - 強い衝撃を車両に受けたとき
  - EV システムが故障しているとき
- 高電圧遮断システムが作動しているとき，READY（走行可能）表示灯は消灯しています。→「表示灯・警告灯」P.8-9
- 高電圧遮断システムが作動した場合は，日産販売会社にご連絡ください。

酷暑時の注意事項と対処方法

J02001900080

- 外気温が高温時の走行では，冷房性能不足となる場合があります。また，冷房の使用により航続可能距離がいちじるしく短くなります。
- 外気温が約 30°C 以上のときは，つぎのような現象となる場合がありますので，それぞれの対処方法を行ってください。
- 外気温が約 30°C 未満のときでも，急速充電と連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合はつぎのような現象となる場合も稀にありますので，それぞれの対処方法を行ってください。

外気温目安	現象		対処方法
約 30°C 以上	充電，電池に関して	連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合には電池温度が上昇します。 電池温度が高い状態で充電した場合，電池の発熱を抑制するために充電電流を制限します。 それに伴い，充電時間が長くなる場合があります。	連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合は，風通しの良い日陰に駐車してください。
約 40°C 以上	起動，走行に関して	●急速充電と連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合，パワーダウン警告灯 *1 が点灯し，モーター出力が制限されます。 ●パワーダウン警告灯 *1 が点灯後もさらに走行を続けた場合，車両が停止する場合があります。	急速充電を控え，風通しの良い日陰に駐車してください。
		回生ブレーキ力警告灯 *2 が点滅し，回生ブレーキ力が低下する場合があります。	減速するときは，ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電，電池に関して	電池温度が高い状態で充電した場合，電池の発熱を抑制するために充電電流を制限します。 それに伴い，充電時間が長くなる場合があります。	風通しの良い日陰に駐車してください。

*1：→「パワーダウン警告灯」P.8-12　パワーダウン警告灯の点灯は，お車の故障を示すものではありません。

*2：→「回生ブレーキ力警告灯」P.8-11　回生ブレーキ力警告灯の点滅は，お車の故障を示すものではありません。

極寒時の注意事項と対処方法

J02001601114

- 外気温が低温時の走行では，暖房性能不足となる場合があります。また，暖房の使用により航続可能距離がいちじるしく短くなります。
- 外気温が約 -15°C 以下のときは，つぎのような現象となる場合がありますので，それぞれの対処方法を行ってください。
- 外気温が約 -25°C 以下では，駆動用バッテリーが凍結して，充電やパワーユニットの起動ができない場合があります。車両を暖かい場所に移動してください。

外気温目安	現象		対処方法
約 -15°C 以下	起動，走行に関して	モーター出力が制限され，動力性能が低下する場合があります。 このときパワーダウン警告灯 *1 が点灯する場合があります。	●周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ●周りの車両と同程度の速度が出せない場合は，安全な場所へ停止し充電するか，安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力警告灯 *2 が点滅し，回生ブレーキ力が低下する場合があります。	減速するときは，ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電，電池に関して	充電時間が延びる場合があります。 また，満充電にならない場合があります。	走行後すぐなど，駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。
約 -25°C 以下	起動，走行に関して	モーター出力が制限され，動力性能が低下する場合があります。 このときパワーダウン警告灯 *1 が点灯する場合があります。	●周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ●周りの車両と同程度の速度が出せない場合は，安全な場所へ停止し充電するか，安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力警告灯 *2 が点滅し，回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは，ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電，電池に関して	充電ができない場合があります。	走行後すぐなど，駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。

外気温目安	現象		対処方法
約 -30°C 以下	起動，走行に関して	READY（走行可能）表示灯 *3 が点灯せず，パワーユニットが起動しない場合があります。最悪の場合，残量計や航続距離表示を残したまま走行不能となる場合があります。	日中，気温が上がるのを待つなどして，駆動用バッテリー周辺温度が上がってから，起動してください。
		回生ブレーキ力警告灯 *2 が点滅し，回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは，ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電，電池に関して	充電ができない場合があります。	日中，気温が上がるのを待つなどして，駆動用バッテリー周辺温度が上がってから，充電してください。

*1：→「パワーダウン警告灯」P.8-12　パワーダウン警告灯の点灯は，お車の故障を示すものではありません。

*2：→「回生ブレーキ力警告灯」P.8-11　回生ブレーキ力警告灯の点滅は，お車の故障を示すものではありません。

*3：→「READY（走行可能）表示灯」P.8-10

安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

日常点検 3-2
出発前は 3-5
お子さまを乗せるときは 3-6
走行するときは 3-8
走行中に異常に気づいたら 3-13
駐停車するときは 3-14
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器
　などの医療用電気機器を使用している方は 3-14
こんなことにも注意 3-15
イベントデータレコーダー (EDR) について 3-17

日常点検

J00200101992

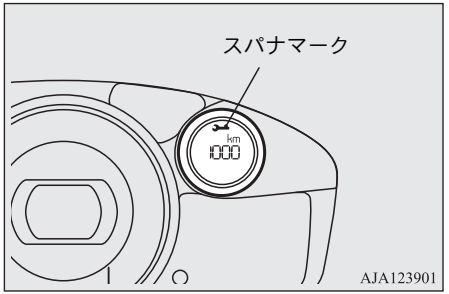
点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。
- サービスリマインダーが点灯したら日産販売会社で定期点検整備を受けてください。

サービスリマインダー

次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
定期点検時期に近づくと，パワー スイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。

→「サービスリマインダー」P.8-5

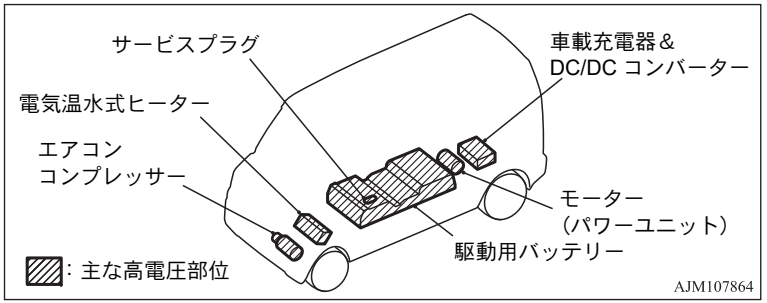


点検・整備をするときは

J00204901187

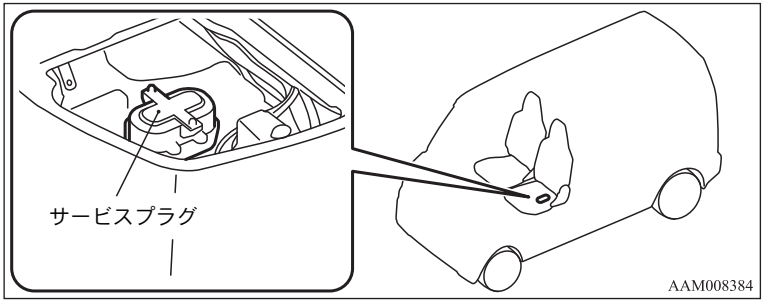
- 点検・整備をするときは，必ず車両から充電コネクターを取り外し，パワースイッチがLOCKになっていることを確認してから行ってください。

- パワーユニットルーム内ではコンデンスタンク以外の部品に触れないでください。コンデンスタンク以外に点検が必要な部品はありません。特に高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し，分解などは絶対に行わないでください。また，普通充電ケーブル，普通充電コネクター，プラグ，コンセントの分解は絶対に行わないでください。感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。必要な整備については，日産販売会社へ依頼してください。



- EV システムは，最大で 370V の直流高電圧が使用されるため，システム起動中や起動後，車両が止まったときに高温になることがあります。車両に貼り付けられているラベルにしたがい，高電圧と高温に注意してください。
- 駆動用バッテリーおよび関連部品には電圧がかかっており，常にバッテリーは満充電の状態であると考えてください。

●助手席下にあるサービスプラグには，絶対にさわらないでください。サービスプラグは車両を修理するときなどに，日産販売会社で駆動用バッテリーの高電圧をしゃ断するためのものです。
取り扱いを誤ると感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



●READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき，および充電ランプが点灯・点滅しているときは，高電圧システムが作動しているため，絶対に整備作業を行わないでください。
●パワーユニットルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどの原因となりますので，各部が十分冷えてから点検してください。
これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので，ラベルの指示にしたがってください。
●補機用バッテリーを取り外すときは，パワースイッチを LOCK の位置にしてから約 2 分以上経過後に，接続されている＋端子や－端子を取り外してください。パワースイッチを LOCK の位置にした直後に補機用バッテリーの端子を取り外すと，電気部品故障の原因となります。
また，パワーユニット警告灯が点灯しているときは，高電圧部位に異常が発生しています。補機用バッテリーを外さずに，日産販売会社へご連絡ください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水・温水ヒーター液）が熱いときは

J00205000029

●ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水・温水ヒーター液）が熱いときは，コンデンスタンクのキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。

日産販売会社で点検を受けて

J00227700026

●つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。

そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
日産販売会社で点検を受けてください。
- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油などの漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200202440

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
→「シートベルト」P.7-7
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。


AAA003372

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

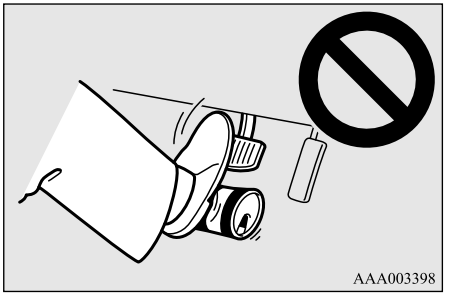

AAA003385

窓越しにパワーユニットを起動しない

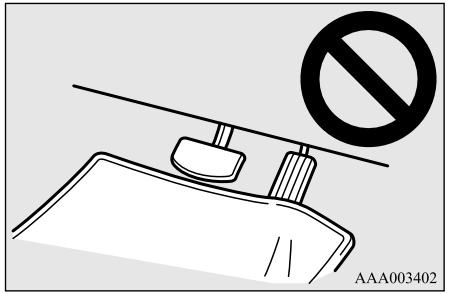
- 正しい運転姿勢で運転席に座り，パワーユニットを起動する習慣をつけましょう。
- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでパワーユニットを起動する習慣をつけてください。
→「パワーユニット起動のしかた」P.9-5
- 窓越しなど車外からパワーユニットを起動しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
出発前に運転席の足元付近を点検してください。


AAA003398

●お客さまのお車専用のフロアカーペットを，床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。
フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど，重大な傷害につながるおそれがあります。
→「フロアカーペット」P.10-9



荷物を積むときは

J00203001165

●荷物は必ず指定積載重量までにしてください。
2 人乗りの場合：350kg
4 人乗りの場合：200kg
●荷物を積むときは，荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
●重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
●荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

お子さまを乗せるときは

J00200302656

お子さまはリヤシートのある車に乗せる

●助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
●やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
•必ずシートベルトを着用する
•シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
●お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，助手席 SRS エアバッグが膨らむ際, SRS エアバッグにより死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。



お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

●ひざの上にお子さまを抱かないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



●リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

●シートベルトを着けたとき，肩部のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
→「チャイルドシート」P.7-12
通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

●6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

ドア，ウインドウ，シートの操作は大人が行う

●手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。

窓から手や顔を出させない

●窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。



お子さまをシートベルトで遊ばせない

●お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。



車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

●お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり，生命にかかわるおそれがあり危険です。

●キーを差したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを荷室で遊ばせない

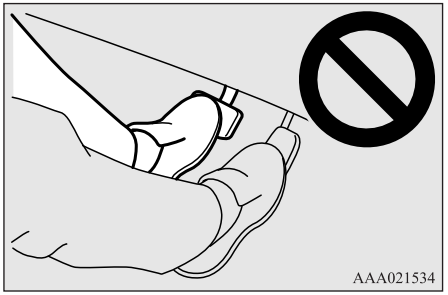
●荷室は人が乗る構造になっておりません。
お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200401764

ブレーキペダルは右足で

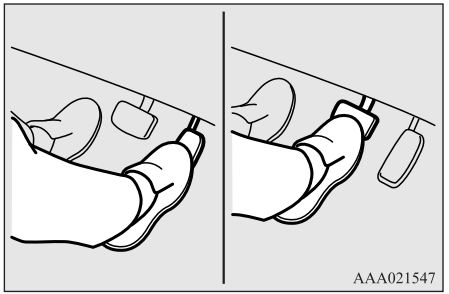
●左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



パワーユニットを起動する前に

●アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。

アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



●セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認してください。



パワーユニットを起動するときは

- ブレーキペダルを右足で踏んだままパワーユニットを起動します。
  →「パワーユニット起動のしかた」P.9-5

発進するときは

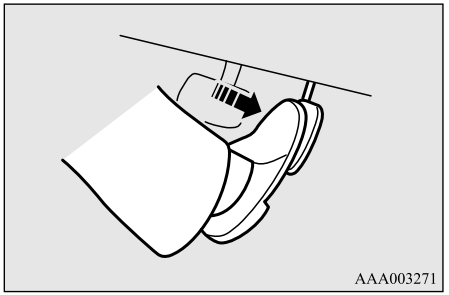
- READY（走行可能）表示灯が点灯した後，セレクターレバーを操作してください。
- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。



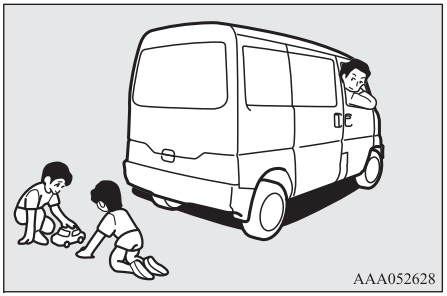
- アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
  急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

また，車両の故障の原因になります。

- Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
  ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。
- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

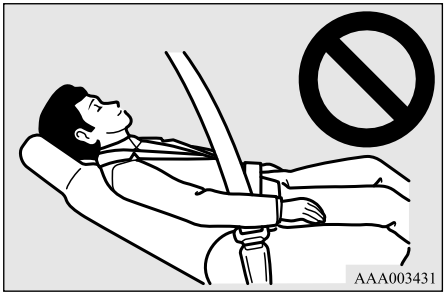


- エンジン音がしないため，周囲の状況に十分注意して安全運転に心がけてください。
- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。



同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



走行中は

- 走行中はパワースイッチを ACC にしないでください。
  走行中にパワースイッチを ACC にすると，パワーユニットが停止し，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 走行中は，セレクターレバーを Ⓝ に入れないでください。
  誤って Ⓟ，Ⓡ に入れてしまったり，回生ブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故の原因になります。
  また，車両の故障の原因になります。

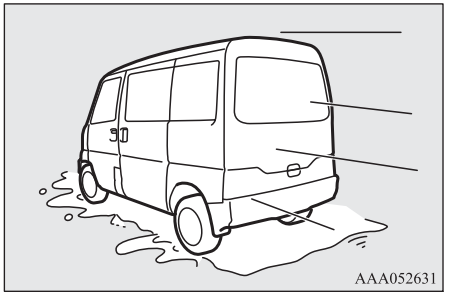
急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200600

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。



ハイドロプレーニング現象とは...

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

冠水した道路を走行しない

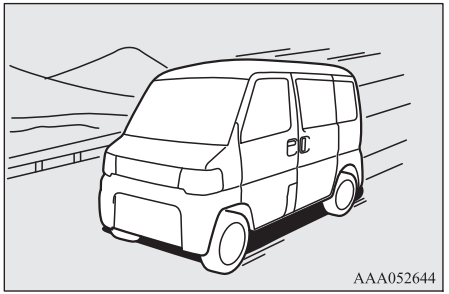
J00204801102

- 冠水した道路を走行すると，パワーユニットが停止するだけでなく，漏電やショートなど故障の原因になります。
  やむをえず冠水した道路を走行し，水に浸ってしまったときは，必ず日産販売会社で点検を受けてください。

下り坂では回生ブレーキを併用，満充電に近いときや満充電時の下り坂はスピードを控えて走行

J00203601099

- ぬれた道路や凍結した道路での急激な回生ブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では，坂道の程度やスピードに応じてセレクターレバーを Eco または Ⓑ に入れ回生ブレーキを併用してください。
  ブレーキペダルを踏んで減速を頻繁に繰り返すと，フットブレーキが過熱して効きが悪くなることがあります。
- 満充電に近いときや満充電時
  回生ブレーキは，駆動用バッテリーが満充電に近いほど効きが弱くなり，満充電時には効かなくなります。また，同時に回生ブレーキ力警告灯が点滅します。
  →「回生ブレーキ力警告灯」P.8-11
  この場合もフットブレーキは効きますのでブレーキペダルを踏んで減速してください。
  また，頻繁な減速でフットブレーキが過熱することがないように，あらかじめスピードを控えて走行してください。スピードが出すぎるときは，必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
  充電量が減ってくると，回生ブレーキは効くようになります。
  なお，満充電に近いほど，パワーメーターの指針は基準の位置から左には振れなくなります。
  →「パワーメーター」P.8-2



回生ブレーキとは...

→「回生ブレーキ」P.2-2

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400019

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600271

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「タイヤがスリップして発進できない」P.15-9

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202701211

●寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00203300086

●段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路

停車中は

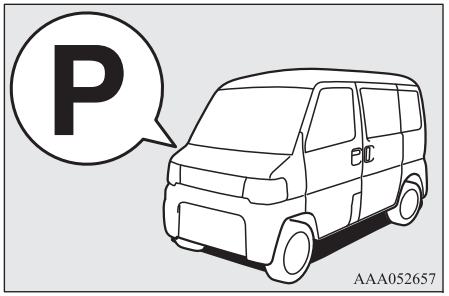
J00203700019

●停車中は，むやみにアクセルペダルを踏み込まないでください。
万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00203800036

●駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
●車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
また，車両の故障の原因になります。
●車から離れるときは，必ずパワースイッチをLOCKまで回し，READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。



その他に気をつけること

J00203900011

●車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
●少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
●車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。

●切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，車両の故障の原因になります。

走行中に異常に気づいたら

J00200502010

走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは

●走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなることがあり，その場合，ブレーキの効きが非常に悪くなりますので，通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング装置が働かなくなることがあり，その場合，ハンドルが 非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

●走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
●つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

●警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P.15-2
点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，モーター（パワーユニット）などを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

●車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
駆動用バッテリー液の漏れ，車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず消防に通報してください。
●車内または車外に液体の漏れが見つかったときは，火気を近づけないでください。
また，絶対に触れないでください。
駆動用バッテリー液が皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。
●ブレーキ液の漏れがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れが見つかったときは，そのまま使用せず日産販売会社へご連絡ください。

駐停車するときは

J00200702269

長時間 READY（走行可能）表示灯が点灯したままでの停車は避ける

- 長く停車するときは，パワースイッチを LOCK まで回し，READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
  READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，航続可能距離が短くなります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。

車から離れるときは

- 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
  - 駐車ブレーキをかける。
  - セレクターレバーを Ⓟ に入れる。
  - パワースイッチを LOCK にする。
  - キーを抜き，ドアを施錠する。

また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ず READY（走行可能）表示灯を点灯させる

- READY（走行可能）表示灯が点灯していないと，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  坂道で車を移動させるときも，必ずパワースイッチを START まで回し，READY（走行可能）表示灯を点灯させてください。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを Ⓟ に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
  無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- ハンドル操作力が重くなることがあります。
  →「電動パワーステアリング」P.9-15

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は

J00206601090

走行中は荷室に乗らない，乗せない

- 走行中は荷室に乗らないでください。
  また，走行中は荷室に医療用電気機器を使用している方を乗せないでください。医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

普通充電をする前に

- 充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

→「普通充電のしかた（AC 200V コンセントまたは AC 100V コンセントでの充電方法）」P.5-4

普通充電をするときは

- 充電中につぎのことをお守りください。
  - 普通充電するときは，充電コネクター，充電ケーブル，コントロールボックス，普通充電スタンドに植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器の植込み部位を近づけないようにしてください。
  - 車内にとどまらないでください。
  - 物を取るときなどに，荷室を含めた車内に入り込まないでください。

→「普通充電のしかた（AC 200V コンセントまたは AC 100V コンセントでの充電方法）」P.5-4

急速充電はしない，急速充電器には近づかない

- つぎのことをお守りください。
  電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
  - 急速充電器を使用しないでください。
  - 急速充電器を設置している場所には，可能な限り近づかないでください。なお，不用意に近づいた場合は，立ち止まらず速やかに離れてください。
  - 急速充電器を操作する必要がある場合は，他の方にお願いしてください。

→「急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）」P.5-14

こんなことにも注意

J00200902548

洗車をするときは

- 洗車のときはパワースイッチをLOCKにしてください。
- 駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。
  火災，感電の原因となります。
- 洗車をする前には，充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認してください。
  リッドが開いていると充電装置に水がかかり，火災，感電の原因となります。

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオの操作は停車してから

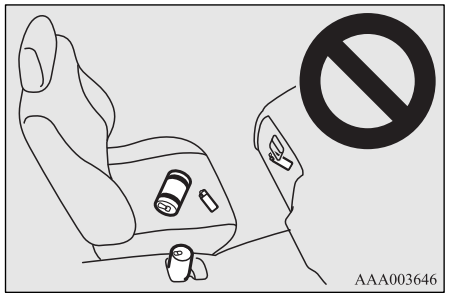
- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

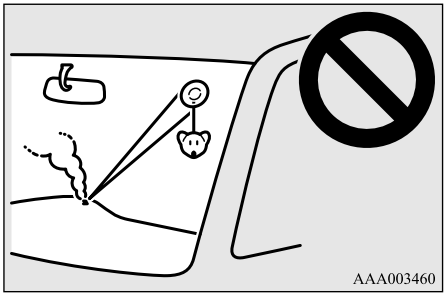
車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。



アクセサリー取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
  運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。



- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
  吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ, ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ，ホイールのサイズなどは国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉したり，強度が不足して使えないときがありますので，指定以外のホイールは使用しないでください。

→「タイヤ，ホイールのサイズ」P.16-5

READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップしない

- READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップすると，万一車両が動いたときにジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
  また，日産純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

電装品などを取り付けるときは

- 電装品などを取り付けるときは，日産販売会社にご相談ください。
  配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でない場合，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お客様のお車には，電子制御システムの点検整備をするための故障診断コネクターが装備されています。
  そのコネクターに，点検整備用の故障診断機以外の機器を取り付けると，補機用バッテリーが上がったり，車両の電子機器に悪影響をおよぼすなど思わぬトラブルの原因となりますので，取り付けないでください。
  また，故障診断機以外の取り付けによる故障は，保証の対象外となることがあります。

無線機を取り付けるときは

- 無線機を取り付けるときは，必要な情報（周波数，送信出力，取り付け条件）について日産販売会社にお問い合わせください。
  周波数，送信出力，取り付け条件などが適切でない場合，電子機器に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

イベントデータレコーダー (EDR) について

J00206700081

本車両は，SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは，当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに，衝突のときや衝突に近い状態のときにおいて車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積する EDR を備えています。

EDR は，一般的なデータレコーダーとは異なり，会話などの音声や映像は記録しません。
日産自動車および日産自動車が委託した第三者は，EDR に記録されたデータを，車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお，日産自動車および日産自動車が委託した第三者は，取得したデータをつぎの場合を除き，第三者へ提示することはありません。

- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など，法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために 4-2
機能を上手く使うために 4-2
環境保護のために守っていただきたいこと 4-2

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

駐車時はパワースイッチをLOCKに

J00301800020

- READY（走行可能）表示灯が点灯したまま長い間駐車すると，航続可能距離が短くなります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100010

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00301200053

- エアコン（冷房または暖房）は駆動用バッテリーの電力を消費するため，過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。
  冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。

その他に気を付けること

J00301300041

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 回生ブレーキを使用すると，駆動用バッテリーに充電することもできます。
  →「回生ブレーキとは」P.2-2，3-11
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，回生ブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300015

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301501079

- 補機用バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みの補機用バッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。

- タイヤを燃やすと，有害なガスを発生させます。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- 冷却水などを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水などを交換する場合は，日産販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00301601054

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は日産販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

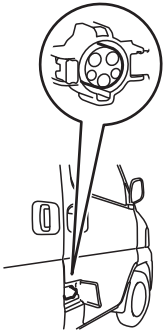
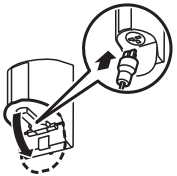
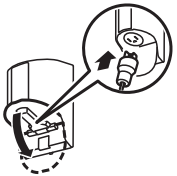
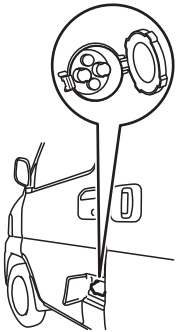
充電

充電 5-2
バッテリーについて 5-3
充電について 5-3
充電トラブルシューティングガイド 5-18

充電

J01802101221

駆動用バッテリーを充電するのに以下の方法があります。

種類	充電給電口	充電コネクター	電源	充電時間 *1	参照
普通充電 (AC 200V)*3				約 7.5 時間 *2	P.5-4
普通充電 (AC 100V)*3				AC 100V 電源からも充電できますが，AC 200V 電源での充電に比べると充電時間は長くなります。	P.5-4
急速充電 タイプ別装備				約 42 分 *4 （満充電の 80％まで）	P.5-14

*1: 駆動用バッテリー残量計が 1 目盛（駆動用バッテリー残量警告灯と交互点滅）になってからの充電時間であり，バッテリーの状態，車両の使用環境，急速充電器の仕様によって異なります。また，高温時，低温時および充電中にエアコンを使用したときは充電時間が長くなる場合があります。
*2: 普通充電ケーブル（タイプ別装備）を使用した場合の充電時間です。
*3: 普通充電ケーブルは，標準装備されておりません。
必要なときは，日産販売会社でお買い求めください。
*4: 急速充電器の出力が 50kW 仕様の場合の充電時間です。

バッテリーについて

J01800100044

お車にはモーター（パワーユニット）およびエアコンを作動させる駆動用バッテリーとパワーユニットの起動，照明，ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーの 2 種類が搭載されています。本章では駆動用バッテリーの充電について説明します。

アドバイス

- 補機用バッテリーは READY（走行可能）表示灯の点灯中または駆動用バッテリーの充電中に自動的に充電されます。
- 補機用バッテリーがバッテリー上がりを起こしているときは，パワーユニットを起動できません。
  また，充電もできません。
  →「補機用バッテリーが上がったときは！」P.15-27

充電について

J01800201273

普通充電は AC 200V*1 または AC 100V*2 の EV 充電用コンセントを電源として，普通充電ケーブルを使用して行います。
急速充電は，CHAdeMO （チャデモ）規格に準拠した急速充電器で行います。
（CHAdeMO は，日本発の電気自動車用急速充電の規格で，その内容は国際標準にもなっています。）
なお，普通充電は，公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器を使用して行うことも可能です。ただし，これらの充電器には，CLIPPER EV の充電に対応していないものや，普通充電ケーブルとは充電時間が異なるものがある可能性がありますので，各充電器のマニュアルおよび仕様をご確認の上，ご使用ください。

*1:AC 200V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

*2:AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

警告

- AC 200V•AC 100V いずれの場合も，20A 以上の専用分岐回路に接続された EV 充電用コンセントを使用してください。また，電源回路には漏電遮断器を設置し，コンセントには必ずアース接続を行ってください。アース接続されていないコンセントは，万一の漏電の際に人体を感電から護る仕組みが働かないため，電気自動車の充電には使用しないでください。
  EV 充電用以外のコンセントを使用した場合，または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常発熱，ブレーカーによる電気回路の遮断，他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- 設置場所が屋外，または雨水などで濡れる可能性がある場合には，防水処理された EV 充電用コンセントを使用してください。

⚠警告

- 雨や雪の日でも充電はできます。ただし，感電を防止するためつぎのことに注意してください。
  - 充電給電口，充電コネクター，コンセント，プラグを濡れた手でさわらない。
  - 充電給電口，充電コネクター，コンセント，プラグの端子部が濡れないように接続する。
  - 大雨，大雪，強風などの悪天候のときや，今後悪天候が予想されるときは，屋外での充電は行わない。
  - 落雷のおそれがある場合は充電を行わない。万一，普通充電中に急に雷が鳴り出した場合は，車両および充電コネクターにはさわらず，ブレーカーを OFF にする。
- 充電給電口や充電コネクターに水が入ると漏電の原因となり，火災，感電のおそれがあります。充電リッドおよび中ブタを空けたままにしたり，充電ケーブルを屋外に放置しないようご注意ください。
- 充電中にコンセントの接続部分が雪に埋もれてしまったときは，先にコンセントにつながっている手元スイッチまたはブレーカーを切ってから，雪を除去してプラグを抜いてください。
  充電中に車両が雪に埋もれてしまった場合も雪を除去してから，充電コネクターを抜いてください。

⚠警告

- 外出先で普通充電をする場合，普通充電器の一部は，この車両に対応していないことがあります。使用する前に，この車両に対応していることを普通充電器の管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また，充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。

⚠注意

- 充電コネクターを充電給電口に接続したままでセレクターレバーをⓅ以外に動かさないでください。傾斜のある場所では，車が動き充電コネクターなどが損傷するおそれがあります。つぎの条件がそろった場合は，充電ランプが点滅して充電コネクター抜き忘れ警告ブザーが鳴り，充電コネクターが接続されたままであることを知らせます。
  - 充電コネクター：接続されている状態
  - パワースイッチ：“ON” 位置
  - セレクターレバー：Ⓟ以外の位置

アドバイス

- 駆動用バッテリーの容量を維持するため，つぎのことをおすすめします。
  - 急速充電のみを繰り返し行う場合，2 週間に 1 回程度は，普通充電で満充電にする。

アドバイス

- 満充電付近で充電を繰り返さない。
- できるだけ普通充電で充電する。
- 普通充電コネクターと急速充電コネクターを同時に差し込まないでください。同時に差し込むと普通充電ができない場合があります。
- 充電中，パワースイッチがLOCKの位置でも，冷却ファンなどの作動音が聞こえることがありますが，異常ではありません。
- 普通充電中に停電が発生したときは，電気の復旧とともに充電も自動的に再開されます。

普通充電のしかた（AC 200V コンセント *1 または AC 100V コンセント *2 での充電方法）

J01801201238

*1: AC 200V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

*2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠警告

- 安全のため，充電はお子さまや不慣れな方だけで行わないでください。また，充電コネクターを幼児の手の届くところで使用しないでください。

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電中につぎのことをお守りください。
  - 充電コネクター，充電ケーブル，コントロールボックス，普通充電スタンドに植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器の植込み部位を近づけないようにしてください。
  - 車内にとどまらないでください。
  - 物を取るときなどに，荷室を含めた車内に入り込まないでください。
- 普通充電ケーブルを束ねたり，巻き付けた状態で充電しないでください。普通充電ケーブルが異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。
- 充電前に，充電給電口および充電コネクターにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。
  このとき充電給電口に手を触れないようにしてください。ほこりなどの異物が入り込んでいる場合は，日産販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

- 充電コネクターと充電給電口を接続する際，接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。
  水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災，感電の原因となります。接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。
- 充電機器を取り扱うときはつぎの点に注意してください。火災，感電，ショートの原因となります。
  - 普通充電ケーブルを抜き差しするときは，ケーブル部を引っ張って抜かないでください。プラグ部を持って抜いてください。
  - 普通充電コネクター，コントロールボックス，プラグは水の中につけないでください。
- 感電など充電中の事故を防ぐため，つぎのことをお守りください。
  - 普通充電ケーブルは，必ずこの車両用のものを使用する。
  - 防水処置のされているコンセントを使用する。
  - ボデーカバーをかけたまま充電しない。
  - 濡れた手でプラグの抜き差しをしない。
- 普通充電ケーブルやプラグが損傷していたり，異物が入り接続できない場合は，無理に接続しないでください。

⚠警告

- プラグや充電ケーブル，コントロールボックスに異常な発熱を感じたらすぐに使用を中止してください。使用中表面が暖かくなることがありますが故障ではありません。
- いつもと違う臭いがしたり，車両から煙が出ているときは，すみやかに充電を中止してください。
- 周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しないでください。また補機用バッテリーに火気を近づけないでください。
  充電の際に補機用バッテリーから発生する可燃性ガスが建物内などに充満して，爆発するおそれがあります。
  やむを得ず充電するときは，換気を十分に行ってください。

⚠注意

- 発電機などAC 200VまたはAC 100V コンセント以外の電源から充電を行なわないでください。故障の原因となります。
- 充電中，パワースイッチがLOCKの位置でも，点検口内（運転席／助手席下）の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
  充電中は，冷却ファンに手を近づけないでください。

アドバイス

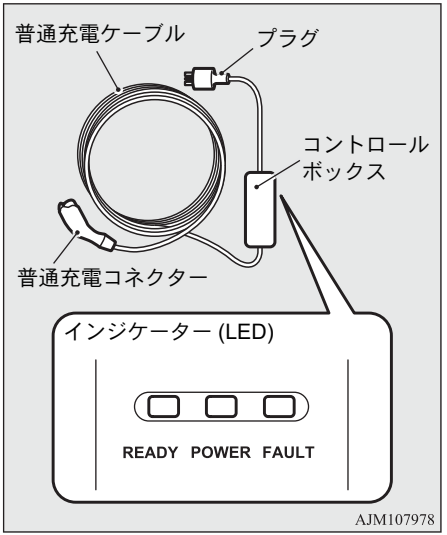
- 普通充電コネクターや普通充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは，無理に接続せずに日産販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると，充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため，必ずドアを施錠してください。

普通充電ケーブル

タイプ別装備 J01801801234

普通充電ケーブルは標準装備されておりません。つぎの普通充電ケーブルが必要なときは，日産販売会社でお買い求めください。

- AC 200V 普通充電ケーブル
- AC 100V 普通充電ケーブル



コントロールボックスのインジケーターは以下の状況で点灯，点滅します。また，以下以外の点灯，点滅の場合は，日産販売会社へお問い合わせください。

○：点灯　◎：点滅　●：消灯

READY	POWER	FAULT	作動状態
○	○	○	プラグをコンセントに接続したときは，すべてのインジケーターが約 0.5 秒間点灯します。
○	●	●	つぎのいずれかの状態です。 ●充電が完了しています。 ●普通充電コネクターが普通充電給電口に接続されていません。
○	○	●	駆動用バッテリーを充電中です。

READY	POWER	FAULT	異常検知時作動状態および必要な対応
●	●	●	コンセントが通電していないか，普通充電ケーブルが故障しています。 コンセントに電源がきているにもかかわらず，プラグをコンセントに接続してもインジケーターが点灯しないときは，ただちに使用を中止して，日産販売会社にご連絡ください。
◎	●	●	コンセントのアース線が断線または接続されていません。コンセントのアース状態をご確認ください。それでも改善できない場合は，日産販売会社にご連絡ください。
◎	◎	○	プラグまたはコントロールボックスの温度検知回路が故障しています。 充電電流を制限しているため，ただちに日産販売会社にご連絡ください。
◎	●	○	
◎	◎	◎	プラグまたはコントロールボックスが高温のため，充電電流を制限しています。 ただちに使用を中止して日産販売会社へご連絡ください。
◎	●	◎	

READY	POWER	FAULT	異常検知時作動状態および必要な対応
○	◎	○	普通充電ケーブルの内部回路が故障しています。 ただちに使用を中止し，日産販売会社へご連絡ください。
○	●	○	
○	●	◎	漏電している，または通信異常が発生しています。 ただちに使用を中止し，日産販売会社へご連絡ください。
○	◎	◎	コンセントの電圧異常を検知し，充電電流を制限しています。 ただちに使用を中止し，使用している普通充電ケーブルの定格電圧に合った EV 充電用コンセントに接続してください。その後，再び同じ状態が続く場合は日産販売会社にご連絡ください。

⚠警告

- コントロールボックスの POWER と READY インジケーターが点灯しないとき，または充電中に FAULT インジケーターが点滅または点灯したときは，すぐに普通充電ケーブルを取り外し，日産販売会社で点検を受けてください。
- 普通充電ケーブルの改造・分解はしないでください。火災，感電，けがの原因となります。
- 普通充電ケーブルを使用しないときは普通充電コネクターのキャップを必ず取り付け，水で濡れたりほこりが入らない場所に保管してください。普通充電コネクターやプラグの金属端子部に水やほこりなどの異物が入ると火災，故障の原因となります。
- 普通充電ケーブル，普通充電給電口，普通充電コネクター，プラグ，コンセントに損傷，腐食，さびがある場合，またプラグを挿してグラグラするような劣化したコンセントでは充電しないでください。火災，感電，ショートの原因になります。
- 普通充電ケーブルを取り扱うときはつぎの点に注意してください。
  ケーブルの損傷から，火災，感電，ショートの原因となります。
  - 落としたり，強い衝撃を与えない。
  - 無理に引っ張ったり，曲げたりしない。
  - ねじらない。
  - 引きずらない。

⚠警告

- 上にものを載せない。
- ストーブなどの熱器具に近づけない。

アドバイス

- 普通充電ケーブルをこの車両以外に使用しないでください。

コントロールボックスの取り扱い

⚠警告

- コントロールボックスを取り扱うときはつぎの点に注意してください。コントロールボックスの損傷から火災，感電，けがの原因となります。
  - 改造・分解はしない。
  - 水の中につけない。
  - 強い衝撃を与えたり，落としたりしない。

⚠注意

- ケーブルやコントロールボックスに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると，コンセントおよびプラグが破損するおそれがありますので，注意してください。

普通充電ケーブルのお手入れ

1. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
3. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠警告

- お手入れの際は，必ずプラグおよび普通充電コネクターをコンセントから抜いてください。また，濡れた手で抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 普通充電コネクターおよびプラグの金属端子部には水や中性洗剤を付けないようにしてください。水などが付いたままで使用すると火災，感電の原因となります。

⚠注意

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないください。変形，変色，故障の原因になります。また，各種クリーナ類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますので，よくご確認のうえ使用してください。

充電するときは

J01801701259

⚠警告

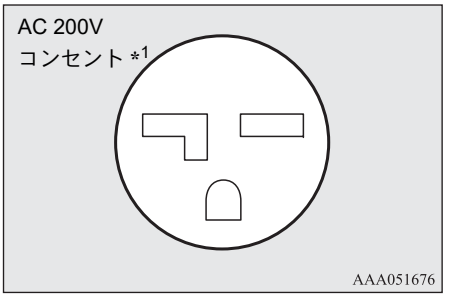
- コンセントはつぎの種類のもののみ対応しています。つぎの種類以外のコンセントおよび，専用回路ではないコンセントには，絶対に接続しないでください。

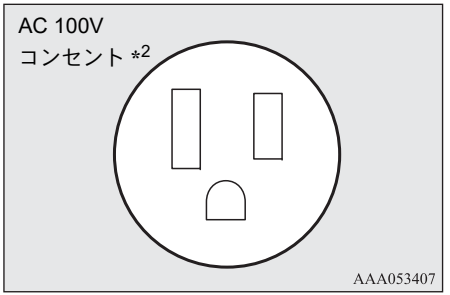
AC 200V コンセント *1：

日本配線システム工業会規格
JWDS-0033
EV 充電用コンセント 20A 250V

AC 100V コンセント *2：

日本配線システム工業会規格
JWDS-0033
EV 充電用コンセント 15A 125V





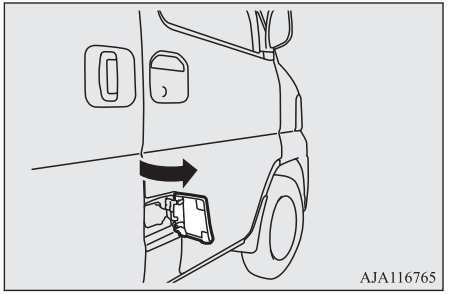
*1 AC 200V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

*2 AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

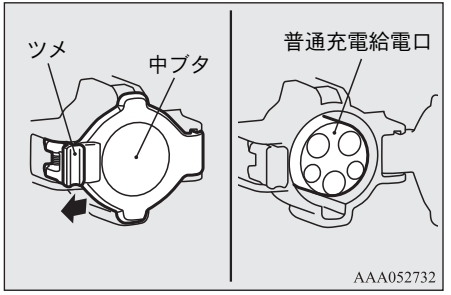
⚠注意

- コンセントは地上 1m 前後に設置されたものを使用してください。コンセントの設置位置が低い場合，コントロールボックスが地面に接し，水没や踏みつけてしまうなど，トラブルの原因となります。

1. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
2. パワースイッチを LOCK まで回します。
3. 車両右側のフロントドア付近にあるリッドを開けます。



4. ツメを押して中ブタを開けます。



⚠警告

- 普通充電給電口の中ブタおよびリッドを開けたまま長時間放置しないでください。普通充電給電口に水やほこりなどが入ると漏電の原因となり，火災，感電の原因となります。

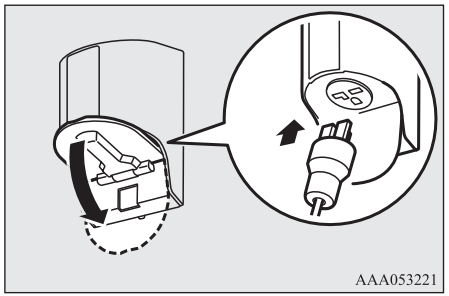
⚠警告

- 普通充電給電口および普通充電コネクターの金属端子部に手を触れないでください。
  感電，故障の原因となります。

アドバイス

- 普通充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして普通充電給電口内に水が溜まったときは，充電を行わずに日産販売会社にご連絡ください。
- 普通充電給電口が凍結したときは，ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま普通充電コネクターを無理に接続しようとすると，故障の原因になります。

5. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込み，コンセントのふたロック機構でプラグをロックします。

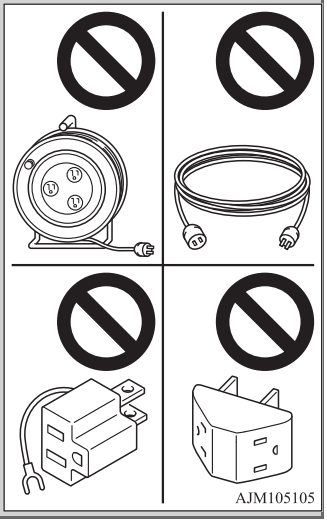


⚠警告

- 使用する前にコンセントにプラグが根元までしっかり差し込まれていることを確認してください。根元まで十分に差し込まれていない状態で充電を続けると異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。
- AC 200V•AC 100V いずれの場合も，20A 以上の専用分岐回路に接続された EV 充電用コンセントを使用してください。また，電源回路には漏電遮断器を設置し，コンセントには必ずアース接続を行ってください。アース接続されていないコンセントは，万一の漏電の際に人体を感電から護る仕組みが働かないため，電気自動車の充電には使用しないでください。
  EV 充電用以外のコンセントを使用した場合，または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常発熱，ブレーカーによる電気回路の遮断，他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- 設置場所が屋外，または雨水などで濡れる可能性がある場合には，防水処理された EV 充電用コンセントを使用してください。

⚠警告

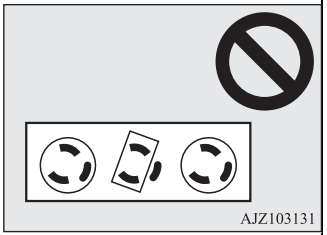
- コンセントとプラグの間に延長コードやアース変換プラグなどを絶対に接続しないでください。これらを接続すると，異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。



5

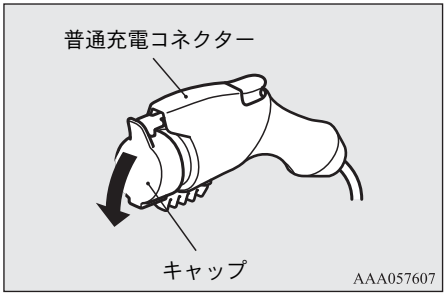
アドバイス

- AC 100V コンセント * にはプラグを差し込んだあと，時計回りに回して固定するものがありますが，このタイプは使用しないでください。このタイプは，庭園灯，看板灯，屋外で使用される電動工具などのために設置されているものなので，電気自動車の充電には使用できません。
  *:AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

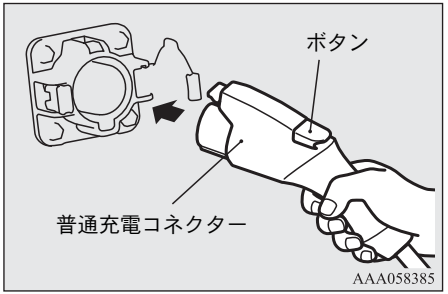


- つぎの場所に設置されているコンセントは使用する前に，この車両に対応しているか確認してください。
  - 自宅やマンションなどに設置されているコンセント
  - 一般の駐車場や車庫に設置されているコンセント

6. 普通充電コネクターのキャップを取り外し，普通充電コネクターおよび普通充電給電口の先端部にほこりなど異物が付いていないことを確認します。



7. 図のように普通充電コネクターの下部を握り，ボタンを押さずにカチッと音がするまで差し込みます。



⚠警告

- 充電中に運転席ドアを開けるときは，運転席ドアとケーブルが接触しないように注意してください。また，ケーブルに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると，ケーブルの損傷から火災，感電，ショートの原因となります。

⚠注意

- 普通充電コネクターの頭部を握らないでください。
- リッドの内側の突起物に気をつけてください。



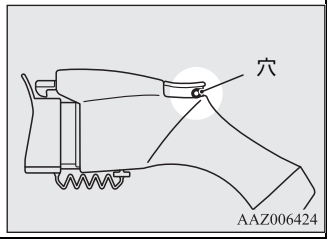
- 充電中は普通充電コネクターに無理な力を加えないでください。普通充電コネクターや普通充電給電口が破損して，充電ができなくなる可能性があります。

アドバイス

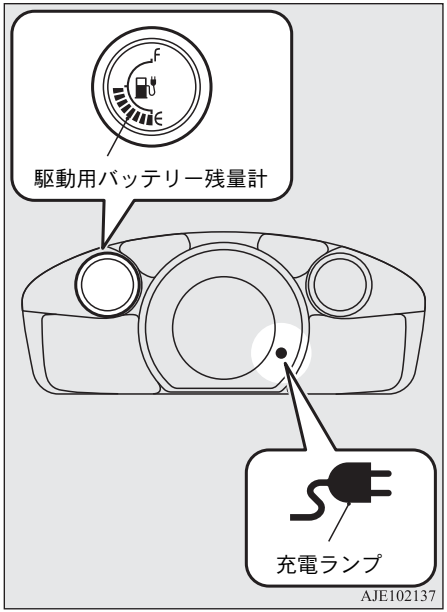
- 普通充電コネクターを短時間に何度も抜き差ししないでください。充電が開始されない場合があります。

アドバイス

- 普通充電コネクターを普通充電給電口に差し込んで，パワースイッチを START 位置まで回しても，走行可能状態になりません。
- 充電中に普通充電コネクターの穴に南京錠をつけることで，普通充電コネクターの盗難防止ができますが，適さない寸法の南京錠を使用した場合は，盗難防止機能は働きません。また，南京錠に強い力を加えた場合は，充電コネクターの破損につながるおそれがあります。南京錠を使用する際は，適切なサイズのものをご使用ください。



8. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。
   このとき，駆動用バッテリー残量計も同時に点灯します。

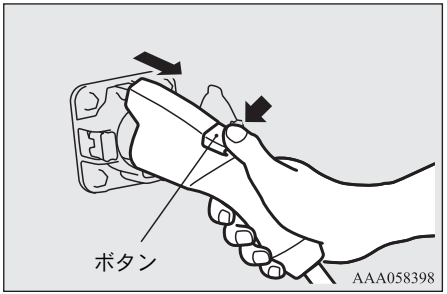


充電ランプが点灯しない場合は，充電が開始されていません。
普通充電給電口およびプラグが正しく接続されているか確認しながら，再度手順 5. からやり直してください。

アドバイス

- 充電ランプは，充電コネクターを充電給電口に差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り替わります。
- 充電中はメーター内の駆動用バッテリー残量計が点灯し，充電量を確認することができます。充電が完了すると，消灯します。
- 充電中は盗難などを防ぐため，必ずドアを施錠してください。

9. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。図のように普通充電コネクターの下部を握り，ボタンを押しながら引き抜き，普通充電コネクターのキャップを取り付けます。



⚠注意

- 走行する前は，必ず普通充電コネクターが普通充電給電口から取り外されていることを確認してください。普通充電コネクターが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合，パワースイッチを操作すると走行可能状態にできるため，車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 充電を途中で中止することもできます。この場合も，ボタンを押しながら普通充電コネクターを引き抜きます。

10.中ブタを閉じてから，リッドを閉じます。

⚠警告

- 充電が終わった後は普通充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉めてください。
  また，普通充電給電口，中ブタおよび普通充電コネクターに水やほこりが入らないように注意してください。
  水やほこりなどが入ると漏電の原因となり，火災，感電の原因となります。

アドバイス

- 中ブタを閉めずにリッドを強引に閉めると，中ブタが破損するおそれがありますので確実に閉じてください。

11.普通充電ケーブルのプラグをコンセントから引き抜きます。
12.普通充電ケーブルを水で濡れたり，埃がつかない場所に保管します。

急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）

タイプ別装備　J01801301268

⚠警告

- 必ず，CHAdeMO規格に準拠し，CHAdeMO協議会の認証を受けた急速充電器を使用してください。それ以外の急速充電器を使用すると火災，故障の原因となります。
- 急速充電器の操作は，各急速充電器のマニュアルにしたがって正しく行ってください。
  無理な操作を行うと故障の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，つぎのことをお守りください。電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠警告

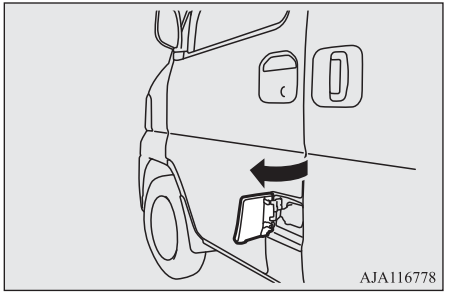
- 急速充電器を使用しないでください。
- 急速充電器を設置している場所には，可能な限り近づかないでください。なお，不用意に近づいた場合は，立ち止まらず速やかに離れてください。
- 急速充電器を操作する必要がある場合は，他の方にお願いしてください。

- 充電前に，急速充電給電口および急速充電コネクターにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。
  このとき急速充電給電口に手を触れないようにしてください。
- 急速充電コネクターと急速充電給電口を接続する際，接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。
  水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災，感電の原因となります。接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。
- 充電中は，急速充電コネクターをむりやり外そうとしたり，ゆすったりしないでください。火災，感電，故障の原因となります。
- 充電中，パワースイッチがLOCKの位置でも，点検口内（運転席／助手席下）の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
  充電中は，冷却ファンに手を近づけないでください。

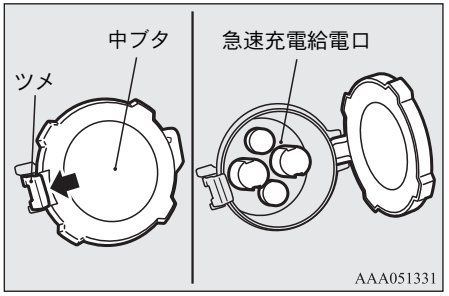
アドバイス

- 充電中には急速充電コネクター，ケーブルが車体よりはみ出すため，体に引っ掛けたり，隣の車両に接触しないように注意してください。
- 急速充電コネクターや急速充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは，無理に接続せずに日産販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると，充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため，必ずドアを施錠してください。
- 急速充電器は，使用可能時間内に充電が終了するように余裕を持って使用してください。充電中に急速充電器の電源がOFF になった場合，車両故障につながるおそれがあります。

1. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
2. パワースイッチを LOCK まで回します。
3. 車両左側のフロントドア付近にあるリッドを開けます。



4. ツメを押して中ブタを開けます。



⚠警告

- 急速充電給電口の中ブタおよびリッドを開けたまま長時間放置しないでください。急速充電給電口に水やほこりなどが入ると漏電の原因となり，火災，感電の原因となります。

⚠警告

- 急速充電給電口および急速充電コネクターの金属端子部に手を触れないでください。
  感電，故障の原因となります。

アドバイス

- 急速充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして急速充電給電口内に水が溜まったときは，充電を行わずに日産販売会社にご連絡ください。
- 急速充電給電口が凍結したときは，ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま急速充電コネクターを無理に接続しようとすると，故障の原因になります。

5. 急速充電給電口に急速充電コネクターを取り付け，充電を開始します。
   取り付け方，取り外し方については，各急速充電器のマニュアルにしたがってください。

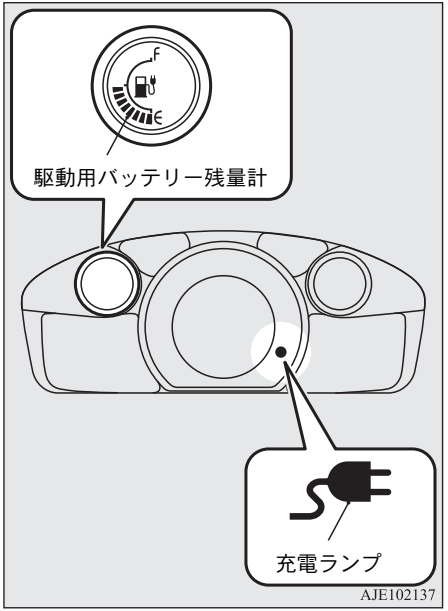
⚠警告

- 充電中に助手席ドアを開けるときは，助手席ドアとケーブルが接触しないように注意してください。また，ケーブルに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると，ケーブルの損傷から火災，感電，ショートの原因となります。

⚠注意

- 急速充電コネクターを落下させるとケガをしたり，車両や急速充電コネクター，急速充電給電口を破損したりするおそれがありますので，十分注意してください。
- 急速充電コネクターを差し込むときは，急速充電給電口に対してまっすぐに根元まで差し込んでください。急速充電コネクターが根元まで差し込まれないまま充電を開始すると，駆動用バッテリーが充電されなかったり，充電機器が破損するおそれがあります。
- 充電中は急速充電コネクターがロックされ取り外すことができません。無理に急速充電コネクターを外そうとすると急速充電コネクターが破損する可能性がありますので，充電中は急速充電コネクターに触らないようにしてください。途中で充電を止めるときは，急速充電器の表示手順に従って充電を停止して，充電が中止されたことを確認してから急速充電コネクターを取り外してください。
- 充電中は急速充電コネクターに無理な力を加えないでください。
  急速充電コネクターや急速充電給電口が破損して，充電ができなくなる可能性があります。

6. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。
   このとき，駆動用バッテリー残量計も同時に点灯します。



充電ランプが点灯しない場合は，充電が開始されていません。
急速充電器のマニュアルにしたがってください。

アドバイス

- 充電ランプは，急速充電コネクターを急速充電給電口に差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り替わります。
- 充電中はメーター内の駆動用バッテリー残量計が点灯し，充電量を確認することができます。充電が完了すると，消灯します。

7. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。充電は下記の条件で終了します。

   - ほぼ満充電になったとき。
   - 急速充電器側で充電停止操作を行ったとき。
   - 急速充電器側に設定されている停止条件（充電量・充電時間）となったとき。

   各急速充電器のマニュアルにしたがって，急速充電コネクターを取り外します。

⚠注意

- 充電が終わった後は急速充電コネクターを取り付けたまま放置しないでください。
  誤ってケーブルに足を引っかけて転倒したり，いたずらにより急速充電給電口を破損するおそれがあります。

⚠注意

- 走行する前は，必ず急速充電コネクターが急速充電給電口から取り外されていることを確認してください。急速充電コネクターが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合，パワースイッチを操作すると走行可能状態にできるため，車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- 充電が終わった後は急速充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉めてください。
  また，急速充電給電口，中ブタおよび急速充電コネクターに水やほこりが入らないように注意してください。
  水やほこりなどが入ると火災，感電，ショートの原因となります。

アドバイス

- 急速充電は満充電付近になると充電される速度が遅くなります。つぎに待っている人がいるときは，必要な量で充電を停止し，つぎの方にゆずってあげてください。
- 充電終了後は，充電器の前に車両を駐車したままにせず，すみやかに車両を移動してください。
- 急速充電は，充電量が100％になる前に充電が完了します。これは CHAdeMO 規格の仕様であり，故障ではありません。

アドバイス

- 急速充電コネクターを急速充電給電口に接続したままで，パワースイッチを START 位置まで回しても，パワーユニットの起動はできません。
  起動させる前に，必ず急速充電コネクターを外してください。
- 充電が終わった後，急速充電給電口の中ブタを閉めずにリッドを強引に閉めると，中ブタが破損するおそれがありますので確実に閉じてください。

8. 中ブタを閉じてから，リッドを閉じます。

充電トラブルシューティングガイド

J01804401215

症状	原因	対処法
充電が開始されない。	セレクターレバーがⓅ以外の位置にある。	セレクターレバーをⓅの位置にしてください。
	パワースイッチが ON になっている。	充電前に，パワースイッチを LOCK にしてください。
	駆動用バッテリーがすでに満充電になっている。	駆動用バッテリーがすでに満充電になっているときは，充電が行われません。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P.2-7
	補機用バッテリーがあがっている。	パワーユニットが起動できないため，駆動用バッテリーが充電できません。補機用バッテリーを充電してください。→「補機用バッテリーが上がったときは！」P.15-27
	車両または充電ケーブルに異常がある。	車両または充電ケーブルに異常がある可能性があります。メーター内のパワーユニット警告灯が点灯してないか確認してください。→「パワーユニット警告灯」P.8-12 また，コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。→「普通充電ケーブル」P.5-6 警告が表示された場合は，すぐに充電を中止し日産販売会社に連絡してください。
	ヒューズが切れている。	助手席足元にあるヒューズボックス内の室内灯（ルームランプ）のヒューズが切れていないか確認してください。 →「ヒューズが切れたときは！」P.15-34

症状	原因	対処法
普通充電が開始されない。	コンセントまで電力がきていない。	停電していたり，漏電遮断機が作動していないか確認してください。なお，電源にタイマー機能がついている場合，電源に設定されている時間帯までは，コンセントに電力が供給されないものもあります。 コントロールボックスの POWER インジケーターが点灯しているか確認してください。
	コンセントのアース接続不良が起きている。	コンセントのアース線が断線していないか，およびアース線が正しく接続されているか確認してください。 コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。→「普通充電ケーブル」P.5-6
	充電コネクターが正しく接続されていない。	普通充電コネクターが正しく接続されているか確認してください。
	充電コネクターを短時間に何度も抜き差しした。	一度充電コネクターを取り外し，しばらく待ってからもう一度充電開始操作を行ってください。
	他の車種の普通充電ケーブルを使用している。	CLIPPER EV 専用の普通充電ケーブルを使用してください。
	CLIPPER EV に対応していない普通充電器を使用している。	CLIPPER EV に対応した普通充電器であるか管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また，充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。

症状	原因	対処法
普通充電が途中で止まってしまう。	コンセントまで電力がきていない。	充電中に漏電遮断器が作動したり，停電が起きたりした可能性があります。この場合，電力が復帰すると自動的に充電も再開されます。
	コンセントのアース接続不良が起きている。	コンセントのアース線が断線していないか，およびアース線が正しく接続されているか確認してください。 コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。→「普通充電ケーブル」P.5-6
	普通充電ケーブルが抜けてしまっている。	普通充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	充電コネクターのボタンが押されている。	充電コネクターのボタンがしばらく押されたままになっていると，充電が停止します。 もう一度充電開始操作を行ってください。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P.2-7
	普通充電のタイマーで終了している。	普通充電器本体には，一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり，この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは，一度充電コネクターを取り外し，もう一度充電開始操作を行ってください。
	車両または充電ケーブルに異常がある。	車両または充電ケーブルに異常がある可能性があります。メーター内のパワーユニット警告灯が点灯していないか確認してください。→「パワーユニット警告灯」P.8-12 また，コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。→「普通充電ケーブル」P.5-6 警告灯が点灯している，またはインジケーターが異常を示している場合は，すぐに充電を中止し日産販売会社に連絡してください。

症状	原因	対処法
急速充電が開始されない。	充電コネクターが正しく接続されていない。	急速充電コネクターが正しく接続されているか確認してください。
	急速充電器のセルフチェック機能で NG になってしまった。	車両が故障している可能性があります。ただちに充電を停止して，日産販売会社に連絡してください。
	急速充電器の電源が OFF になっている。	急速充電器の電源を確認してください。OFF である場合，急速充電器の管理者または急速充電器メーカーに連絡してください。
急速充電が途中で止まってしまう。	急速充電器のタイマーで終了している。	急速充電器本体には，一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり，この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは，各急速充電器のマニュアルにしたがって一度急速充電コネクターを取り外し，もう一度充電開始操作を行ってください。
	急速充電器の電源が OFF になってしまった。	急速充電器の電源を確認してください。OFF である場合，急速充電器の管理者または急速充電器メーカーに連絡してください。
急速充電後にパワーユニットを起動したとき，急速充電コネクターが接続されていないのに充電ランプが点滅し続ける。	急速充電が正常に終了していない。	再度急速充電を行い，正常に終了させてください。または，日産販売会社へご連絡ください。
急速充電後にパワーユニットが起動しない。	車両に異常がある。	車両が故障している可能性があります。パワースイッチを ON にして，セレクターレバーを Ⓝ に入れた後，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動させてください。 移動したら日産販売会社へご連絡ください。

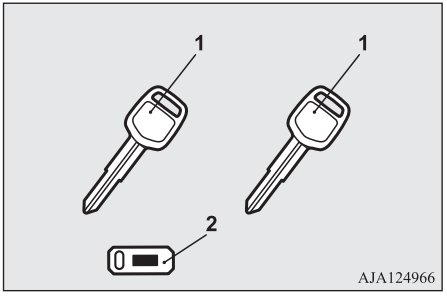
各部の開閉

キー 6-2
キーレスエントリー（プレ空調スターター付き） 6-3
ドア 6-4
集中ドアロック 6-6
テールゲート 6-7
パワーウインドウ（フロントドア） 6-9
マニュアルウインドウ 6-10
点検口（運転席／助手席下） 6-10
パワーユニット点検口 6-11

キー

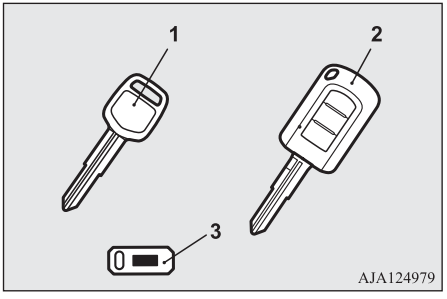
J00400102904

除く，キーレスエントリー 付き車



1： マスターキー
2： キーナンバープレート

キーレスエントリー 付き車



1： マスターキー
2： マスターキー
（キーレスエントリー用キー）
3： キーナンバープレート

⚠警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- キーレスエントリー機能付きのキーは，信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - •ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - •分解，改造をしない
  - •キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - •水にぬらさない
  - •磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - •オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - •携帯電話や無線機など強い電波を発する機器の近くに置かない

アドバイス

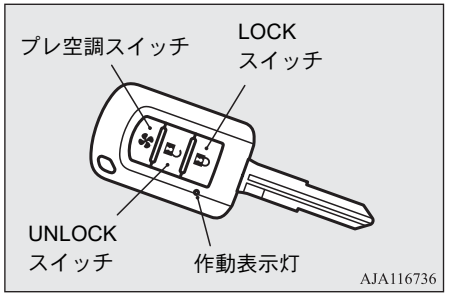
- •超音波洗浄器などで洗浄しない
- 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解，改造したキーを使用することは法律で禁止されています。
  また，必ず日本国内でご使用ください。
- 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに日産販売会社にご相談ください。
  また，キーナンバーを日産販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。

キーレスエントリー（プレ空調スターター付き）

タイプ別装備

J00400302573

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠をすることができます。
また，プレ空調スイッチを押すことで乗車前にエアコンを作動させることができます。詳しくは「プレ空調」をお読みください。→P.11-11



ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

J00405701302

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。

施錠・解錠時の作動確認

J00405801404

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点滅・点灯はルームランプのスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：ルームランプおよび非常点滅灯が 1 回点滅
解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が 2 回点滅

アドバイス

- 近くに TV 塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況によりリモコンスイッチの作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - パワースイッチにキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは日産販売会社にご相談ください。4 個まで作ることができます。
- つぎのときはリモコンスイッチの電池の消耗が考えられます。
  - 作動距離が短くなったとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P.6-3

電池交換のしかた

J00415101501

⚠警告

- 電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

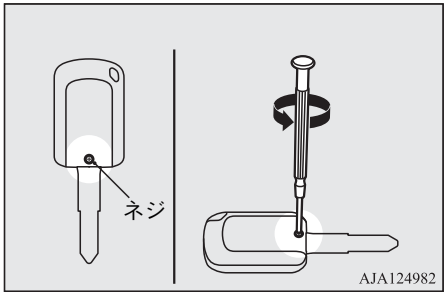
- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，日産販売会社での交換をおすすめします。

アドバイス

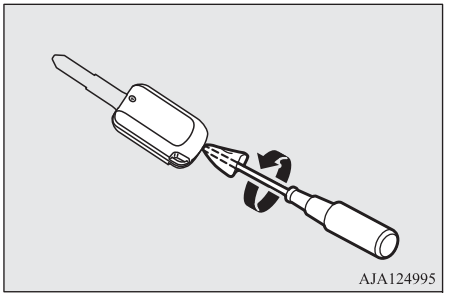
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- 電池は日産販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR1620

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。
2. キーのスイッチが無い面を上にしてネジを取り外します。



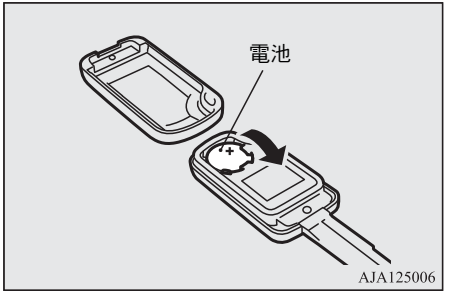
3. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを外します。



アドバイス

- 必ずスイッチが無い面を上にしてケースを外してください。内部の部品が外れるおそれがあります。

4. 古い電池を取り外し，新しい電池を + 極を上にして取り付けます。



5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400567

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずパワースイッチを LOCK にしてドアを施錠してください。法的にも義務づけられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

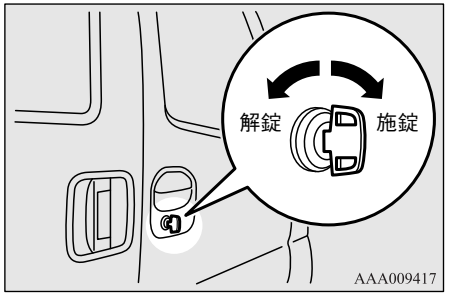
- ドアを閉めるときは，確実に閉め，メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

車外から施錠･解錠するときは

J00404401979

キーを使って施錠・解錠するときは

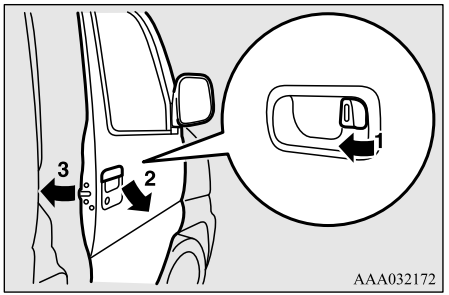
キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。



キーを使わずに施錠するときは

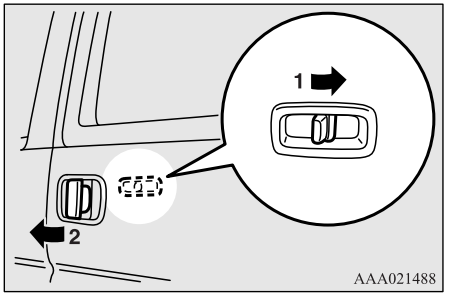
フロントドア

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。



リヤスライドドア

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒します。
2. ドアを閉じます。



⚠注意

- ドアを閉めるときは手をはさまないように気をつけてください。

パワースイッチ切り忘れ警告ブザー

J00413300049

パワースイッチがONの位置のままで，運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，パワースイッチの切り忘れを知らせます。

キー抜き忘れ警告ブザー

J00404500638

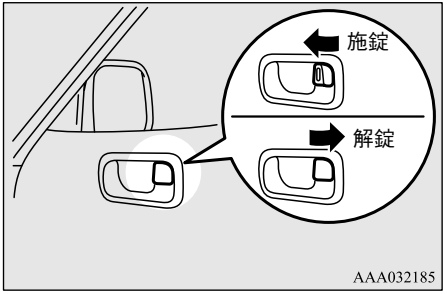
パワースイッチにキーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

車内から施錠･解錠するときは

J00404602011

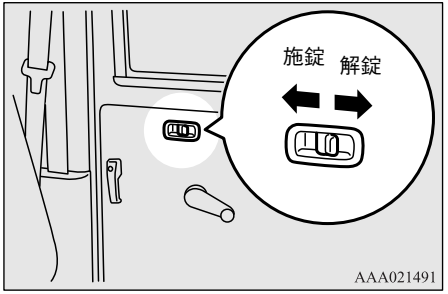
フロントドア

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



リヤスライドドア

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ倒すと解錠します。



アドバイス

- 集中ドアロック付き車は，施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いて集中ドアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

集中ドアロック

J00400502269

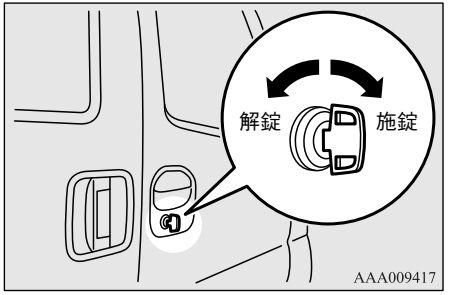
つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いて集中ドアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

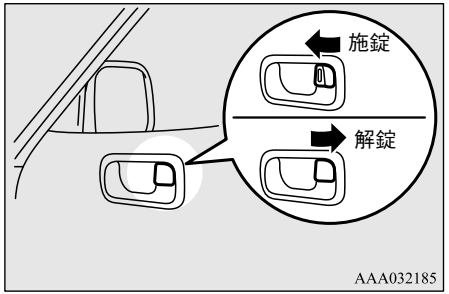
キーを使って施錠･解錠するときは

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



ロックノブを使って施錠･解錠するときは

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



テールゲート

J00401102406

⚠警告

- ラゲッジルームは人が乗る構造になっておりません。人を乗せたり，お子さまを遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

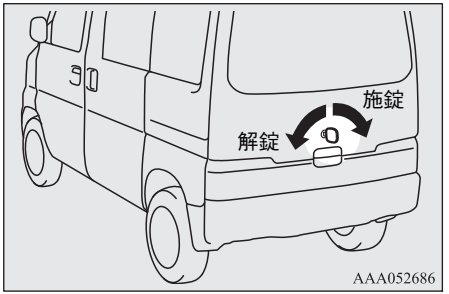
- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，周囲の安全や車両の後方および上方に十分なスペースがあることを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。
- テールゲートに積雪や氷の付着があるときは，テールゲートを開ける前に雪や氷を取り除いてください。
  取り除かずに開けておくと，雪や氷の重みでテールゲートが突然閉じるおそれがあります。
- テールゲートを開けたときは，テールゲートが必ず全開で静止していることを確認してください。
  途中までしか開いていないと，突然閉まるおそれがあります。特に傾斜地では，平坦な場所よりもテールゲートの開閉がしにくかったり，急に開いたり閉じたりするおそれがあります。

⚠注意

- テールゲートが損傷しないように，テールゲートを開ける前にテールゲートの上や後ろに障害物がないか確認してください。

車外から施錠･解錠するときは

キーを差し込み，右に回すと施錠，左に回すと解錠されます。

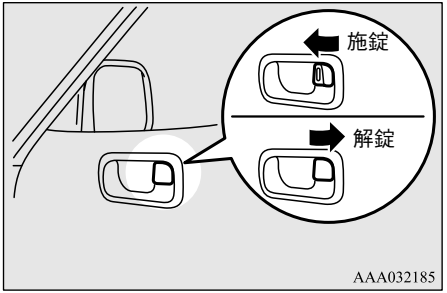


アドバイス

- 集中ドアロックまたはキーレスエントリーを使って運転席ドアを施錠・解錠すると，テールゲートも同時に施錠・解錠されます。

車内から施錠･解錠するときは

運転席のロックノブを車両前方に倒すと施錠，車両後方に倒すと解錠されます。

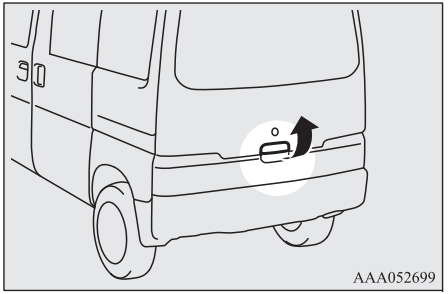


アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いて集中ドアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

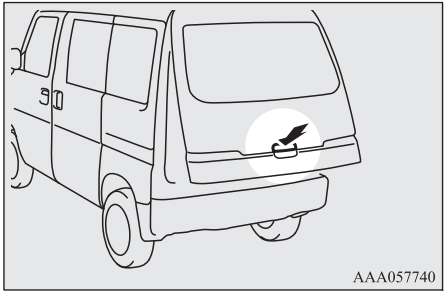
開けるときは

解錠後，ハンドルを引いて持ち上げます。テールゲートを開くとラゲッジルームランプが点灯し，閉じると消灯します。



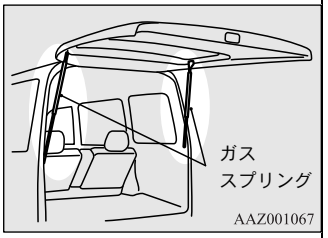
閉めるときは

テールゲートを引き下げ，ハンドルの上から押さえつけて閉じます。



アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



  損傷や作動不良を防ぐため，つぎのことをお守りください。
  - ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
  - ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
  - ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
  - ガススプリングに物をかけないでください。
- テールゲートを閉めるときは，テールゲートやガススプリングと荷物が干渉していないことを確認してください。干渉したままテールゲートを閉めるとテールゲートやガススプリングが損傷し，テールゲートを閉めることができなくなるおそれがあります。

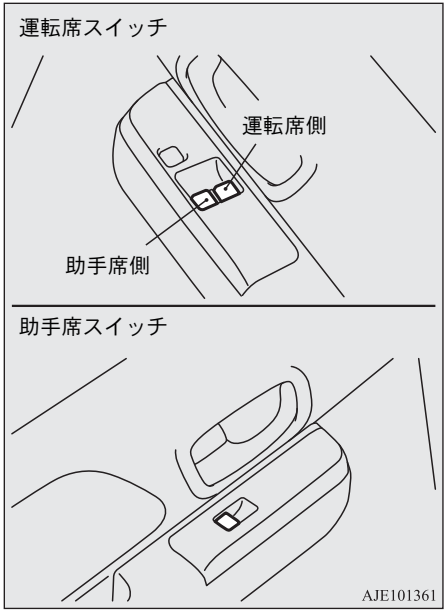
パワーウインドウ（フロントドア）

タイプ別装備

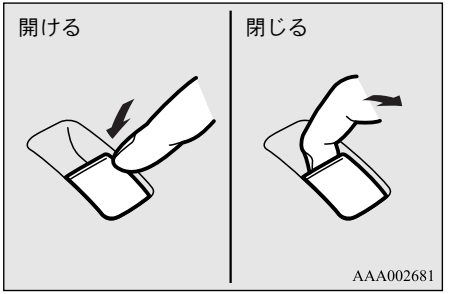
J00401502080

⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。



パワースイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。



運転席ドアガラスは，運転席側のスイッチを強く押すと，自動的に全開します。途中で止めたいときはスイッチを引き上げます。

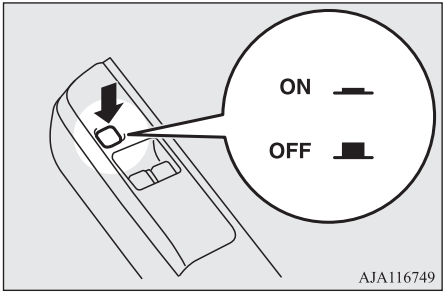
アドバイス

- 運転席スイッチで前席のドアガラスの開閉をすることができます。

ロックスイッチ

J00404301848

お子さまを乗せるときはロックスイッチを ON にしてください。
助手席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。



アドバイス

- ロックスイッチがONのときは, 運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

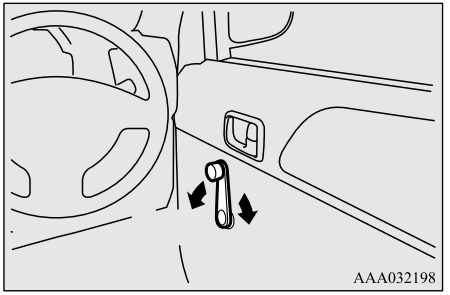
マニュアルウインドウ

タイプ別装備

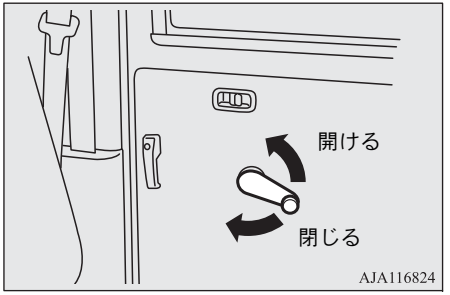
J00401401112

ハンドルを回すと開閉します。

フロントドア



リヤスライドドア



アドバイス

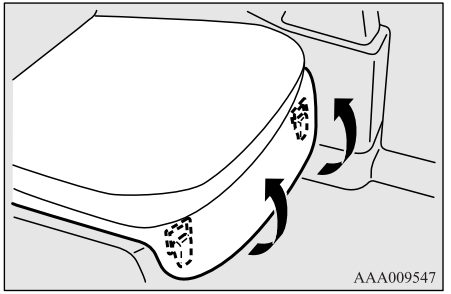
- リヤスライドドアのガラスは全開しません。

点検口(運転席／助手席下)

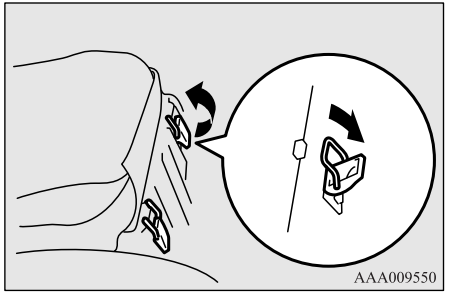
J00402201133

運転席および助手席を操作することにより，ウォッシャー液，ヒューズなどの点検をすることができます。

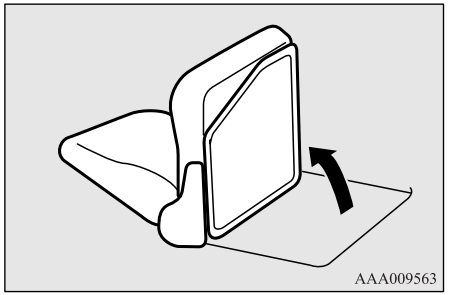
1. 運転席シートは後方へいっぱいまで移動します。
2. シートクッション下側のカーペットをめくります。



3. シートクッション下側のレバーを引き上げロックを外します。



4. シート全体をゆっくり後ろに倒します。



5. 元に戻すときは逆の手順で行います。
6. 元に戻した後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されていることを確認します。

⚠注意

- シートを後ろに倒すときは，シート後方に人や荷物がないことを確認してから行ってください。

パワーユニット点検口

J00413401092

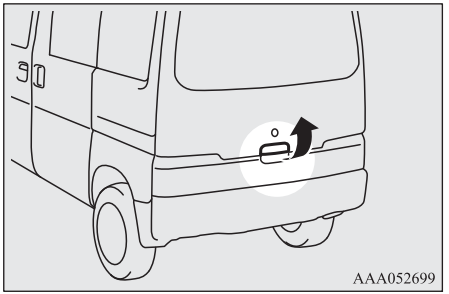
パワーユニット点検口が荷室の下にあります。
パワーユニットルームの点検をするときは，ラゲッジルームカーペットおよびパワーユニットルームリッドを取り外してください。

⚠注意

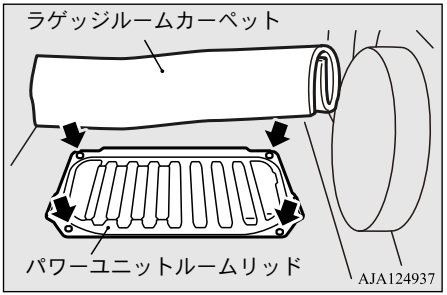
- パワーユニットルームリッドおよびその周辺は熱くなっていることがありますので注意してください。

開けるときは

1. テールゲートを開けます。
   →「キーレスエントリー（プレ空調スターター付き)」P.6-3
   →「集中ドアロック」P.6-6
   →「テールゲート」P.6-7



2. ラゲッジルームカーペットを車両前方にめくり，パワーユニットルームリッドのボルト（4 箇所）を左に回して外し，パワーユニットルームリッドを取り外します。



アドバイス

- パワーユニットルームリッドを地面に置くときは，パワーユニットルームリッド裏側のゴム面を上にして置いてください。
  下にして置くとゴムにゴミなどが付き，パワーユニットルームリッドを元に戻すときに確実に取り付けられなくなります。

閉めるときは

1. パワーユニット点検口の周辺およびパワーユニットルームリッド裏側のゴムに付いた汚れをきれいに取り除きます。
2. パワーユニットルームリッドの穴と床の穴（4 箇所）の位置を合わせます。
3. ボルトを穴に差し込み，右に回してパワーユニットルームリッドを確実に取り付けます。

アドバイス

- パワーユニットルームリッドを取り付けるときは，パワーユニット点検口の周辺に異物がないことを確認し，ボルトを確実に締め付けてください。
  締め付けが不十分だと車内にパワーユニットルームの音が漏れて車内で聞こえる音が大きくなったり，路面から跳ね上げられた水が荷室に入り込むことがあります。

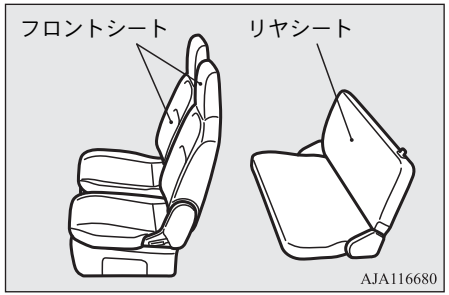
4. ラゲッジルームカーペットを元の位置に戻します。

安全装備

シート 7-2
シートアレンジ 7-2
シート調整 7-2
荷室の作り方 7-5
シートベルト 7-7
プリテンショナー機構／
　フォースリミッター機構付シートベルト 7-10
チャイルドシート 7-12
SRS エアバッグ 7-16

シート

J00509902472



フロントシート

- 前後調整（運転席）P.7-3
- 背もたれの角度調整 P.7-4
- 背もたれの前倒し（助手席）P.7-4
- シートヒーター P.7-5

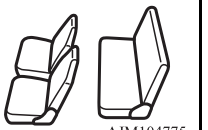
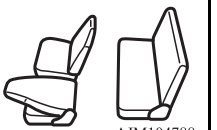
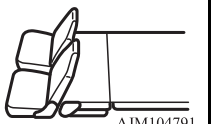
リヤシート タイプ別装備

- 折りたたむときは P.7-6

シートアレンジ

J00500101692

お好みに合わせて，つぎのようなシートアレンジをすることができます。

通常の使い方	 AJM104775
背もたれの前倒し（助手席） → P.7-4	 AJM104788
荷室の作り方 タイプ別装備 → P.7-5	 AJM104791

シート調整

J00500201521

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，シートなどの故障の原因になります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。
- シートの下に落とした物を拾うときや車内を清掃するときなど，シートの下に手を入れるときは十分注意してください。シートレールやシートフレームなどでけがをするおそれがあります。

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。



⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

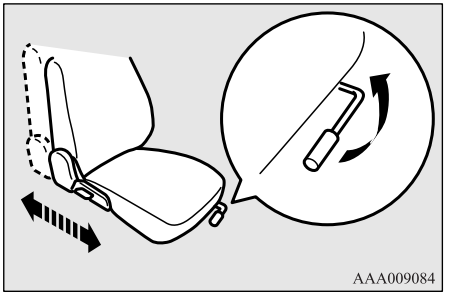
⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整（運転席）

J00513500013

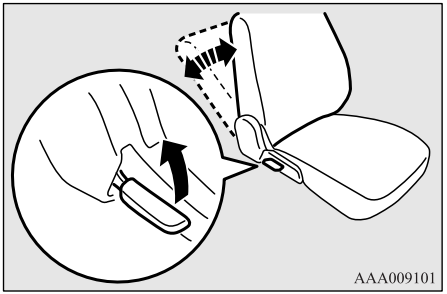
レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



背もたれの角度調整

J00513601024

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。



⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

背もたれの前倒し（助手席）

J00513701025

助手席シートの背もたれを前倒しすることにより，大きな荷物を積むことができます。

⚠警告

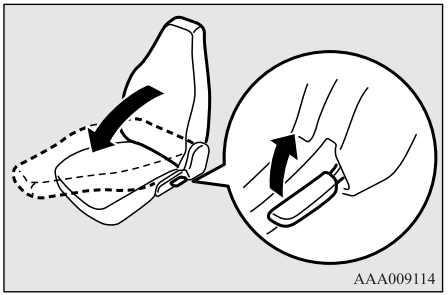
- 背もたれを前倒しにした状態で人を乗せて走行しないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに手を添えて行ってください。背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

倒すときは

レバーを引いたまま背もたれを前へ倒します。



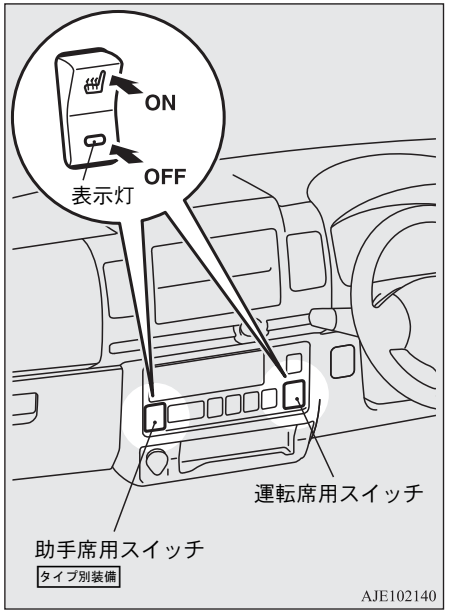
戻すときは

背もたれを確実にロックするまで起こします。戻したあとは，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

シートヒーター

J00513801055

パワースイッチが ON のときにスイッチの上側を押すとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。
シートヒーターを切りたいときはスイッチの下側を押します。



⚠注意

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときの連続使用は補機用バッテリーが上がる原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - 飲酒した方およびねむけをさそう薬などを飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチを OFF にしてください。
- つぎの状況でもシートヒーターを使用することができます。
  - 充電中にエアコンを使用しているとき
  - プレ空調が作動しているとき（キーレスエントリー付き車）

→「充電中のエアコンの使い方」P.11-10
→「プレ空調」P.11-11
→「植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は」P.3-14

荷室の作り方

タイプ別装備

J00503501440

リヤシートを折りたたむことにより，大きな荷物を積むことができます。

⚠警告

- 荷室を作るときは必ず走行前に行ってください。走行中にシートを操作すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートを折りたたんだり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

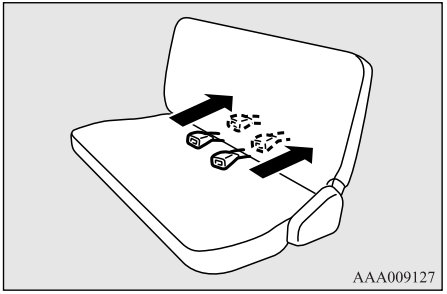
⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また，荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

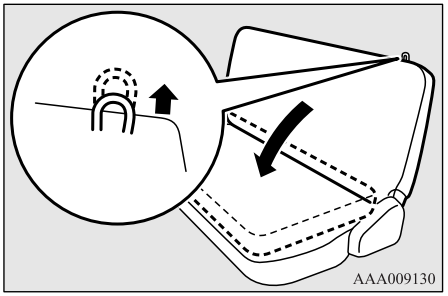
折りたたむときは

J00507600282

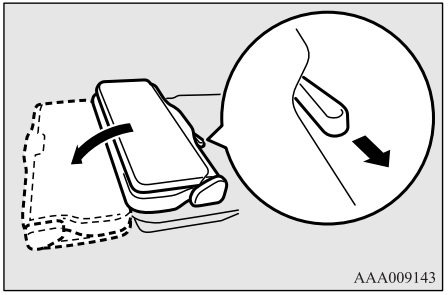
1. シートベルトのバックルを荷室側へ押し出します。



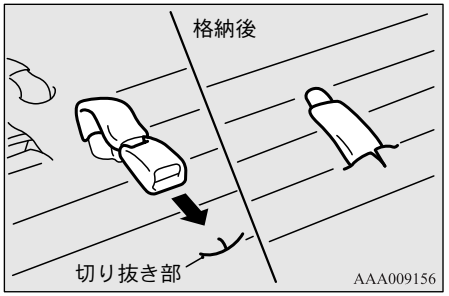
2. ノブを引き上げたまま，背もたれを前へ倒します。



3. シート後方のバンドを引いてロックを外し，シート全体を前方へ倒します。



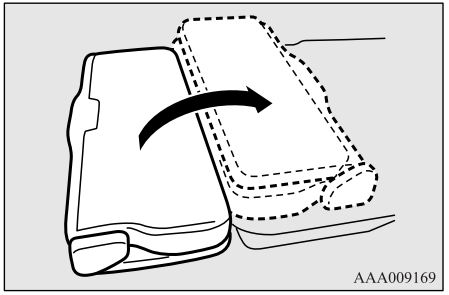
4. シートベルトのバックルをフロアの切り抜き部に格納します。



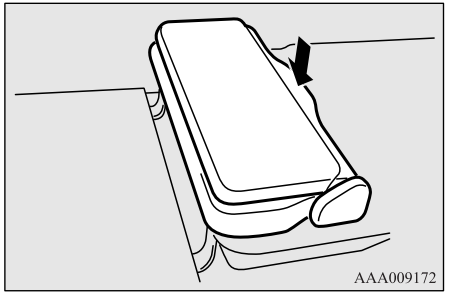
戻すときは

J00507700241

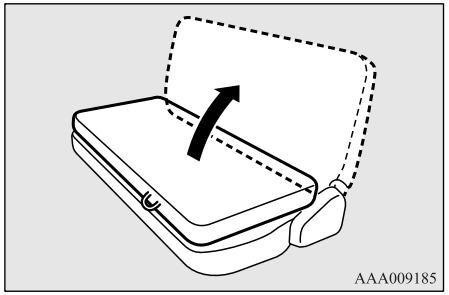
1. シート全体を後方へ起こします。



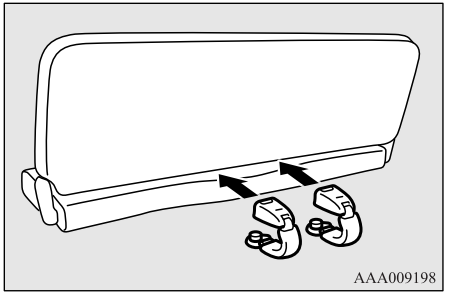
2. シート後部をカチッと音がするまで押し付けるか，またはシートを少し持ち上げた位置（約 30cm）から離し確実に固定します。



3. ノブを引き，背もたれを確実にロックするまで起こします。



4. 背もたれとクッションの間を通してシートベルトのバックルを元の位置に戻します。



5. 操作後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

シートベルト

J00505101815

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。



⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「シート調整」を参照してください。→ P.7-2

⚠警告

- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



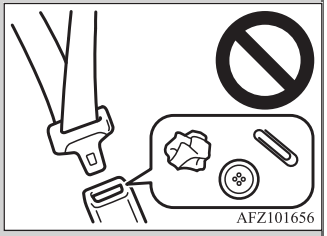
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も日産販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は日産販売会社へご相談ください。

⚠警告

- バックルや巻き取り装置の内部に異物（ビニール片，クリップ，ボタンなど）を入れないようにしてください。また，シートベルトの改造や取り外し，取り付けをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。



- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200239

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

着用するときは

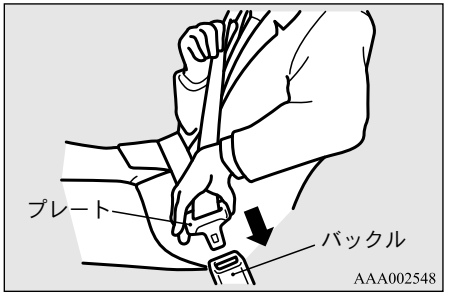
J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。



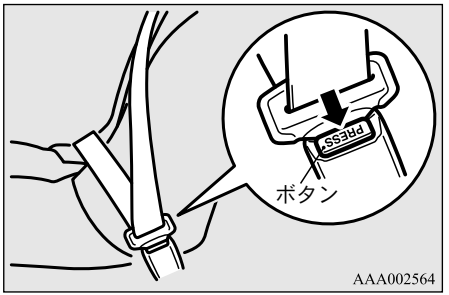
3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。



外すときは

J00507901572

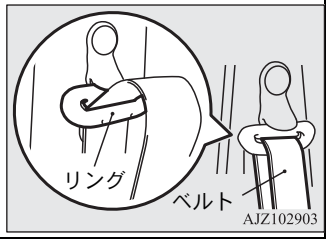
1. プレートを持ってバックルのボタンを押します。



2. ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えてゆっくり戻します。

アドバイス

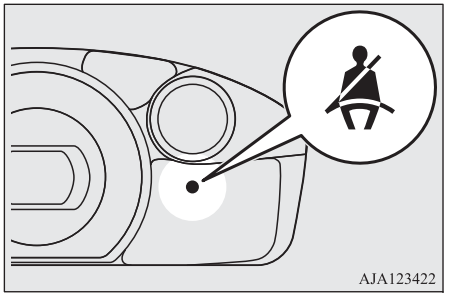
- ベルトやリングが汚れていると，ベルトがスムーズに巻き取られないことがあります。見た目で分からなくても実際は汚れている場合がありますので，ベルトを全て引き出し，中性洗剤を使用してベルト全体やリングを拭いてください。
  見えない汚れを取ることで，ベルトの動きが元に戻ることがあります。
  →「シートベルトのお手入れ」P.13-5



シートベルト警告

J00509701835

運転席および助手席のシートベルトを着用しないままパワースイッチを ON にすると，警告灯が点灯し，約 6 秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，パワースイッチを ON にしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・消灯を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。
警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。



アドバイス

- 助手席用の警告は，助手席に組み込まれた乗員検知センサーが助手席に掛かる重量を検知したときに作動します。助手席に荷物などを置くと，センサーが重量を検知して，警報が作動することがあります。

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505702238

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，パワースイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「シート調整」P.7-2
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P.7-7
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，日産販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは日産販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  日産販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

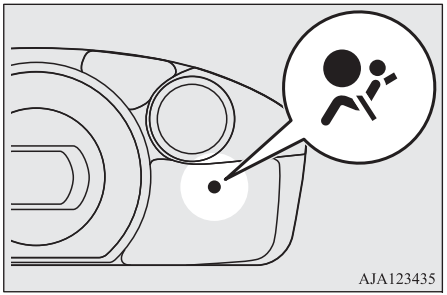
J00510100021

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00510001535

正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるときは，点灯します。



⚠警告

- 警告灯がパワースイッチを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は，事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付シートベルトが正しく作動せず，重大な傷害を受けたり，死亡したりするおそれがあります。
  ただちに日産販売会社で点検を受けてください。

チャイルドシート

J00506002342

⚠警告

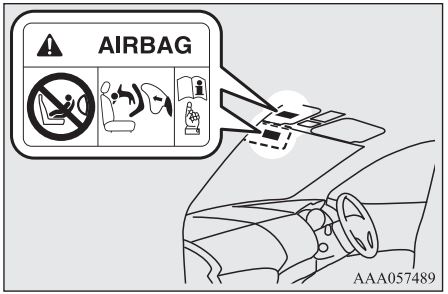
- シートベルトは大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- ６才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートの取り付けはリヤシートを推奨しています。リヤシートの無い車両へのチャイルドシートの取り付けはおすすめしません。

⚠注意

- 取り付けたチャイルドシートの前にあるシートを調整するときは，チャイルドシートと干渉しないように注意してください。
- フロントシートを後方へ移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
  お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意

J00515001110



⚠警告

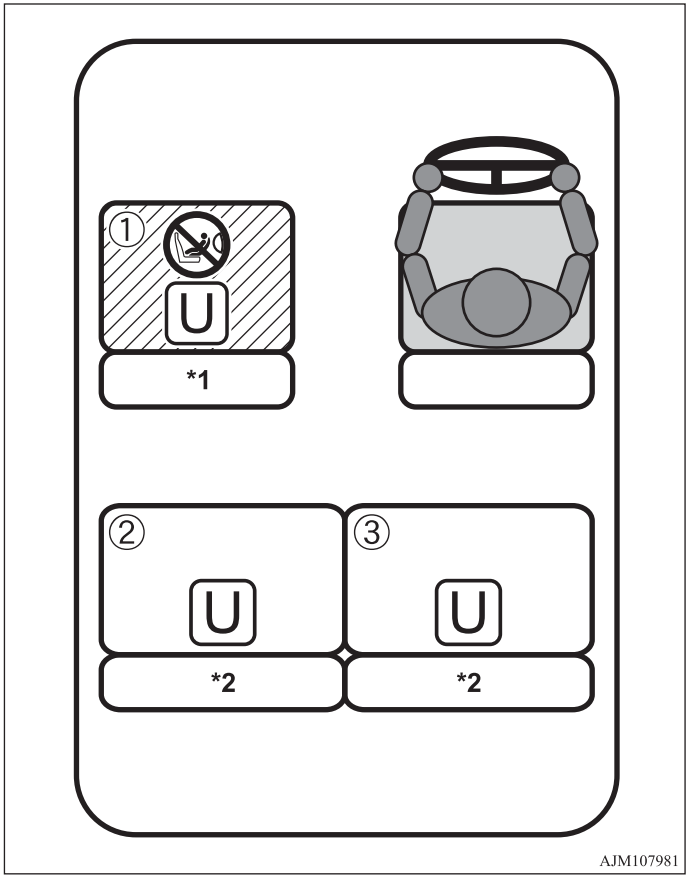
- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，お子さまが死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。



- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを取り付けてください。

シート位置別チャイルドシートの選択

J00514000057



U 車両のシートベルトで固定するタイプの汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートの取り付けが可能です。

前向き装着のチャイルドシートのみ取り付けが可能です。

後ろ向き装着のチャイルドシートの取り付け禁止です。

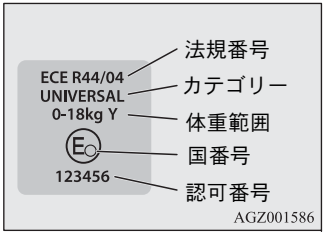
*1：助手席にチャイルドシートを取り付けるときは，背もたれを最も起こした位置に調節してください。
ただし，背もたれとチャイルドシートにすき間があり，不安定になる場合は，背もたれを最も起こした位置から 7 段後方に調節してください。
*2：リヤシートにチャイルドシートを取り付けるときは，お子さまの脚やチャイルドシートが当たらないように，フロントシートの背もたれの角度や前後位置（運転席のみ）を調整してください。

チャイルドシートメーカーに関する詳細情報

シート位置の番号	①助手席	リヤシート	
		②左側席	③右側席
汎用ベルト式に適する着席位置（有／無）	有 （前向きのみ）	有	有
i-Size および ISOFIX 着席位置（有／無）	無	無	無
横向き固定具に適する着席位置 (L1/L2)	無	無	無
適する最大の後ろ向き固定具 (R1/R2X/R2/R3)	無	無	無
適する最大の前向き固定具 (F2X/F2/F3)	無	無	無
適する最大のブースター固定具 (B2/B3)	無	無	無

アドバイス

● UN-R44 に適合したチャイルドシートには，次の認可マークが表示されています。



チャイルドシートの取り付け方

J00506502187

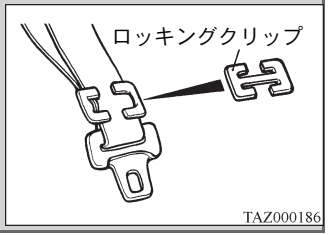
チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

取り付けるときは

7

⚠警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。
  必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

SRS エアバッグ

J00506602481

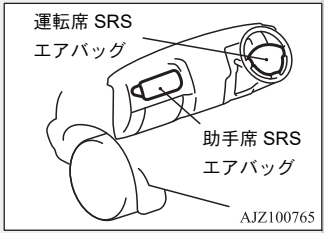
SRS とは Supplemental Restraint System の略語で補助拘束装置の意味です。
パワースイッチが ON のときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際に SRS エアバッグが膨らむとその強い衝撃で死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRS エアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは日産販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。

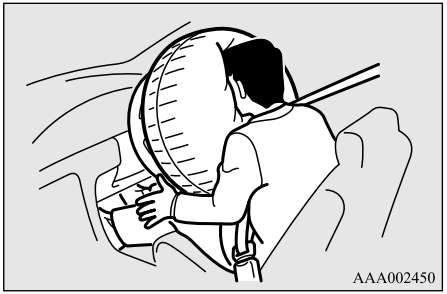
アドバイス

- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で SRS エアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席 SRS エアバッグ

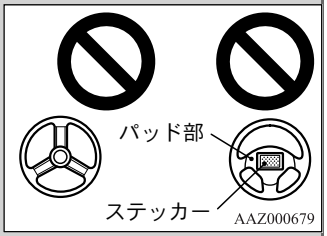
J00506701704

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。



⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

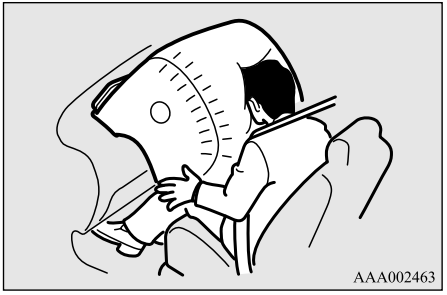


- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席 SRS エアバッグ

J00506802454

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。



7

⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
  また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。



- お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃で，お子さまが死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - 必ずシートベルトを着用させてください。
  - シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートを装着してご使用ください。
  - 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，お子さまが死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。



- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。



⚠警告

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを取り付けてください。

⚠警告

- 助手席同乗者は，シートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより死亡または重大な傷害を受けるおそれがあります。





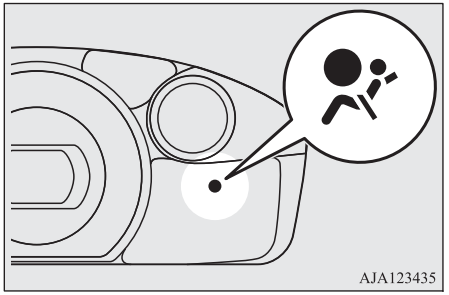
⚠警告

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507302300

正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるときは，点灯します。



⚠警告

- 警告灯がパワースイッチを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は，事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付シートベルトが正しく作動せず，重大な傷害を受けたり，死亡したりするおそれがあります。
ただちに日産販売会社で点検を受けてください。

7

運転席・助手席 SRS エアバッグの作動条件

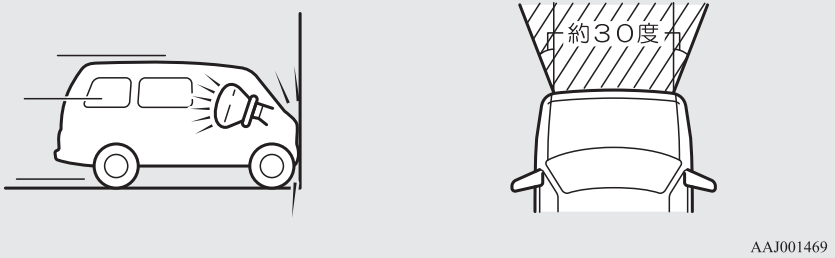
J00506900363

作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき

車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃（左記と同等）を受けたとき

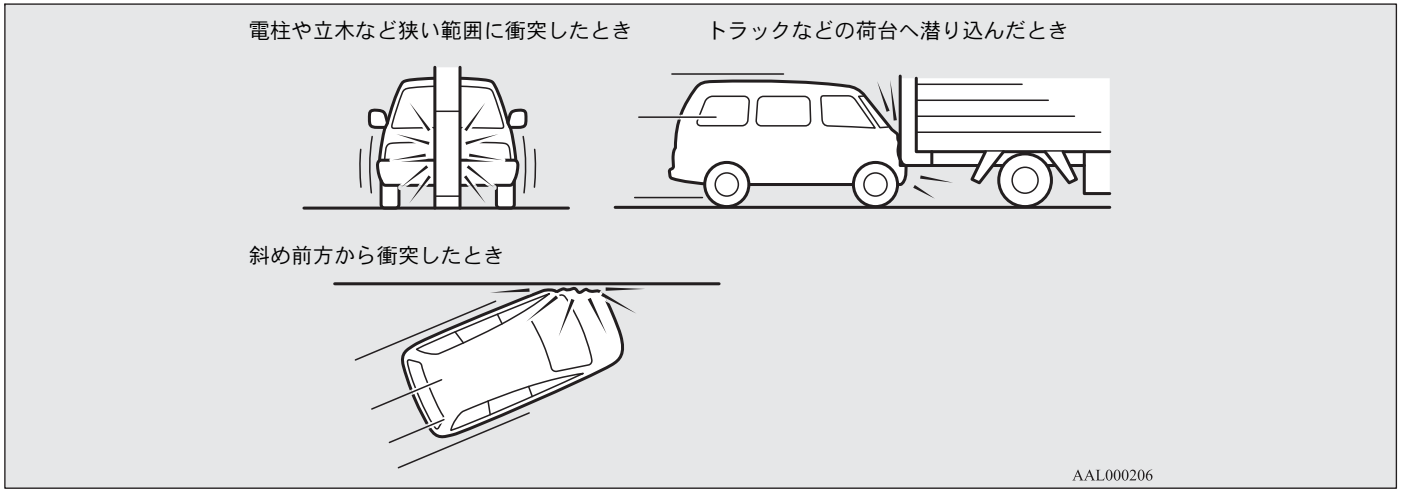


アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

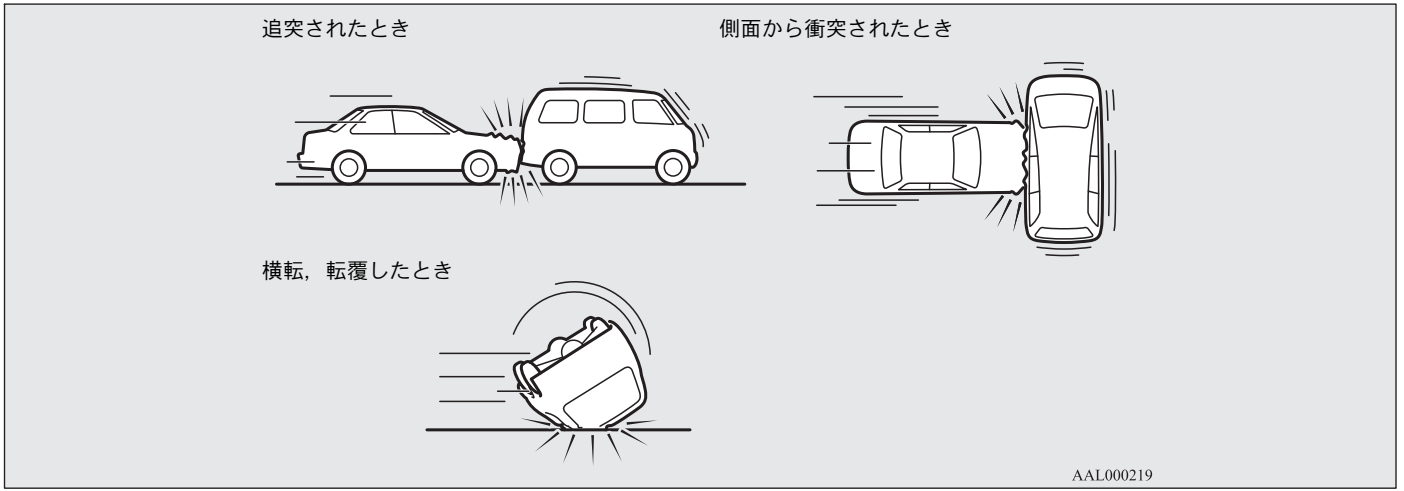
作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。



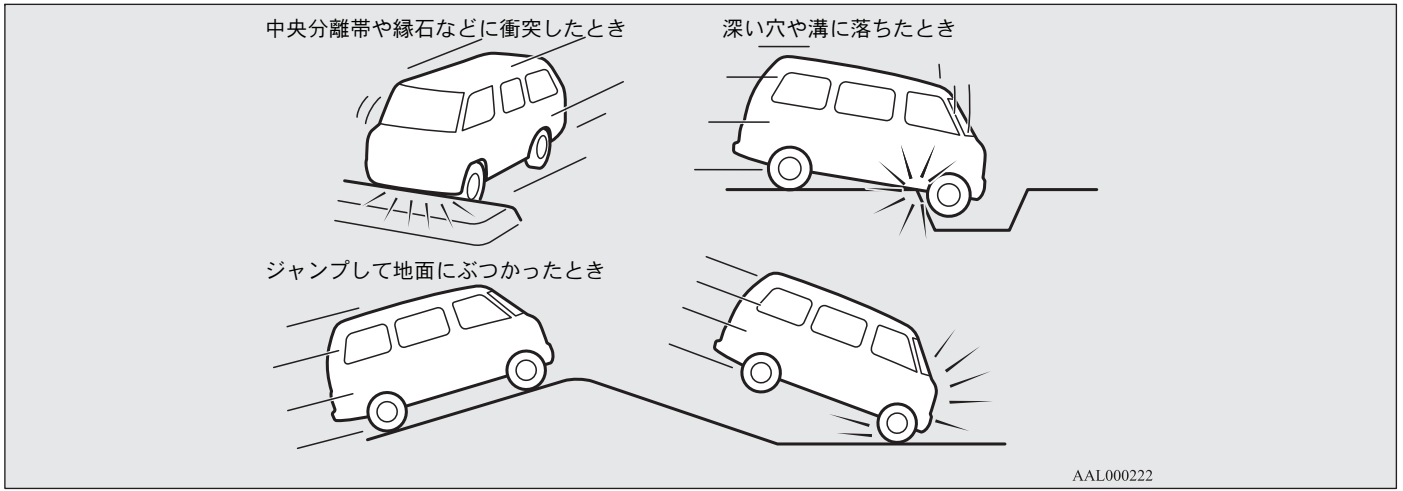
作動しないとき

SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動した SRS エアバッグは，2 回目以降の衝突では再作動しません。



作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



取り扱い上の注意

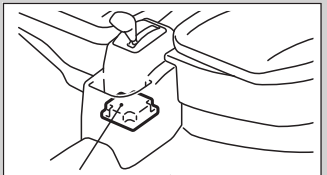
J00507401942

⚠警告

- ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理をする場合は，SRS エアバッグシステムに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，日産販売会社へご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わると SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。

⚠警告

- ステアリングパッドやインストルメントパネル上部など SRS エアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグコントロールユニットの取り扱いについてはつぎのことをお守りください。取り扱いを誤ると SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - SRS エアバッグコントロールユニットの取り外し，分解をしない。
  - SRS エアバッグコントロールユニットおよびその周辺に水をかけない。
  - SRS エアバッグコントロールユニットおよびその周辺に重い荷物を落としたり，強くけるなど，過度の力を加えない。



SRS エアバッグ
コントロールユニット AAZ005746

⚠注意

- 廃車するときは日産販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

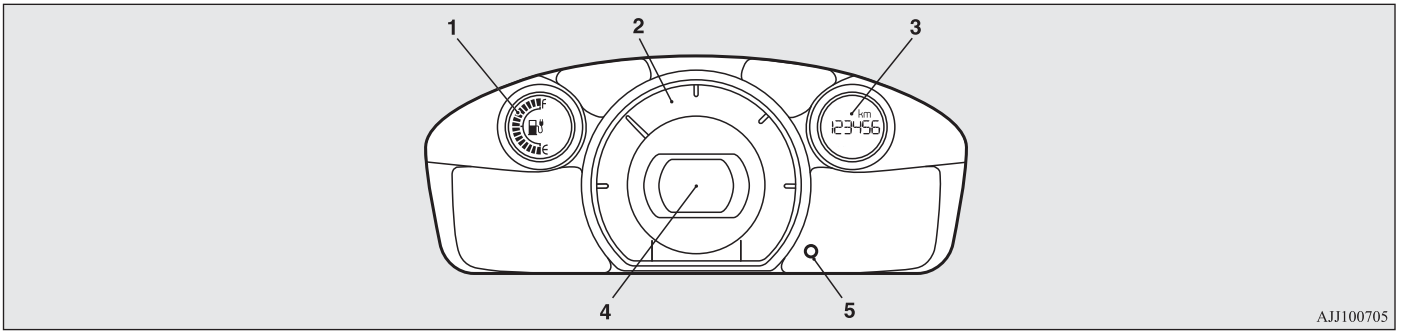
- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

計器盤・スイッチ

メーター 8-2
表示灯・警告灯 8-9
表示灯 8-10
警告灯 8-10
ライトスイッチ 8-13
ヘッドライトレベリングダイヤル 8-19
方向指示レバー 8-19
非常点滅灯スイッチ 8-20
ワイパー／ウォッシャースイッチ 8-20
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 8-22
ホーンスイッチ 8-23

メーター

J00600102241



8

1- 駆動用バッテリー残量計 →P.8-8
2- パワーメーター →P.8-2
3- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／メーター照度表示／サービスリマインダー／航続可能距離表示 →P.8-3
4- スピードメーター →P.8-2
5- リセットボタン／メーター照度調整ボタン／切り換えボタン →P.8-3

スピードメーター

J00600200150

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに，走行速度を示します。

パワーメーター

J00616901074

パワーユニット，エアコンの消費電力および回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。
READY（走行可能）表示灯を点灯させると指針が基準の位置に移動し，車両の使用状況に応じて指針が左右に振れます。

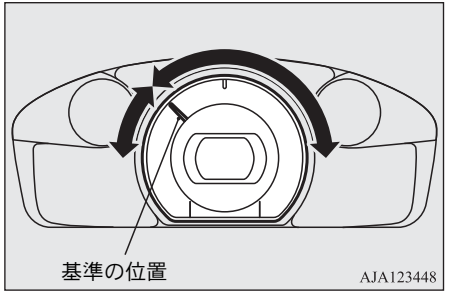
基準の位置より右に振れたとき

パワーユニットおよびエアコンの消費電力を示します。
右に振れる量が大きいほど，電力を多く消費しています。

基準の位置より左に振れたとき

回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。

左に振れる量が大きいほど，電気エネルギーを多く充電しています。
満充電に近いほど，パワーメーターの指針は基準の位置から左には振れなくなります。



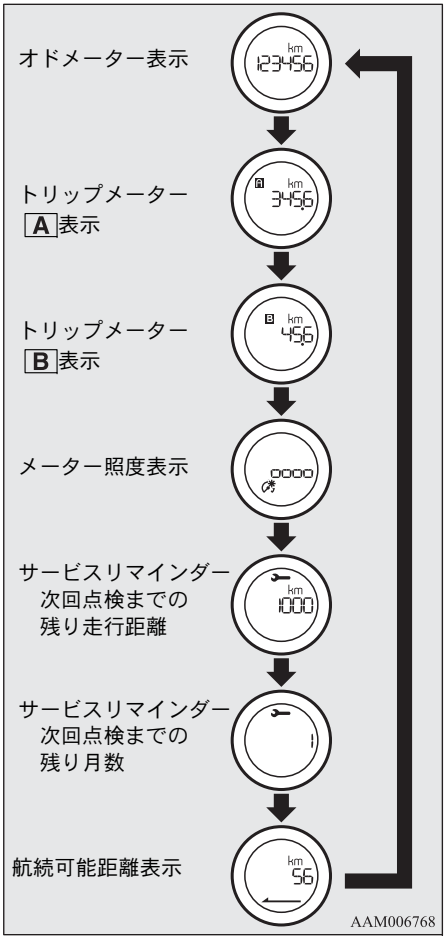
オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／メーター照度表示／サービスリマインダー／航続可能距離表示

J00600601601

オドメーター表示，トリップメーター表示，メーター照度表示，サービスリマインダー，または航続可能距離表示を表示します。

表示を切り換えるときは

切り換えボタンを軽く（約 1 秒未満）押すたびに表示が切り換わります。



アドバイス

- パワースイッチがLOCKまたはACCのとき，航続可能距離表示は表示されません。
- メーター照度表示またはサービスリマインダー表示のとき約10秒間何も操作しないとオドメーター表示に戻ります。

オドメーター

走行した総距離を km 単位で表示します。

8

トリップメーター

2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

＜トリップメーターA，トリップメーターBの使用例＞

トリップメーターAで自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメーター Bで途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

0 に戻すにはリセットボタンを約 1 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞

トリップメーターAが表示されていればトリップメーターAだけリセットされます。

アドバイス

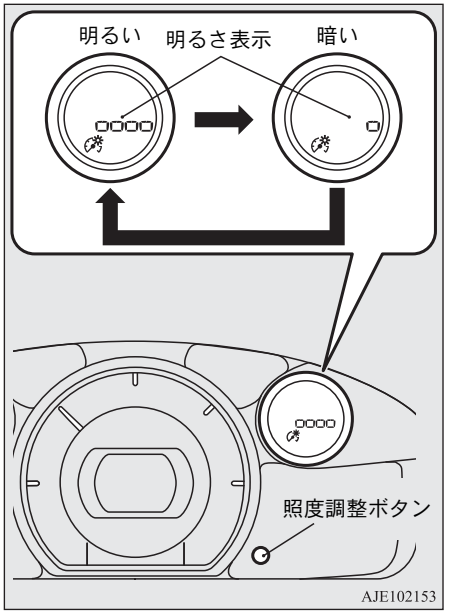
- トリップメーターはA, B共に9999.9kmまで計測することができます。
- パワースイッチをACCまたはLOCKにした後でもリセットボタンを押すと約30秒間オドメーターまたはトリップメーターを表示します。
- 補機用バッテリーの端子を外すと，トリップメーターのA表示，B表示とも記憶が消去され，表示が 0 に戻ります。

メーター照度表示

メーターの明るさを表示します。
明るさ表示の数が多いほどメーター照明が明るくなります。

メーターの明るさを変えるときは

ボタンを押し続けると明るさ表示がオートスクロールし，手を離すと止まります。お好みの明るさに調整してください。

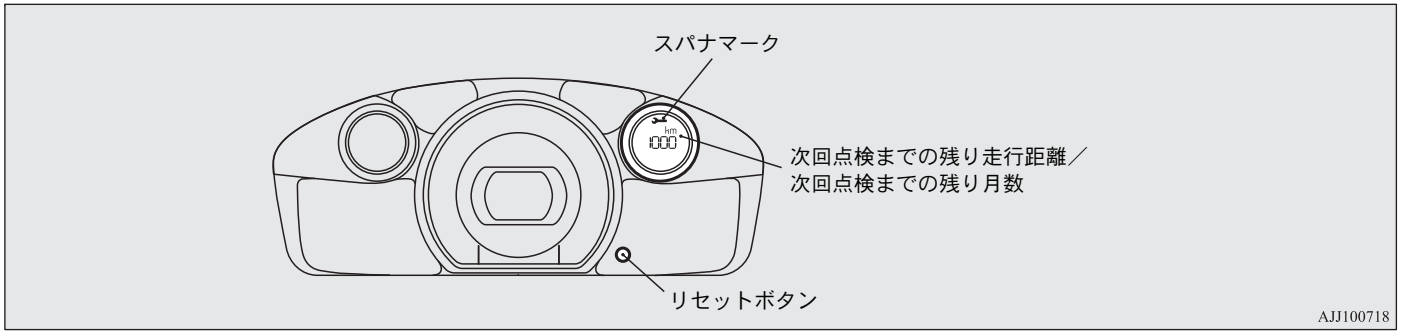


アドバイス

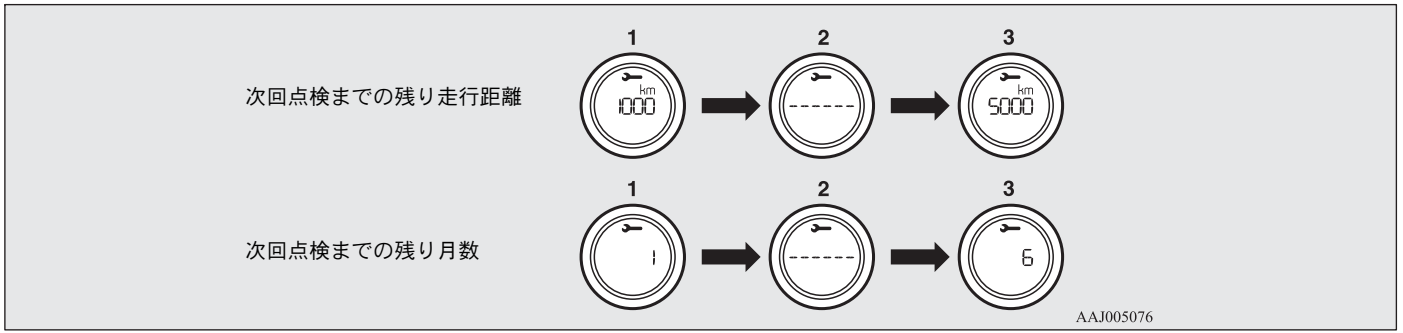
- 尾灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ調整することができます。
- ライトスイッチが≡Dまたは≡DD位置にあるときは，メーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。
- パワースイッチをACCまたはLOCKにした後でも，メーターの明るさの状態を記憶しています。

サービスリマインダー

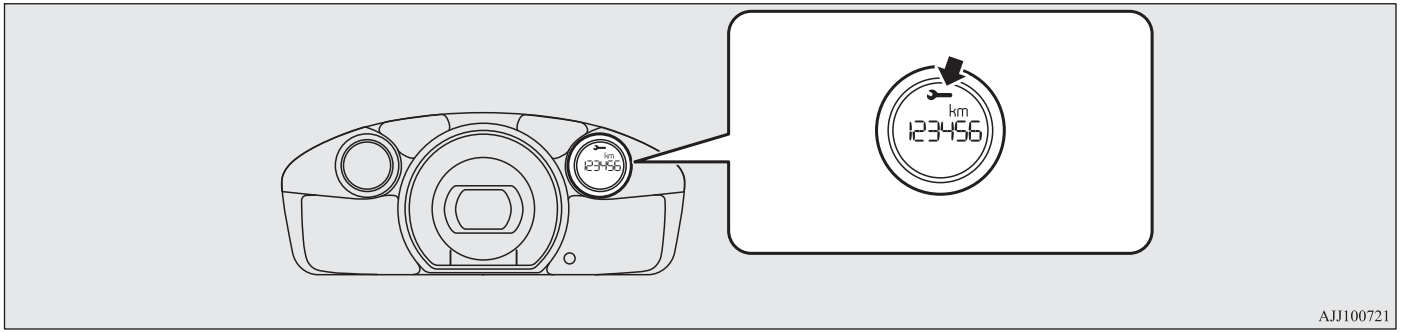
J00611401159



新車 1 ヶ月点検 (1.000km)，新車 6 ヶ月点検 (5.000km) とその後の 12 ヶ月ごとの定期点検までの残り走行距離または残り月数を表示します。
点検時期が近づいたときは，“------” を表示して知らせます。
また，このときパワースイッチを LOCK または ACC から ON にするとスパナマークが数秒間表示されます。



1. 次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを “------” を表示して知らせます。日産販売会社で点検を受けてください。
   このときパワースイッチを LOCK または ACC から ON にするとスパナマークが数秒間表示されます。



8

3. 日産販売会社で点検を受けると，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。

アドバイス

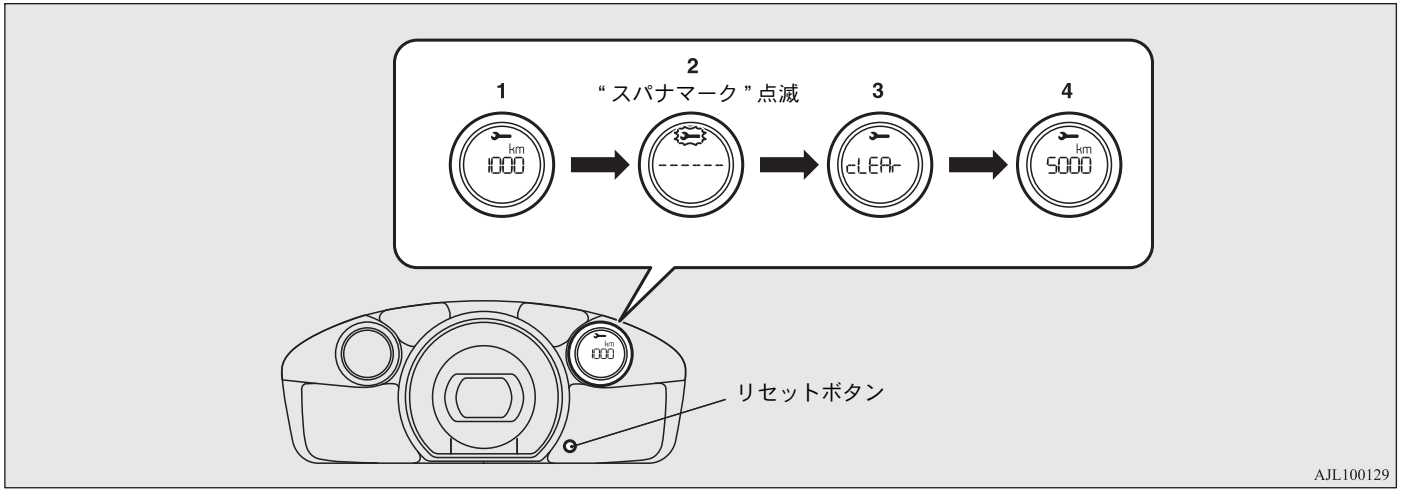
- 距離は 100km 単位，期間は 1ヶ月単位で減少します。
- 新車 6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。

リセットするときは

パワースイッチが LOCK または ACC のときに，スパナマーク，“------” 表示をリセットすることができます。
リセットすると次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示し，パワースイッチを LOCK または ACC から ON にしたときに表示されていたスパナマークは表示されなくなります。

1. リセットボタンを押して，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示させます。
2. リセットボタンを長く（約 2 秒以上）押して “ スパナマーク ” を点滅表示させます。
   （点滅中，約 10 秒間何も操作しないと元の表示画面に戻ります。）
3. 点滅中にリセットボタンを軽く押すと “------” が “cLEAr ” 表示にかわります。

4. その後，次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。



⚠注意

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “------” 表示はパワースイッチが ON のときはリセットできません。
- “------” 表示後，一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。

航続可能距離表示

J00618701089

おおよその航続可能距離（あと何 km 走行できるか）を表示します。航続可能距離が短くなると “---” を表示します。

アドバイス

- 航続可能距離表示は，残りの走行可能距離の目安を表示していますが，表示されている距離と実際の走行可能距離が異なる場合があります。表示値は，主につぎのような情報をもとに算出しています。
  - 現在の駆動用バッテリー残量
  - 直近の電力消費率
  - エアコンの作動状態

  航続可能距離表示は，走行のしかたにより変化します。
  直前の走行が，渋滞路，登坂，高速走行など電力を多く消費した場合や，走行時にエアコンが作動している場合は，駆動用バッテリーが満充電の状態でもメーターに表示される数値が減少する場合があります。
  また，補機用バッテリーの端子を外したときは，今までの駆動用バッテリーの消費電力データが消去されるので，それまでとは異なった値が表示されることがあります。表示はあくまでも参考としてご利用ください。
- 充電すると航続可能距離が更新されます。
  ただし，充電量が少ないと正しい数値が表示されません。

駆動用バッテリー残量計

J00617000033

充電中またはパワースイッチが ON のときに，駆動用バッテリーの残量を表示します。

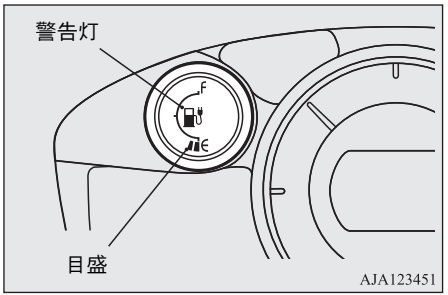
F- 満充電です。
E- 充電してください。

アドバイス

- 充電中は，充電ランプも同時に点灯します。
  →「充電ランプ」P.8-10

駆動用バッテリー残量警告灯

J00617101073



パワースイッチが ON のときに駆動用バッテリー残量計の目盛が 2 つ以下になると，つぎのように警告灯，目盛が点滅します。

目盛 2 つのとき：警告灯が点滅
目盛 1 つのとき：警告灯と目盛が交互に点滅

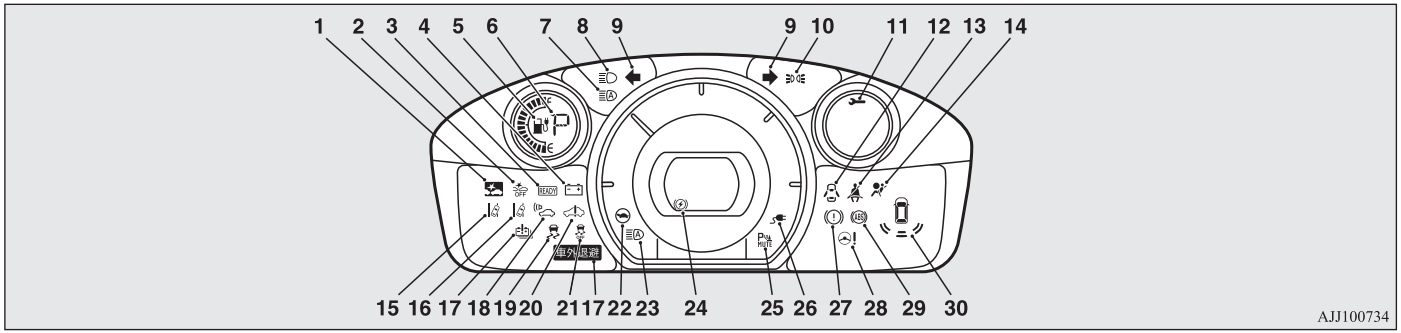
警告灯が点滅したら早めに充電してください。
→「充電のしかた」P. 5-4，5-14

アドバイス

- エアコン（冷房または暖房）使用中に目盛が 0 になると，エアコンが停止して，送風のみに切り換わります。
- 目盛が0になると，パワーダウン警告灯が点灯し，出力を制限します。
- 充電中は，目盛が2つのときは警告灯が点滅し，目盛が 1 つのときは警告灯と目盛が交互に点滅します。

表示灯・警告灯

J00601502792



1- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯 →P.9-20, 9-25, 9-28, 9-31
2- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト OFF 表示灯 →P.9-24, 9-31
3- READY (走行可能) 表示灯 →P.8-10
4- 補機用バッテリー充電警告灯 →P.8-11
5- 駆動用バッテリー残量警告灯 →P.8-8
6- セレクターレバー位置表示 →P.9-7
7- ハイビームアシスト表示灯（緑色）→P.8-16
8- ヘッドライト上向き表示灯 →P.8-10
9- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 →P.8-10
10- 車幅灯表示灯 →P.8-10
11- サービスリマインダー →P.8-5
12- 半ドア警告灯 →P.8-12
13- シートベルト警告灯 →P.7-10
14- SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 →P.7-11, 7-19
15- LDW（車線逸脱警報）警告灯（黄色）→P.9-34
16- LDW（車線逸脱警報）表示灯（緑色）→P.9-34
17- 駆動用バッテリー熱暴走警告灯 →P.8-13
18- 車両接近通報装置 [AVAS] 警告灯 →P.9-11
19- VDC (ビークルダイナミクスコントロール）作動表示灯 →P.9-18
20- パワーユニット警告灯 →P.8-12
21- VDC (ビークルダイナミクスコントロール）OFF 表示灯 →P.9-18
22- パワーダウン警告灯 →P.8-12
23- ハイビームアシスト警告灯（黄色）→P.8-18
24- 回生ブレーキ力警告灯 →P.8-11
25- パーキングセンサーブザー MUTE（消音）表示灯 →P.9-38
26- 充電ランプ →P.8-10
27- ブレーキ警告灯 →P.8-10

28- 電動パワーステアリング警告灯 →P.9-16
29- ABS 警告灯 →P.9-14
30- パーキングセンサー表示灯 P.9-37

表示灯

J00601600018

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601701511



方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 点滅が異常に速くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800010



ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100108



車幅灯，尾灯を点灯させると表示灯が点灯します。

READY（走行可能）表示灯

J00617201045



パワースイッチを START まで回し走行が可能な状態になると点灯します。

充電ランプ

J00617301088



普通充電ケーブルまたは急速充電ケーブルが接続されると点滅します。
その後，充電が開始されると点灯に切り換わり，充電が完了すると消灯します。

アドバイス

- 充電終了後，充電ケーブルが接続されているときにパワースイッチを ON にすると，充電ランプが点滅して充電ケーブルが接続されていることを知らせます。

アドバイス

- 急速充電が正常に終了しなかった場合，パワーユニットを起動することはできますが，充電ランプは点滅し続けます。
  →「充電トラブルシューティングガイド」P.5-18

警告灯

J00602500014

ブレーキ警告灯（ブレーキ警告ブザー）

J00602601054



パワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，つぎのようなときに点灯します。
走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ負圧発生システムに異常があるとき
- ブレーキ力配分機能に異常があるとき

ブレーキ警告ブザー

J00617701066

ブレーキの負圧が不足するとブザーが鳴り，ブレーキの効きが悪くなるおそれがあることを運転者に知らせます。

⚠警告

- つぎの場合はブレーキの効きが非常に悪くなるおそれがありますので，ただちに車を安全な場所に止めて日産販売会社へご連絡ください。
  - ブレーキ警告灯が点灯し，ブレーキ警告ブザーが鳴っている
  - パワースイッチを ON にした直後にブレーキ警告灯が点灯しない
  - 駐車ブレーキをかけているときパワースイッチがONの位置でもブレーキ警告灯が点灯しない
  - 駐車ブレーキを解除してもブレーキ警告灯が消灯しない

⚠注意

- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

⚠注意

- 万一，ブレーキが効かないときは，回生ブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
  このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

アドバイス

- ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと，ブレーキ警告灯が点灯し，ブレーキ警告ブザーが鳴ります。ブレーキ操作をやめて数秒後に警告灯が消灯し，ブザーが鳴り止めば異常ではありません。
- パワースイッチを ON にした直後やブレーキペダルを踏み込んだときに，パワーユニットルームからブレーキ負圧電動ポンプの作動音が聞こえることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

回生ブレーキ力警告灯

J00629201042



つぎのような状況で，回生ブレーキ力が通常より低下したときに点滅します。

- 駆動用バッテリーが満充電に近いとき，または満充電のとき
- 駆動用バッテリーの温度が高いとき，または低いとき

アドバイス

- 回生ブレーキ力警告灯の点滅は，車の故障を示すものではありません。

補機用バッテリー充電警告灯

J00617901055



補機用バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。
正常なときは パワースイッチを ON にすると点灯し，パワーユニットが起動すると消灯します。

⚠注意

- パワーユニットが作動しているときに点灯したときは，必ずつぎのことをお守りください。

⚠注意

- ただちに安全な場所に停車し，日産販売会社へご連絡ください。
- 補機用バッテリーに充電しないでください。

半ドア警告灯

J00603201679



いずれかのドア（含む，テールゲート）が完全に閉められていないときに点灯します。
半ドアのまま車速が約 8km/h 以上になると，警告灯が 16 回点滅すると同時にブザーが 16 回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

- 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

アドバイス

- 運転席ドアが開いていると，パワースイッチ切り忘れ警告ブザーまたはキー抜き忘れ警告ブザーが鳴るため，半ドアを知らせる警告ブザーは鳴りません。

パワーユニット警告灯

J00617401050



高電圧部位に異常があると点灯します。
→「点検・整備をするときは」P.3-2

⚠注意

- 走行中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，日産販売会社にご連絡ください。

パワーダウン警告灯

J00617801096



つぎのようなときに点灯し，安全装置が働いて出力を制限します。

- 駆動用バッテリー残量計の目盛が 0 のとき
- 駆動用バッテリーの残量が少ないときや，電圧が低下しているとき，モーター（パワーユニット）や駆動用バッテリーの温度が高いときまたは低いとき

パワーダウン警告灯が点灯したときは，つぎのように処置してください。

- 駆動用バッテリーの残量が少ないときは，早めに駆動用バッテリーを充電してください。
  →「充電」P.5-2
- 外気温が高いときや上り坂を連続で走行した後，または急速充電後の走行時などに警告灯が点灯したときは，モーター（パワーユニット）や駆動用バッテリーを冷却するために安全な場所に停車してください。
- 外気温が低いときに警告灯が点灯したときは，車を暖かい場所へ移動してください。

⚠注意

- 走行中にパワーダウン警告灯が点灯したときは，アクセルペダルを踏んでも車速が上がらなくなることや減速することがあります。また，減速によって他の車両よりも速度が落ち，衝突の危険が高まるおそれがあります。急加速や急発進を避け周囲の状況に十分注意して走行してください。

アドバイス

- パワーダウン警告灯の点灯は，車の故障を示すものではありません。
- エアコン（冷房または暖房）使用中にパワーダウン警告灯が点灯すると，エアコンが停止して送風のみに切り換わることがあります。

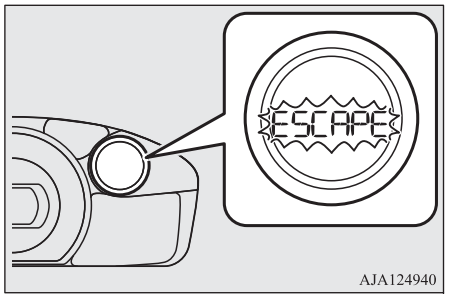
駆動用バッテリー熱暴走警告灯

J00629800038



車外退避

駆動用バッテリーに異常が発生し，熱暴走による乗員への危険を検知したときに点滅します。同時に，オドメーター表示部がつぎのように表示して点滅します。



⚠注意

- 走行中に点滅したときは，ただちに安全な場所に停車し，車外に退避してから，日産販売会社にご連絡ください。

ライトスイッチ

J00604002352

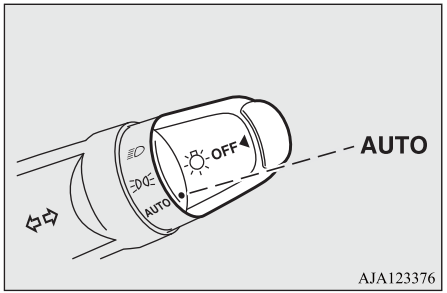
アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは日産販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトシステム）

J00616801305

パワースイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
パワースイッチを ACC または LOCK にすると自動的に消灯します。

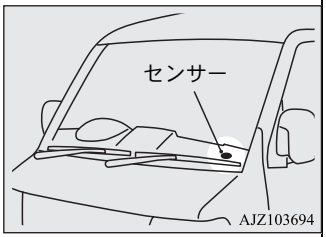


アドバイス

- トンネルの出口などで急に周囲が明るくなっても，しばらくはヘッドライトが点灯し続けます。

アドバイス

- 自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり，ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。



- AUTO の位置で点灯・消灯しないときは，手動スイッチを操作し，日産販売会社で点検を受けてください。

8

手動で使うときは

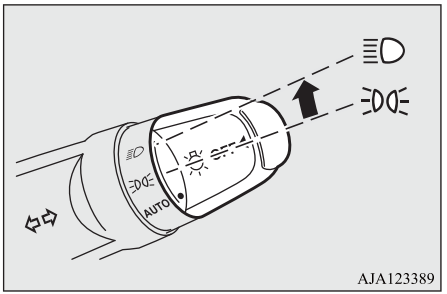
J00616701261

パワースイッチの位置に関係なく使用できます。

レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≣D	≡DD
ヘッドライト	○	—*1
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

*1：レバー先端のツマミが≡DDの位置でも，走行すると，車外の明るさに応じてヘッドライトが自動で点灯します。停車してレバー先端のツマミを≣Dまたは AUTO にしてから≡DDに戻すと，ヘッドライトは消灯します。



アドバイス

- 使用後はAUTOの位置に戻してください。

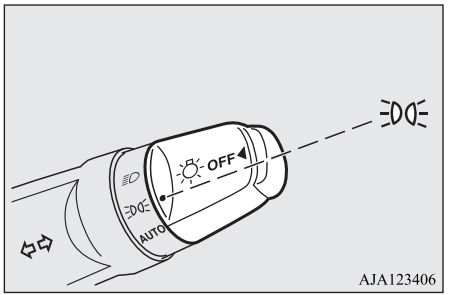
自動点灯時のライト消灯

J00626000042

夜間など暗い場所を走行しているときはヘッドライトを消灯させることができませんが，停車中は消灯させることができます。

ヘッドライトを消灯させるときは

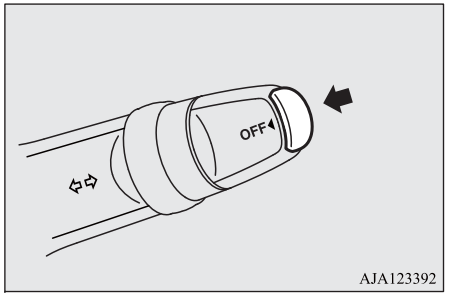
1. レバー先端のツマミを≡DDの位置にします。



2. ヘッドライトのみが消灯し，車幅灯，尾灯および番号灯が点灯した状態になります。

すべてのライトを消灯させるときは

1. 停車中にレバー先端の OFF スイッチを約 1 秒以上押し続けます。



2. すべてのライトが消灯します。

アドバイス

- 消灯中につぎの操作をすると，消灯状態が解除されます。
  - レバー先端の OFF スイッチを押す
  - 再度走行を開始する

ヘッドライト *1 オートカット機能（自動消灯）

J00606002170

*1 ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは≣DDの位置でも，パワースイッチを LOCK にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

- ライトスイッチが≣Dまたは≣DDの位置でも，パワースイッチを LOCK にし，運転席ドアを開かないまま約 3 分たつとランプ類が自動的に消灯します。

アドバイス

- ランプ類が自動的に消灯した後，レバー先端の OFF スイッチを押すと，ライトスイッチの位置に応じたランプ類を再び点灯させることができます。

降車後，照明として利用するときは

J00615601117

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを AUTO にし，パワースイッチを LOCK にします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≣DD位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- 運転席から降車するとき，キーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

ライト消し忘れブザー

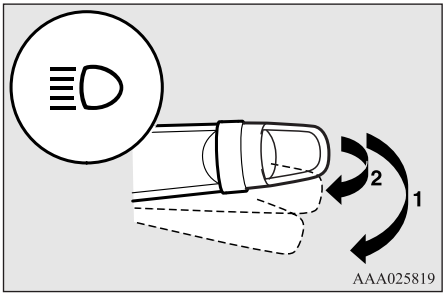
J00606101448

ライトスイッチが≣Dまたは≣DDの位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチを AUTO にする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606201667

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを (2) まで軽く引くと, 引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



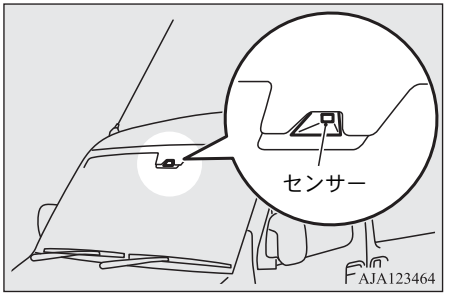
アドバイス

- ライトスイッチの位置に関係なく，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ハイビームアシスト

J00625000348

センサーにより先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して，ヘッドライトが上向き（ハイビーム）のときに下向き（ロービーム）への切り換えや上向き（ハイビーム）への復帰を自動的に行います。

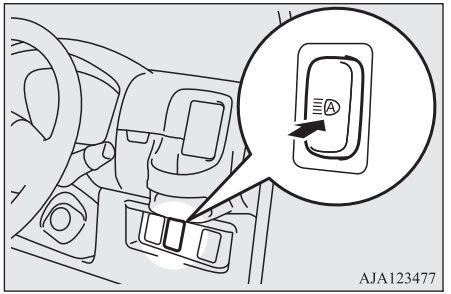


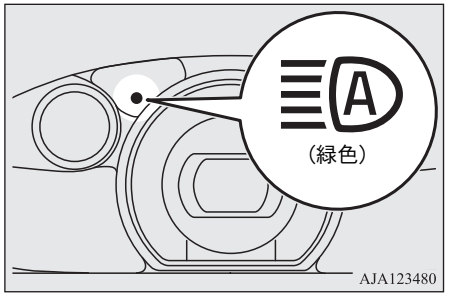
⚠警告

- 状況によっては，ハイビームとロービームが自動で切り換わらない場合があります。システムを過信せず，周囲の状況に応じて手動でハイビームとロービームを切り換えてください。
  →「ライトスイッチ：上下切り換え」P.8-16

使い方

1. パワースイッチが ON のとき，ヘッドライトを点灯させます。
2. ハイビームアシストスイッチを押します。
   ハイビームアシスト表示灯（緑色）が点灯し，システムが ON になります。
   もう一度スイッチを押すと，ハイビームアシスト表示灯が消灯しシステムが OFF になります。





アドバイス

- ライトスイッチを AUTO または の位置にしているときは，オートライトシステム機能によりヘッドライトが点灯しているときのみ，ハイビームアシストが作動します。
- ハイビームアシストが作動しているときでも，方向指示レバーを操作して手動でハイビームとロービームを切り換えることができます。
  →「ライトスイッチ：上下切り換え」P.8-16
  ライトスイッチを手動操作した場合，ハイビームアシスト表示灯が消灯し，システムは OFF になります。
  →「手動での上下切り換え方法」P.8-17
- ハイビームアシストが作動しているときは，方向指示レバーを軽く引く操作ではハイビームアシストは OFF になりません。

手動での上下切り換え方法

下向きに切り換える

1. 方向指示レバーを手前に引きます。
2. ハイビームアシスト表示灯が消灯します。
3. ハイビームアシストスイッチをもう一度押すと，ハイビームアシストが ON になります。

上向きに切り換える

1. 方向指示レバーを手前に引きます。
2. ハイビームアシスト表示灯が消灯し，ヘッドライト上向き表示灯が点灯します。
3. ハイビームアシストスイッチをもう一度押すと，ハイビームアシストが ON になります。

自動切り換えの条件

つぎの条件をすべて満たしたときに，ハイビームが点灯します。

- 自車の速度が約 30km/h 以上のとき
- 車両の前方が暗いとき
- 先行車または対向車がいない，またはランプを点灯していないとき

つぎの条件のいずれかのときは，ロービームが点灯します。

- 自車の速度が約 25km/h 以下のとき
- 車両の前方が明るいとき
- 先行車または対向車がランプを点灯しているとき

アドバイス

- つぎの状況では，ハイビームが自動でロービームに切り換わらない場合があります。
  - 連続するカーブや中央分離帯，標識，街路樹などで先行車または対向車が見え隠れするとき
  - 見通しの悪いカーブなど，突然対向車とすれ違ったとき
  - 他車が前方を横切ったとき
- 街路灯や信号，広告などの照明や標識，看板などの反射物により，ハイビームがロービームに切り換わる場合や，ロービームが継続する場合があります。
- つぎの原因により，ハイビームとロービームの切り換えのタイミングが変化する場合があります。
  - 先行車または対向車のランプの明るさ
  - 先行車または対向車の動きや向き
  - 先行車または対向車のランプが片側のみ点灯しているとき
  - 先行車または対向車が二輪車のとき
  - 道路の状況（勾配やカーブ，路面状況など）

アドバイス

- 乗車人数や荷物の量

- ハイビームアシストは車両前方のランプの明るさなどで周囲の状況を認識するため，ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切り換わる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- つぎの状況では，周囲の明るさが正確に検知されず，ハイビームが先行車や対向車の迷惑になる場合や，ロービームが継続する場合があります。このような場合は，手動でハイビームとロービームを切り換えてください。
  - 悪天候のとき（大雨，霧，雪，砂嵐など）
  - フロントガラスが汚れているときや，曇っているとき
  - フロントガラスにひび割れや破損があるとき
  - センサーが変形しているときや，汚れているとき
  - 周囲にヘッドライトや尾灯などに似た光があるとき
  - 先行車または対向車のランプが無灯火のときや，ランプに汚れや変色があったり光軸がずれているとき
  - 急激な明るさの変化が連続するとき
  - 起状や段差が多い道路を走行しているとき
  - カーブが多い道路を走行しているとき

アドバイス

- 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
- 先行車または対向車のランプが他の光と混在しているとき
- コンテナなど，先行車の後部が光を強く反射するとき
- 自車のヘッドライトが破損または汚れているとき
- パンクやけん引などにより車両が傾いているとき
- 警告灯が点灯しているとき →「システムに異常があるときは」P.8-19

- 使用環境を良い状態に保つために，つぎのことをお守りください。
  - フロントガラスは，いつもきれいにしておく
  - センサーに強い衝撃や力を加えない，また分解しない
  - センサー前のフロントガラスにシールなどを貼らない
  - フロントワイパーを交換する場合は，日産純正品を使用する

警告表示

J00625600113

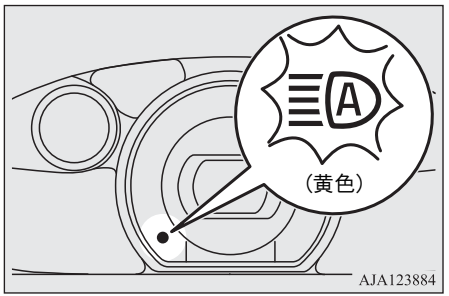
システムに異常があるときは，その状態によってハイビームアシスト警告灯（黄色）が点滅または点灯します。

■センサーの検知性能が低下したときは

つぎのような状況で，システムがセンサーの検知性能が低下したと判断したときは，システムは一時的に停止します。

- フロントガラスのセンサー部に汚れ，雨，雪，氷などが付着しているとき
- 悪天候（雨，雪，砂嵐など）のとき
- 前方車両や対向車が路上の水や雪，砂などを巻き上げて走行しているとき

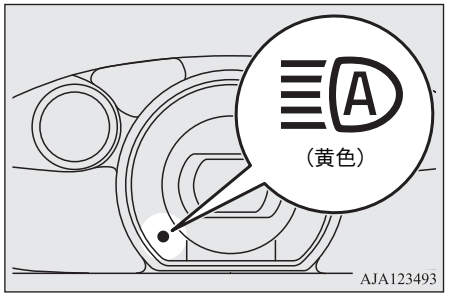
このとき，ハイビームアシスト警告灯（黄色）が点滅します。



システムが作動できる状態になると警告灯が消灯し，システムは自動的に再開します。警告灯が消灯しない場合はセンサーの異常の可能性がありますので，日産販売会社で点検を受けてください。

■ システムに異常があるときは

システムに異常があるときは，ハイビームアシスト警告灯（黄色）が点灯し，システムは自動的に停止します。

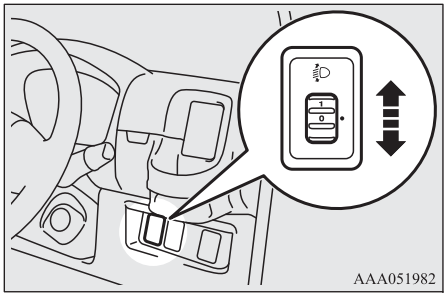


パワースイッチを LOCK にして再度 ON にしても再び表示される場合は，日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライトレベリングダイヤル

J00604102148

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。
ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
荷物をおろした後は，必ずダイヤルを “0” の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
  走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

乗員や荷室の積載状態		ダイヤル位置	
		2人乗り	4人乗り
	運転席乗車時	0	

乗員や荷室の積載状態		ダイヤル位置	
		2人乗り	4人乗り
	運転席乗車時＋荷室最大積載時（リヤシート折りたたみ）	2	3

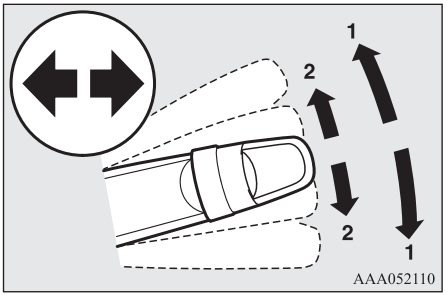
アドバイス

- 車検などで光軸調整をするときは，ダイヤルを “0” の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

方向指示レバー

J00604202253

パワースイッチが ON のときにレバーを (1) まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを (2) まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
また，レバーを (2) まで軽く操作し，すぐ離すと 3 回，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

8

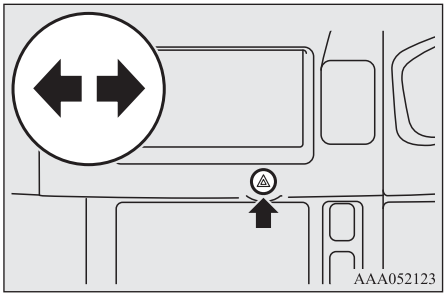
アドバイス

- 点滅が異常に速くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。

非常点滅灯スイッチ

J00604300742

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長時間使用すると補機用バッテリーが上がり，パワーユニットの起動ができなくなることがあります。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604802288

パワースイッチがONまたはACCのときに使用できます。

⚠注意

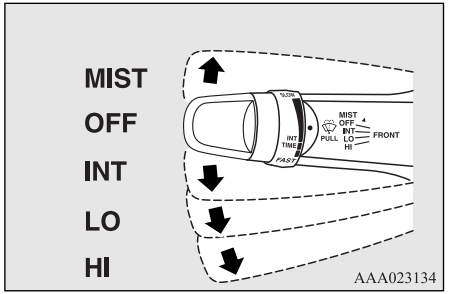
- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量を点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P.13-2
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- フロントワイパーを作動中，積雪などによりワイパーブレードが途中で止まったときは，モーターの過熱を防ぐためワイパーの作動が一時的に停止することがあります。
  このようなときは必ず車を安全な場所に止めてパワースイッチをLOCKにして積雪などを取り除いてください。
  モーターが冷えればワイパーは再び使用できるようになりますので，ワイパーが作動することを確認してからご使用ください。

フロントワイパースイッチ

J00615401593

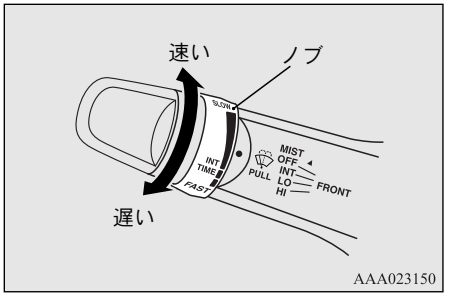


MIST 1 回作動（ワイパーミスト機能）
OFF 停止
INT 間けつ作動（車速感応）
車速に応じてワイパーが間けつ作動します。
車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO 低速作動
HI 高速作動

間けつ時間の調整のしかた

J00618201068

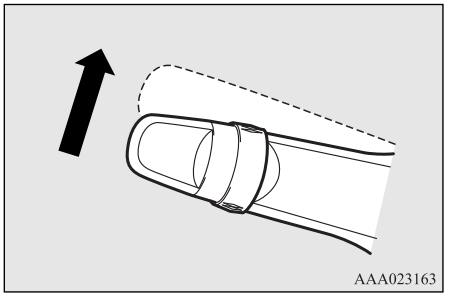
レバーが INT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。



ワイパーミスト機能

J00618300046

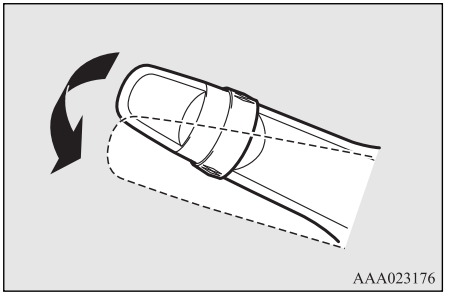
レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。



フロントウォッシャースイッチ

J00604901989

レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。



アドバイス

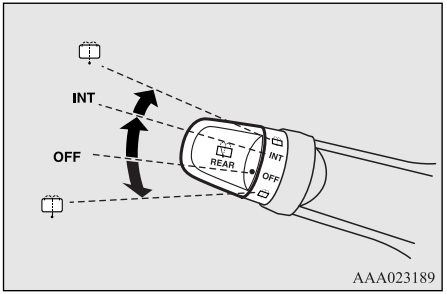
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でパワースイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

8

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

J00605002173

パワースイッチがONまたはACCのときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT　間けつ作動
数回作動し，その後約 8 秒おきに作動

OFF　停止

⛲　この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

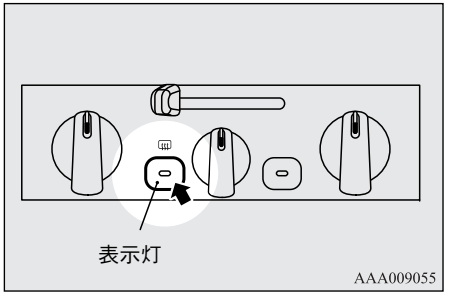
- 後方の視界を確保するため，INTの位置で間けつ作動中にセレクターレバーをⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミを⛲の位置に回した状態でパワースイッチをONまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605501924

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。

パワースイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。もう一度押すとスイッチが切れます。



アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに使用しないでください。補機用バッテリーが上がり，パワーユニットの起動ができなくなることがあります。

アドバイス

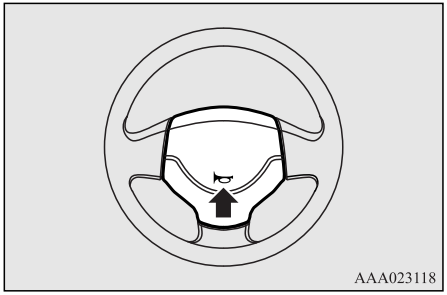
- この装置は補機用バッテリーの消費電力が大きいので曇りが取れたら停止させてください。
  長時間使うと補機用バッテリーの電圧が低下し，パワーユニットの起動ができなくなることがあります。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。
- つぎの状況でもリヤウインドウデフォッガーを使用することができます。
  - 充電中にエアコンを使用しているとき
  - プレ空調が作動しているとき（キーレスエントリー付き車）

  →「充電中のエアコンの使い方」P.11-10
  →「プレ空調」P.11-11
  →「植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は」P.3-14

ホーンスイッチ

J00605600511

ハンドルのマーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。



運転装置

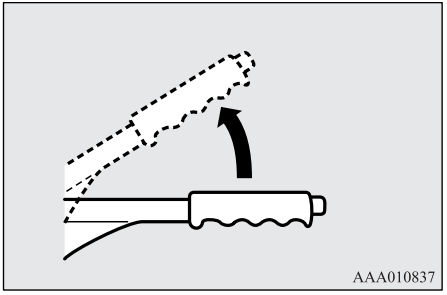
駐車ブレーキ 9-2
ルームミラー 9-2
ドアミラー 9-3
サイドアンダーミラー 9-3
リヤアンダーミラー 9-4
パワースイッチ 9-4
パワーユニット起動のしかた 9-5
セレクターレバー 9-6
運転のしかた 9-9
車両接近通報装置 [AVAS] 9-11
ヒルスタートアシスト 9-12
ブレーキアシスト 9-13
ABS（アンチロックブレーキシステム） 9-14
電動パワーステアリング 9-15
VDC（ビークルダイナミクスコントロール） 9-16
運転支援機能 9-18
インテリジェント エマージェンシーブレーキ 9-19
踏み間違い衝突防止アシスト（前進のみ） 9-28
LDW（車線逸脱警報） 9-32
パーキングセンサー（リヤ） 9-36

駐車ブレーキ

J00700102255

かけるときは

ブレーキペダルを踏み込んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。



⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。

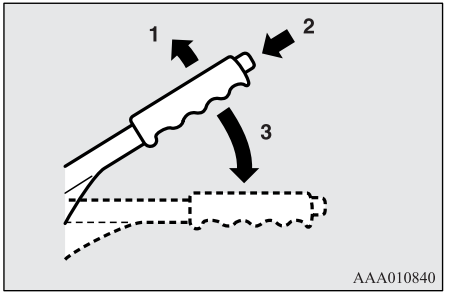
⚠注意

- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏み込んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

ルームミラー

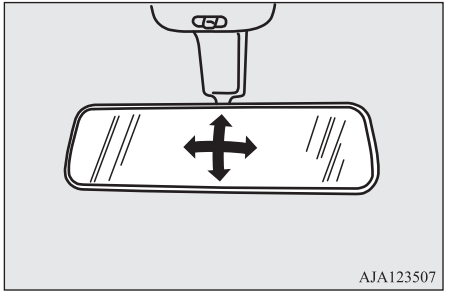
J00700301814

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
  走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



ドアミラー

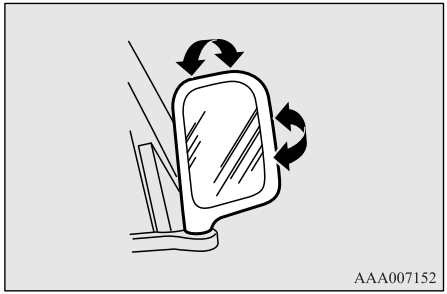
J00700500604

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

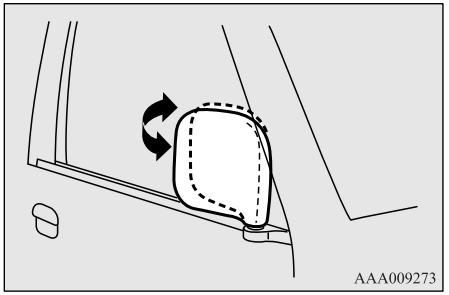
ミラーの角度調整

ミラー全体を動かして角度を調整します。



ドアミラーの格納・復帰

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときは車両前方へ起こします。



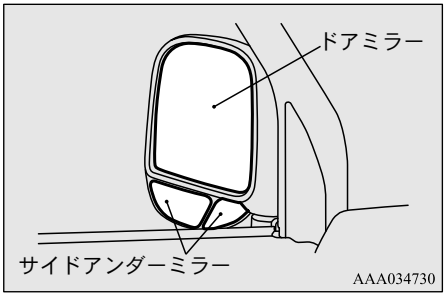
⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

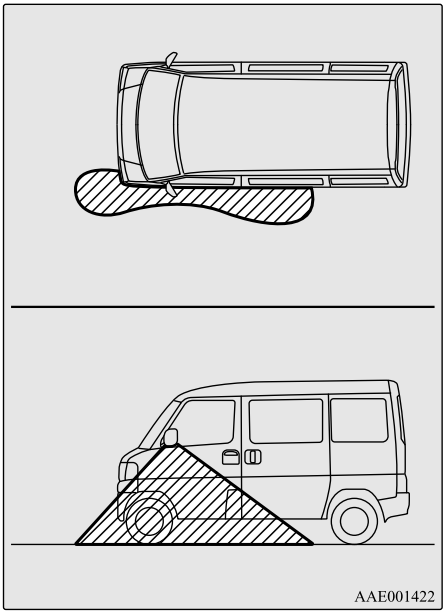
サイドアンダーミラー

J00700600100

発進時またはごく低速時に助手席側の車両側面を確認するときに使用します。



ミラーに映るおよその範囲



⚠注意

- 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。

⚠注意

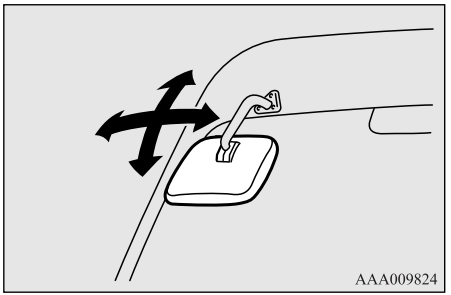
- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどで一旦停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。

リヤアンダーミラー

タイプ別装備

J00700700039

ミラー本体を上下左右に動かして，後方の死角が十分確認できる位置に調整します。

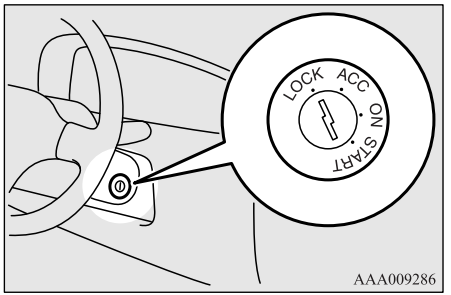


アドバイス

- 車をバックするときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況を確認してから車を動かしてください。

パワースイッチ

J00719000041



各位置の働き

J00719101052

LOCK	ハンドルがロックされる位置 キーが抜き差しできます

ACC	READY（走行可能）表示灯が消灯しているときでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON	パワーユニット作動中の位置 すべての電気系統が働きます
START	パワーユニットを起動する位置 手を離すと自動的に ON の位置へ戻ります

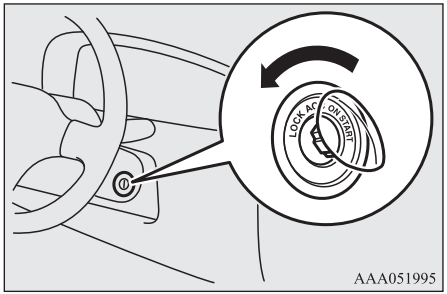
アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときはパワースイッチを LOCK にしてください。パワースイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，補機用バッテリーが上がり，パワーユニットの起動ができなくなるおそれがあります。
- パワースイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらパワースイッチを回してください。

キーを抜くときは

J00719201053

セレクターレバーを確実にⓅに入れてから，パワースイッチを LOCK まで回してキーを抜きます。
→「セレクターレバーの動かし方」P.9-6



アドバイス

- セレクターレバーを確実にⓅに入れていないと，パワースイッチを LOCK まで回せないため，キーを抜くことはできません。

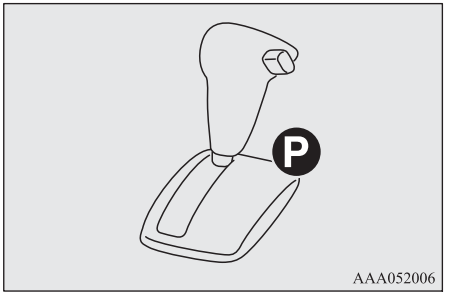
パワーユニット起動のしかた

J00719301113

⚠注意

- 窓越しなど車外からパワーユニットを起動しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- READY（走行可能）表示灯が点灯中にパワーユニット警告灯が点灯したときは，高速走行を避けてただちに日産販売会社で点検を受けてください。
→「パワーユニット警告灯」P.8-12

1. 正しい運転姿勢がとれるように，シートを調整します。
→「シート調整」P.7-2
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



アドバイス

- セレクターレバーがPの位置以外ではパワーユニットを起動することはできません。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，パワースイッチをいっぱいまで回し，START 位置で 1~2 秒間保持した後，ON の位置までゆっくり戻します。
起動音と共に READY（走行可能）表示灯が点灯すればパワーユニットの起動は完了です。

9

⚠警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は，パワースイッチをいったんLOCKまで戻し，しばらくしてから START に回してパワーユニットを起動してください。
- パワーユニットを起動したまま運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーまたはキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴ります。
→「パワースイッチ切り忘れ警告ブザー」P.6-5
→「キー抜き忘れ警告ブザー」P.6-5

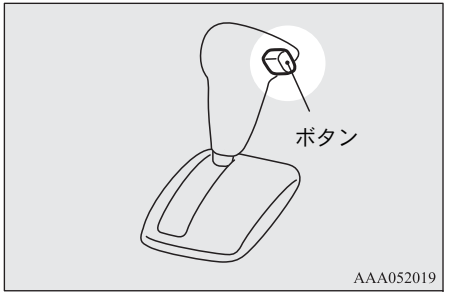
セレクターレバー

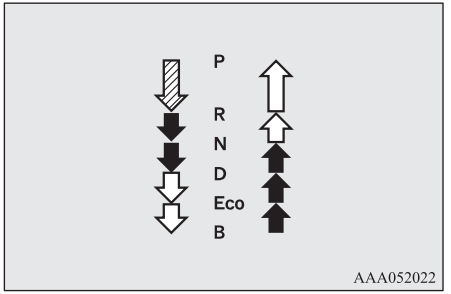
J00730900027

「安全なドライブのために：走行するときは」も合わせてお読みください。→P.3-8

セレクターレバーの動かし方

J00731000038





⇩ ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。

↓ ボタンを押さずに操作します。

⇩ ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- ⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ, Ⓡ, Ⓑに入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをⓃ→Ⓓまたは Ⓝ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため，各位置ごとに一旦止めて確実に行ってください。操作後は必ず表示灯でポジションを確認してください。
- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，パワースイッチが LOCK 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。

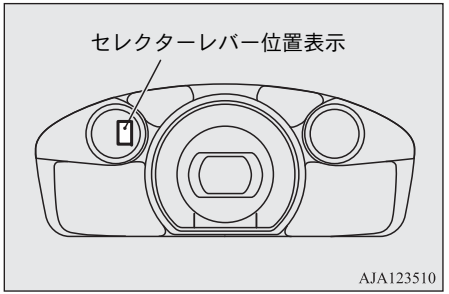
アドバイス

- ⒹからⓇ, ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れると車両の故障の原因になります。

セレクターレバー位置表示

J00731100068

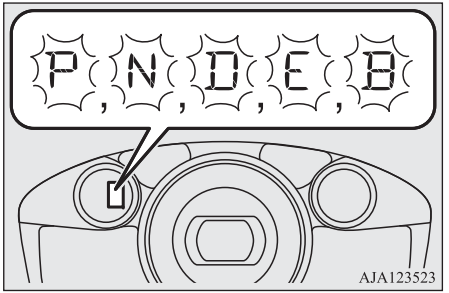
セレクターレバーの位置をメーター内に表示します。



セレクターレバー位置表示が点滅したときは

J00731200072

セレクターレバー位置表示が点滅したときは，トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。ただちに安全な場所に停車し，日産販売会社へご連絡ください。



アドバイス

- セレクターレバー位置がⓇのとき，セレクターレバー位置表示は点滅しません。

9

セレクターレバーの位置・働き

J00731300031

P	（パーキング） 駐車およびパワーユニットを起動するとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅに入れてください。 Ⓟでのみパワースイッチを LOCK まで回すことができます。
R	（リバース） 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が発生しません。 また，車輪も固定されません。
D	（ドライブ） 通常走行	通常走行するときに使います。
Eco	（エコ） 経済的な走行およびゆるやかな下り坂走行	電力の消費を抑えた走行をしたいときおよび軽い回生ブレーキが必要なときに使います。
B	（回生ブレーキ） 急な下り坂走行	回生ブレーキが必要なときに使います。 →「回生ブレーキ」P.2-2 →「下り坂走行」P.9-10

⚠警告

●ぬれた道路や凍結した道路では急激な回生ブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

運転のしかた

J00719900011

発進

J00720000025

1. READY（走行可能）表示灯が点灯していることを確認します。
2. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

●ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。
左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。


AAZ002224

⚠注意

●セレクターレバーを(P), (N)以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。

クリープ現象とは...

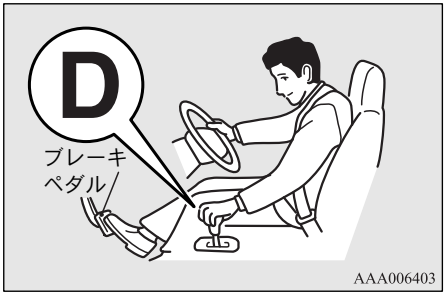
●セレクターレバーを(P), (N)以外に入れると，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出す現象。

3. セレクターレバーを前進は(D)または Eco，後退は(R)に入れます。

⚠警告

●セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

4. セレクターレバーの位置を確認します。



AAA006403

5. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
6. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認し，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

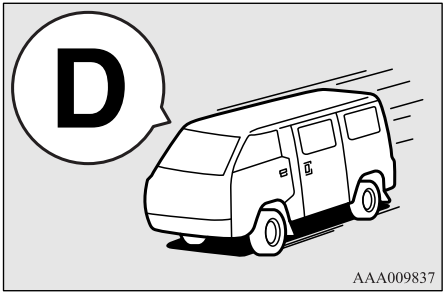
J00720101081

⚠警告

- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。Ⓝで走行したり，誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまった場合，思わぬ事故につながるおそれや車両の故障の原因になります。また，回生ブレーキが効かなくなります。

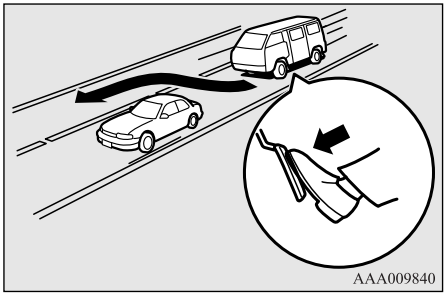
通常走行

セレクターレバーをⒹまたはEcoで走行します。
アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速，減速を行います。



急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。



上り坂走行

アクセルペダルをゆっくり踏み込み，スピードを調節します。

下り坂走行

J00730700041

長い下り坂や急な下り坂など回生ブレーキを必要とする場合は，坂道の程度やスピードに応じてセレクターレバーをEcoまたはⒷに入れます。

⚠注意

- 長い下り坂では，回生ブレーキを併用してください。
  ブレーキペダルを踏んで減速を頻繁に繰り返すと，フットブレーキが過熱して効きが悪くなることがあります。
- 満充電に近いときや満充電時
  回生ブレーキは，駆動用バッテリーが満充電に近いほど効きが弱くなり，満充電時には効かなくなります。また，同時に回生ブレーキ力警告灯が点滅します。
  →「回生ブレーキ力警告灯」P.8-11
  この場合もフットブレーキは効きますのでブレーキペダルを踏んで減速してください。
  また，頻繁な減速でフットブレーキが過熱することがないように，あらかじめスピードを控えて走行してください。スピードが出すぎるときは，必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
  充電量が減ってくると，回生ブレーキは効くようになります。
  なお，満充電に近いほど，パワーメーターの指針は基準の位置から左には振れなくなります。
  →「パワーメーター」P.8-2

停車

J00720200027

1. セレクターレバーはⒹまたはEcoのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 坂道ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。車両の故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。
4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹまたはEco位置にあることを確認してから駐車ブレーキを解除して発進してください。

駐車

J00720300028

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，車両の故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，駐車ブレーキをかける前にセレクターレバーをⓅに入れると，発進時のセレクターレバー操作が重くなることがあります。

4. パワースイッチを LOCK にします。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずパワースイッチを LOCK まで回し，READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
  READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

車両接近通報装置 [AVAS]

J00722501135

AVAS：Acoustic Vehicle Alerting System

車両接近通報装置 [AVAS] は，通報音で歩行者などに車両の接近などを知らせる装置です。
READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき，つぎの場合に通報音が鳴ります。

- 発進後，車速が約 35km/h 以下のとき（前進時）
- セレクターレバーがⓇの位置にあるとき

つぎの場合は通報音は鳴りません。

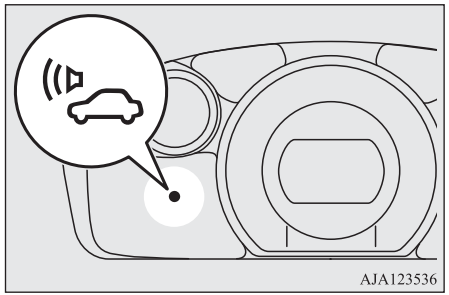
- セレクターレバーがⓇの位置以外で，ブレーキペダルを踏んで停車しているとき
- セレクターレバーをⓅに入れたとき
- メーター内の AVAS 警告灯が点灯しているとき

⚠警告

- AVAS が鳴っていても，歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気付かずに，事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

AVAS 警告灯

装置に異常があると点灯します。
パワースイッチを ON にすると，メーター内の AVAS 警告灯が点灯し，数秒後に消灯します。



⚠注意

- 走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
  警告灯が点灯しているときは，パワースイッチを LOCK にし，再度パワースイッチを ON にします。警告灯が消灯すれば異常ありません。再度警告灯が点灯するときは，装置の故障が考えられますので，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

ヒルスタートアシスト

J00721801245

ヒルスタートアシストは，急な上り坂で発進するときに起こる車両の後退を防止し，発進を容易にする装置です。ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えるとき，ブレーキをかけた状態を約 2 秒間保持します。

⚠注意

- ヒルスタートアシストを過信しないでください。
  極端に急な上り坂，凍結した上り坂，ぬかるんだ上り坂など路面の状態によっては車両を保持することができない場合があります。
  また，停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分であったり，乗員の人数，荷物の重さなどによってヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- ヒルスタートアシストは，2 秒以上車両の後退を防止することはできません。
- 上り坂でブレーキペダルを踏み込まずに，ヒルスタートアシストを使って停止状態を保つことはしないでください。
  思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- ヒルスタートアシストが作動中に，パワースイッチを LOCK または ACC にしないでください。
  ヒルスタートアシストが作動を停止し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

使い方

J00721901321

1. ブレーキペダルを踏んで車両を完全に停止させます。
2. ブレーキペダルから足を離します。
   ヒルスタートアシストがブレーキ力を保持し，車両の後退を約 2 秒間防止します。
3. アクセルペダルを踏み込みます。
   ヒルスタートアシストは，車両の発進に合わせて，徐々にブレーキ力をゆるめます。

アドバイス

- ヒルスタートアシストは，つぎの条件がそろったときに作動します。
  - パワーユニットが起動している。
  - セレクターレバーが Ⓟ または Ⓝ 以外に入っている。
  - ブレーキペダルを踏んで，車両が完全に停止している。
  - 駐車ブレーキを解除している。

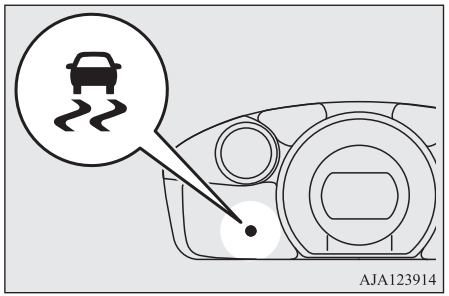
アドバイス

- ヒルスタートアシストは，ブレーキペダルから足を離す前にアクセルペダルを踏み込むと作動しません。
- ヒルスタートアシストは，坂道を後ろ向きに登るときにも作動します。
- ヒルスタートアシスト作動中に車体下から作動音がすることがあります。これはヒルスタートアシストが正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

警告表示

J00722001358

システムに異常があると表示灯が点灯します。



このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，パワーユニットを停止します。
2. 再度パワーユニットを起動し，表示灯が消えるか確認します。

表示灯が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび点灯するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 警告が表示されるとヒルスタートアシスト が作動を停止します。慎重に発進してください。

ブレーキアシスト

J00722201217

ブレーキアシストは，緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し，より大きな制動力を確保する装置です。ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くかかるようになります。

⚠注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- 一旦ブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。
  ブレーキアシストの作動を停止させたいときは，ブレーキから完全に足を離してください。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり，車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- VDC 作動表示灯と VDC OFF 表示灯が同時に点灯しているときは，ブレーキアシストは作動しない場合があります。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

J00703001838

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差の少ないタイヤを使用してください。指定サイズ，種類や銘柄が異なったり，摩耗度合いがいちじるしく異なるタイヤを使用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

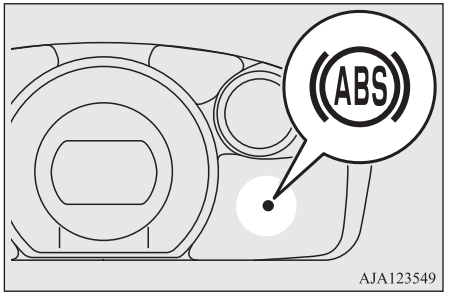
アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABS が作動することがあります。
- ABS が作動すると車体, ハンドル, ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，シートの下より作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABS は, 発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS 警告灯

J00704502042

正常なときは，パワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。



⚠注意

- パワースイッチを ON にしても点灯しない，または点灯したままのときは装置の故障が考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704601857

ABS 警告灯のみ点灯したときは

急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
セレクターレバーをⓅに入れてパワースイッチを LOCK にした後 START まで回し，パワーユニットを起動します。その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
しばらく走行しても点灯したままのときは日産販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

- ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に止めて日産販売会社へ連絡してください。
- 補機用バッテリーが電圧不足のときにパワーユニットを起動すると，警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。
  駆動用バッテリーを充電すると補機用バッテリーも同時に充電され，警告灯は消灯します。
  充電しても点灯したままのときや，たびたび点灯するときは日産販売会社で点検を受けてください。

電動パワーステアリング

J00703101507

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときにパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もしパワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。
この場合は日産販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

- 走行中は パワースイッチを ACC にしないでください。パワースイッチを ACC にすると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

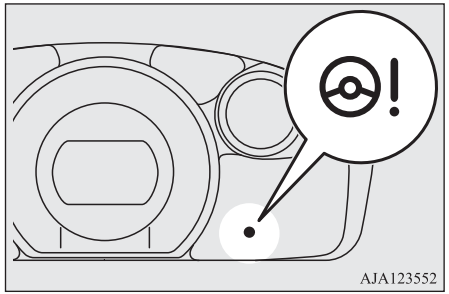
アドバイス

- 駐車するときなどに，ハンドルをいっぱいに回す操作を繰り返すと，システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合，しばらくハンドル操作を控えてください。
  システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
- ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき，ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

電動パワーステアリング警告灯

J00704701496

システムに異常があると点灯します。
正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し，パワーユニットが起動すると消灯します。



⚠注意

- パワーユニット起動中に警告灯が点灯したときは，ハンドルが重くなることがありますので，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

J00710301527

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）はトラクションコントロール機能とスタビリティコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。
つぎの項も合わせてお読みください。
→「ABS（アンチロックブレーキシステム）」P.9-14
→「トラクションコントロール機能」P.9-16
→「スタビリティコントロール機能」P.9-17

⚠注意

- VDC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。VDC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差の少ないタイヤを使用してください。指定サイズ，種類や銘柄が異なったり，摩耗度合いがいちじるしく異なるタイヤを使用すると，VDC が正常に働かなくなるおそれがあります。

⚠注意

- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。VDC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，シートの下から作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは VDC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - パワースイッチを ON にしたとき
  - パワーユニットを起動してしばらく走行したとき
- VDC が作動すると，車体に振動を感じたり，シートの下から作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，VDC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400198

トラクションコントロールは，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切

な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710501213

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとパワーユニットの出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

- スタビリティコントロール機能は，車速が約 15km/h 以上で作動します。

VDC の ON/OFF 作動切り換え

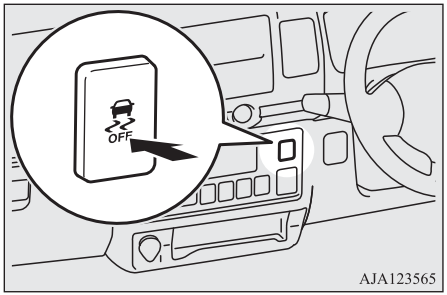
J00710801867

アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもVDCの働きによりパワーユニットの回転が上がらないことがあります。このようなときは，VDC OFF スイッチで VDC を OFF にすると駆動輪が回転しやすくなり，脱出に効果的な場合があります。

パワーユニットを起動すると自動的に VDC は ON になります。
VDC を OFF にしたいときは VDC OFF スイッチを 3 秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると3秒後に，OFF表示灯が点灯します。もう一度押すと ON になります。



⚠注意

- 安全のため, VDC OFF スイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ず VDC を ON にしてください。
- ぬかるみなどからの脱出時にVDCをOFFにした場合, 脱出後はすみやかに VDC を ON にし, 必要なとき以外は VDC を OFF にしないでください。
- VDC を OFF にした状態で, アクセルペダルを過度に踏み込んでタイヤを空転させ続けると，トランスミッションやその他の部品を損傷し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

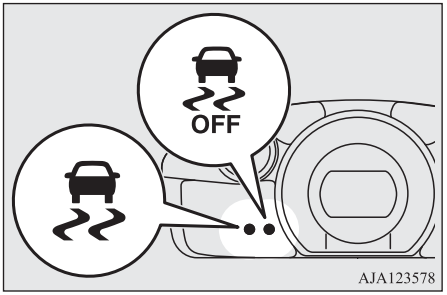
- VDC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方が OFF になります。
- VDC を OFF にした後も VDC OFF スイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いて VDC は ON に戻ります。
- VDC が OFF のとき, つぎの機能も作動しなくなり, OFF表示灯が点灯します。
  - インテリジェント エマージェンシーブレーキ
  - 踏み間違い衝突防止アシスト（前進のみ）

9

VDC作動表示／VDC OFF表示

J00711601439

正常なときは，パワースイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。



- VDC 作動表示灯
  VDC が作動すると点滅します。
- VDC OFF 表示灯
  VDC OFF スイッチで VDC を OFF にすると点灯します。

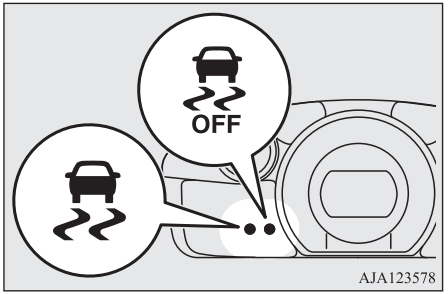
⚠注意

- 表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。
  アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。

VDC 警告表示

J00715701353

システムに異常があると表示灯と表示灯が同時に点灯します。



このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，セレクターレバーをⓅに入れます。
2. パワースイッチを LOCK にします。
3. 再度パワーユニットを起動し，表示灯および表示灯が消灯するか確認します。

表示灯が消灯すれば異常ありません。消灯しないときや，たびたび点灯するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

けん引するときは

J00716101123

⚠注意

- パワーユニットを起動して後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，VDC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。
  詳しくは「けん引」をお読みください。→P.15-30

運転支援機能

J00736800187

運転支援機能とは，各種センサーによって事故の危険を検知して運転者に知らせるとともに，できる限り事故被害を回避・軽減できるよう支援する安全技術です。

運転支援機能にはつぎの機能があります。

- インテリジェント　エマージェンシーブレーキ →P.9-19
- 踏み間違い衝突防止アシスト（前進のみ）→P.9-28
- LDW（車線逸脱警報）→P.9-32
- ハイビームアシスト →P.8-16

⚠警告

- 運転支援機能の各機能は，運転者の安全運転を前提としたシステムであり，運転操作の負担や衝突被害を軽減することを目的としています。システムの検知性能・制御性能には限界があるため，これらのシステムに頼った運転はせず，常に安全運転を心がけてください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

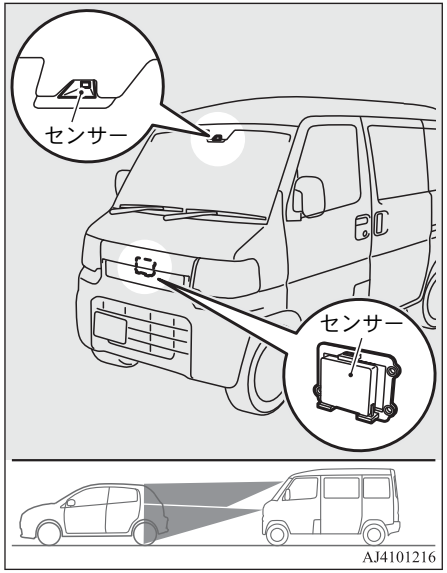
J00724601169

インテリジェント エマージェンシーブレーキは，自車が走行する車線上の前方車両や歩行者との相対速度，相対距離をセンサーで測定し，衝突する危険性があると判断したときに，つぎの機能を作動させ，衝突被害を軽減または衝突を回避します。

- 前方衝突警報機能
- 前方衝突被害軽減プレフィル機能
- 前方衝突被害軽減ブレーキアシスト機能
- 前方衝突被害軽減ブレーキ機能

インテリジェント エマージェンシーブレーキによるブレーキが作動しているときは，制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキの ON/OFF は，踏み間違い衝突防止アシストと連動して切り換わります。



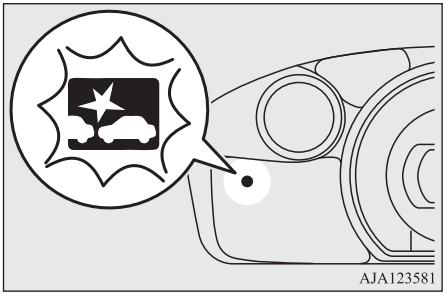
⚠警告

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。
  インテリジェント エマージェンシーブレーキは，可能な範囲で衝突被害を軽減または衝突を回避するシステムであり，脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意を許容したり，雨・霧などの視界不良を補助したりするものではありません。周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなど，常に安全運転に心がけてください。
- インテリジェント　エマージェンシーブレーキは，可能な範囲で衝突を回避できるよう作動しますが，走行状態，道路環境，ハンドル，アクセル，ブレーキなどの操作など，様々な条件によってその効果は変化し，常に同じ性能が発揮できるわけではありません。
  衝突の危険があるときは，システムの作動の有無に関わらず，ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。
- システムの作動確認をお客様自身が行わないでください。状況によっては，システムが作動しなかったり車両が止まりきれず重大な事故につながるおそれがあります。

前方衝突警報機能

J00725001115

自車線前方の車両または歩行者に衝突する危険性があると判断したときに，表示灯と音で注意喚起します。
警報時は，ブザー音とともに，メーター内の作動表示灯が点滅します。



前方衝突警報機能は，車速がつぎのときに作動します。

- 車両に対して：約 10km/h 以上
- 歩行者に対して：約 10 ~ 80km/h

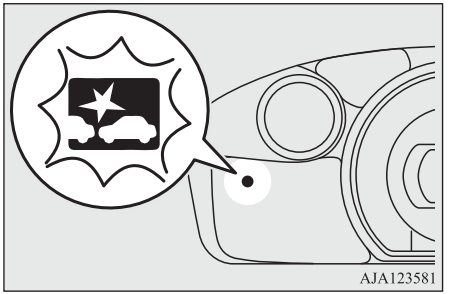
⚠注意

- 状況によっては，警報が鳴らなかったり，聞こえない場合があります。システムを過信せず，衝突の危険があるときは，システムの作動の有無に関わらず，ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。

前方衝突被害軽減プレフィル機能

J00725101073

自車線前方の車両または歩行者に衝突する危険性があると判断したときに，ブレーキに予圧を与え，ブレーキ操作時の応答性を向上させます。
プレフィル機能作動時は，ブザー音とともに，メーター内の作動表示灯が点滅します。



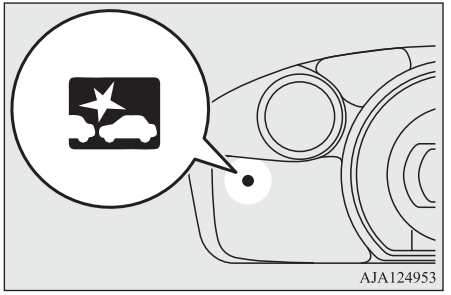
前方衝突被害軽減プレフィル機能は，車速がつぎのときに作動します。

- 車両に対して：約 10km/h 以上
- 歩行者に対して：約 10 ~ 80km/h

前方衝突被害軽減ブレーキアシスト機能

J00725201087

自車線前方の車両または歩行者に衝突する危険性があると判断したとき，運転者が十分にブレーキを踏み込めなかった場合に必要なブレーキ力を補助する機能です。
ブレーキアシスト機能作動時は，ブザー音とともに，メーター内の作動表示灯が点灯します。



前方衝突被害軽減ブレーキアシスト機能は，車速がつぎのときに作動します。

- 車両に対して：約 10km/h 以上
- 歩行者に対して：約 10 ~ 80km/h

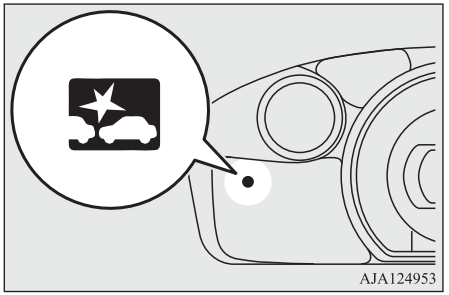
⚠注意

- ブレーキ操作によっては，ブレーキアシストが働かないことがあります。
  システムを過信せず，衝突の危険があるときは，システムの作動の有無に関わらず，ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。

前方衝突被害軽減ブレーキ機能

J00725301206

自車線前方の車両または歩行者へ衝突する危険性が高いと判断したとき，軽いブレーキを作動させてブレーキ操作を促します。
さらに，衝突が避けられないと判断したときには，ブレーキ制御を自動的に作動させて，衝突被害を軽減または条件によって衝突を回避する機能です。
ブレーキ制御作動時は，ブザー音とメーター内の作動表示灯の点灯で注意喚起します。



前方衝突被害軽減ブレーキ機能は，車速がつぎのときに作動します。

- 車両に対して：約 10km/h 以上
- 歩行者に対して：約 10 ~ 80km/h

⚠注意

- 前方衝突被害軽減ブレーキを日常の車両停止に使用しないでください。
- 前方衝突被害軽減ブレーキ作動で停車した約 2 秒後にブレーキ制御が解除され，クリープ現象により車両が動き出しますので，必ずブレーキペダルを踏んで，車両を停止させてください。
- ブレーキ制御中にブレーキペダルを踏んだとき，ペダルが固く感じられることがありますが，異常ではありません。さらに踏み込むことで踏み増すこともできます。
- つぎのような状況では制御も警報も行いません。
  - 急な割込みをした車両または急に飛び出してきた歩行者に対して
  - 前方車両または歩行者との距離が極端に短いとき
  - 駐車車両に対して
  - 対向車に対して
  - セレクターレバーがⓅまたはⓇの位置にあるとき
  - システムに異常が発生し，警告が表示されているとき
    →「警告表示」P.9-25
- VDC（ビークルダイナミクスコントロール）を OFF にしたときは，インテリジェント エマージェンシーブレーキ機能も停止します。
  →「VDC（ビークルダイナミクスコントロール）」P.9-16

⚠注意

- ●二輪車，自転車，壁などはインテリジェント エマージェンシーブレーキの作動対象ではありませんが，状況によって作動することがあります。
- ●つぎのような状況では制御や警報が働かないことや衝突回避できない場合があります。
  - •自車の直前に他車が飛び出してきたとき
  - •近距離で前方車両に割り込まれたとき
  - •前方車両が自車と左右にずれているとき
  - •前方車両がトレーラーなどをけん引しているとき
  - •前方車両が荷物を積んでいない貨物トレーラーなどのとき
  - •前方車両の積荷が荷台から突き出ているとき
  - •前方車両の車高が低いとき
  - •前方車両の最低地上高が極端に高いとき
  - •前方車両が著しく汚れているとき
  - •前方車両が雪に覆われているとき
  - •前方車両のガラス面が大きいとき
  - •前方車両にリフレクター（反射板）が付いていないときやリフレクターの位置が低いとき
  - •前方車両がキャリアカーなど特殊な形状をした車のとき
  - •他車の近くに別の物体があるとき

⚠注意

- •カーブが連続する道路，カーブの出入口を走行するとき
- •急な加減速を行っているとき
- •ハンドル，アクセル，ブレーキ，セレクターレバー操作を行っていて，衝突回避操作と判断されたとき
- •急な上り坂，下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- •滑りやすい道路（凍結路，積雪路，ぬれた道路など）を走行しているとき
- •路面がうねっていたり，凹凸があるとき
- •トンネル内や夜間など，暗い場所を走行しているとき
- •自車が車線変更を行い，前方車両のすぐ後ろに接近したとき
- •自車が右左折してからしばらくの間
- •後席（タイプ別装備）や荷室に極端に重いものを積んだとき
- •パワーユニット起動後に走行してからしばらくの間
- •フロントウォッシャーを使用しているとき
- •日産純正部品以外のワイパーを使用しているとき
- •センサーが高温になっているとき
- •補機用バッテリーが劣化などの理由により低下しているとき
- •太陽光や対向車のヘッドライトなど強い光がセンサーにあたっているとき
- •悪天候 (雨，雪，砂嵐など) のとき

⚠注意

- •センサー部に汚れ，雨，雪，氷などが付着しているとき
- •前方車両や対向車が路上の水や雪，砂などを巻き上げて走行しているとき
- •前方車両のタイヤが見えにくいとき
- •前方車両の後部がさえぎられているなどで検出しづらいとき
- •前方車両との速度差がわずかなとき
- •他のレーダーが干渉しているとき
- •トンネルの出入口などで，明るさが急激に変化するとき
- •前方車両が標識の近くや，道路上の水など反射する物の近くにいるとき，または影にいるとき
- ●つぎのような場合は，センサーが歩行者を検知できず，インテリジェント エマージェンシーブレーキが正しく作動しない場合があります。
  - •歩行者の身長が約 1 m以下または約 2 m以上のとき
  - •歩行者が合羽やロングスカートなどを着用して，全身の輪郭があいまいなとき
  - •傘をさしたり，大きな荷物をかかえたりして歩行者の身体の一部が隠れているとき
  - •歩行者が前かがみになっていたり，しゃがんでいるとき
  - •歩行者がベビーカー，車いす，自転車などを押しているとき
  - •歩行者が集団でいるとき

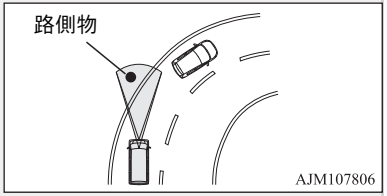
⚠注意

- 歩行者の服装の色合いや明るさが背景に溶け込んでいるとき
- 歩行者が車両や障害物の近くにいるとき
- 歩行者が夜間やトンネル内など暗い場所にいるとき
- 歩行者の歩く速度が速い，または走っているとき
- 歩行者が車の前に飛び出してきたとき
- 歩行者の位置が車両の側端すれすれのとき
- 歩行者が標識の近くや，道路上の水など反射する物の近くにいるとき，または建物などの影にいるとき

- ハンドルの操作状況や自車と前方車両の横方向の位置関係，事故や故障で走行が不安定なときなども制御や警報が働かないことがあります。
- ハンドル操作やアクセル操作など，システムが運転者の回避操作と判断した場合は，制御や警報がキャンセルされることがあります。
- つぎのような状況では制御や警報が作動することがあります。

⚠注意

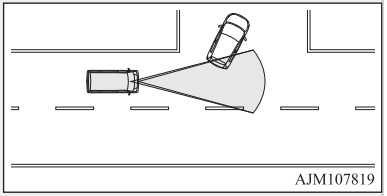
- カーブ入り口や交差点に路側物があるとき



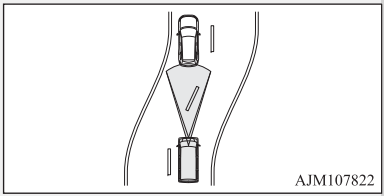
- 狭い鉄橋を通るとき
- 低いゲートや狭いゲートなどを通過するとき
- 路面上に金属物，段差または突起物があるとき
- 追越し時など，前方車両に急接近したとき
- ETC ゲートを通過するとき
- 高架下や歩道橋の下，狭いトンネルを通過するとき
- 自走式立体駐車場を走行するとき
- 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
- 前方の壁や車両すれすれに停車するとき

⚠注意

- 車両，歩行者，障害物などの横すれすれを通過するとき



- 車線内の自車と前方車両の横方向の位置関係がずれる道を走行するとき



- 障害物（生い茂った草，垂れ下がった枝，垂れ幕など）が車両に接触するような場所を通り抜けるとき
- 路面に他車や歩行者との判別がつきにくい模様などがあるとき
- センサーの検知範囲内で，他車が急な割り込みや車線変更をしてきたとき
- 対向車とカーブですれ違うとき
- ビニールカーテンなどをくぐるとき
- ルーフキャリアに搭載したスキー板などの長尺物が，センサーの検知範囲内に入っているとき
- 水蒸気や霧，煙の中を通過するとき

⚠注意

- センサー部に汚れ，雨，雪，氷などが付着しているとき

●つぎのような状況では予期しない作動をするおそれがあるので，システムを OFF にしてください。

- センサー付近のフロントガラスに割れや傷などがあるとき
- 自動洗車機を使用するとき
- リフトアップし，パワーユニットを起動させてタイヤを空転させるとき
- けん引されるとき
- キャリアカーに積載するとき
- サーキットなどでスポーツ走行をするとき
- 整備工場などでシャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
- タイヤの空気圧が適正でないとき
- 応急用スペアタイヤ（タイプ別装備）を装着しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき

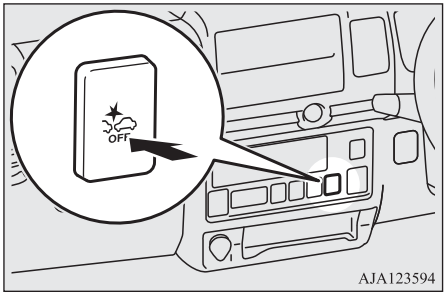
アドバイス

●ブレーキ制御中に車体下から作動音が聞こえることがありますが，異常ではありません。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチ

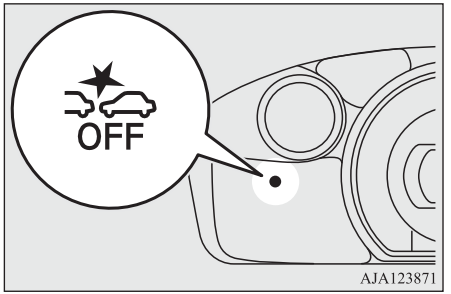
J00725401164

パワースイッチが ON の位置で，インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチを押し続けると，システムの ON/OFF 状態を切り換えることができます。



システムを OFF にすると，メーター内の表示灯が点灯します。

表示灯は「踏み間違い衝突防止アシスト OFF」表示灯も兼ねています。



システムの状態を変更しても，パワースイッチを ON の位置にしたときは，インテリジェント エマージェンシーブレーキは ON となります。

アドバイス

●スイッチを押してインテリジェント エマージェンシーブレーキの ON/OFF 状態を切り換えると，踏み間違い衝突防止アシストの ON/OFF 状態も同時に切り換わります。

警告表示

J00736300124

システムに異常があるときは，その状態によって表示灯が点灯または点滅します。

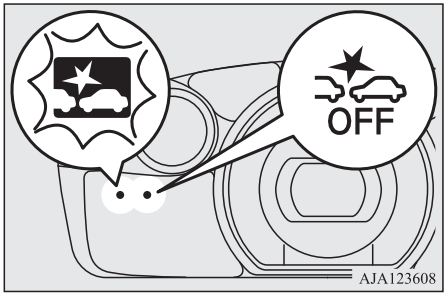
センサーの検知性能が低下したときは

J00740200049

つぎのような状況などで，システムがセンサーの検知性能が低下したと判断したときは，一時的にインテリジェント エマージェンシーブレーキ機能は働かなくなります。

- センサー部に汚れ，雨，雪，氷などが付着しているとき
- 悪天候 (雨，雪，砂嵐など) のとき
- 前方車両や対向車が路上の水や雪，砂などを巻き上げて走行しているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき

このとき，インテリジェント エマージェンシーブレーキ作動表示灯が点滅し，インテリジェント エマージェンシーブレーキ OFF 表示灯が点灯します。



インテリジェント エマージェンシーブレーキ が作動できる状態になると，表示灯が消灯し，インテリジェント エマージェンシーブレーキ機能は自動的に再開します。表示灯が消灯しない場合はセンサーの異常の可能性がありますので，日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 検知範囲内にある車両や障害物をセンサーが検知できないときに，一時的に表示灯が点灯または点滅することがありますが故障ではありません。
  検知すればインテリジェント エマージェンシーブレーキ機能は再開し，表示灯は消灯します。

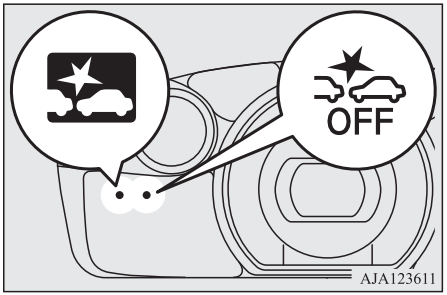
アドバイス

- 交通量が少なく，前方車両や障害物が少ない道路を走行するときに，表示灯が点灯または点滅することがあります。
- LDW（車線逸脱警報）が ON の場合は，LDW 警告灯（黄色）が同時に点滅します。

システムに異常があるときは

J00740300040

つぎの表示灯が点灯してインテリジェント エマージェンシーブレーキ機能は自動的に停止します。



パワースイッチを LOCK にして再度 ON にしても再び表示される場合は，日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

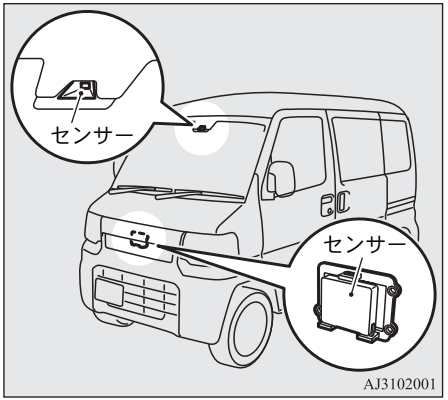
- 炎天下での駐車などでセンサーとその周辺の温度が極端に高くなったときに，表示灯が点灯することがあります。
  センサーの温度が正常な範囲内になっても表示が消えない場合は，日産販売会社で点検を受けてください。

センサーの取り扱い

J00736400167

センサーはフロントガラス上部とフロントバンパーの内側に装備され，つぎのシステムで使用されます。

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ
- LDW（車線逸脱警報）
- ハイビームアシスト

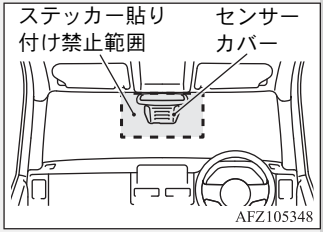


⚠注意

- システムの正しい作動のため，つぎのことをお守りください。取り扱いを誤ると，システムが正しく作動せず，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- センサー周辺は常にきれいにする。
  フロントガラスの内側が汚れたときは，日産販売会社にご連絡ください。
- センサーに強い力や衝撃を与えたり，センサーを取り外したり，分解しない。
- センサーおよびセンサーカバー付近のフロントガラスにステッカーや赤外線カットフィルムなどを貼らない。



- センサーカバーは，塗装や改造をしない。
- センサー付近にナンバープレートやグリルガードなどを取り付けない。
- フロントガラスが曇った場合は，マニュアルエアコンの設定を変えて曇りを取り除く。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P.11-7
- フロントガラスのセンサー前方部分をワイパーで適切にふき取れない場合は，ワイパーブレードを早めに交換する。
  フロントワイパー本体，ワイパーブレードを交換する場合は日産純正品をご使用ください。

⚠注意

- センサーのレンズを汚したり，傷をつけない。
- ガラスクリーナーや液体をセンサーにかけない。
- センサー付近に電子機器またはアンテナなど強い電波を発信する機器を取り付けない。
- 指定以外のサイズのタイヤを装着しない。または，摩耗差の著しいタイヤを混ぜて装着しない。
- サスペンションを改造しない。

● センサー付近のフロントガラスにひび割れや傷などがある状態では，システムが正しく作動せず，重大な事故につながるおそれがあります。インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチを操作してインテリジェント エマージェンシーブレーキおよび踏み間違い衝突防止アシストを停止させ，日産販売会社で点検を受けてください。
フロントガラスの交換が必要な場合は，日産販売会社にご相談ください。



本製品は，電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。

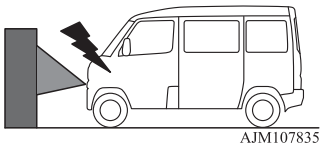
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

9

踏み間違い衝突防止アシスト（前進のみ）

J00733200281

停車～約 10km/h で前進中に，センサーが前方（約 2.5m 以内）の車両や障害物を検知している状態で，ペダルの踏み間違いなどによりアクセルペダルが素早く，かつ必要以上に踏み込まれたとシステムが判断したとき，パワーユニットの出力を最大約 5 秒間抑制して急な発進を防止し，衝突時の被害を軽減します。
踏み間違い衝突防止アシストが作動すると，メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯が点滅し，ブザーが断続的に鳴ります。
踏み間違い衝突防止アシストの ON/OFF は，インテリジェント エマージェンシーブレーキと連動して切り換わります。

状況	作動表示灯	ブザー
セレクターレバーが Ⓓ, Eco, Ⓑの位置で車両前方に障害物を検知しているとき，アクセルペダルが素早く，必要以上に踏み込まれた場合，パワーユニットの出力を約 5 秒間抑制  AJM107835	 速い点滅	断続的に鳴る

⚠警告

- 踏み間違い衝突防止アシストを過信しないでください。システムに頼った運転はせず，アクセル操作には十分に気をつけて，常に周囲の状況を把握し安全運転を心がけてください。操作を誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- 踏み間違い衝突防止アシストは，車両の停車状態を保持する機能はありませんので，周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んでください。

⚠警告

- 状況によっては，自車の前方に障害物があったとしてもシステムが作動せずに車両が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- 遮断機を障害物と検知してシステムが作動し踏み切り内に閉じ込められたときは，あわてずにつぎのいずれかの方法で踏み切り内から脱出してください。
  - アクセルペダルから足を離し，軽く踏み直す。
  - システムを OFF にする。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/ OFF スイッチを 3 秒以上押し続ける。）
  - アクセルペダルを 5 秒以上踏み続ける。
  - アクセルペダルをいっぱいまで素早く 3 回以上踏み直す。
- システムの作動確認をお客様自身が行わないでください。状況によっては，システムが作動せず重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- つぎのときは，踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。
  - パワースイッチが ON 以外のとき
  - インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチを操作して踏み間違い衝突防止アシストを OFF にしているとき
  - セレクターレバーが Ⓟ, Ⓡ, Ⓝに入っているとき

⚠注意

- VDC OFF スイッチを操作して VDC を OFF にしているとき
- システムに異常が発生し，警告が表示されているとき
  →「警告表示」P.9-31

- 二輪車，自転車，歩行者などを障害物と検知することもありますが，これらは踏み間違い衝突防止アシストの作動対象ではありません。
- つぎのようなときは，踏み間違い衝突防止アシストが作動しない場合があります。
  - センサーやその周辺を手で拭いたとき
  - センサーやその周辺にステッカーやアクセサリーを取り付けたとき
  - 外気温が急激に変化する場所を走行しているとき（トンネルやガレージなど）
  - 悪天候（雨，強風，雪，砂嵐など）のとき
  - 障害物に接近しすぎたとき
  - 近距離で前方車両に割り込まれたとき
  - 自車が進路変更して障害物のすぐ後ろに接近したとき
  - 障害物の一部しかセンサーの検知範囲内に入っていないとき
  - 雨，雪，氷，汚れなどがセンサーに付着しているとき
  - センサーが異常に高温または低温のとき（炎天下での駐車もしくは低外気温下での駐車）
  - パワーユニット起動直後

⚠注意

- カーブが連続する道路，カーブの出入り口を走行しているとき
- 急な上り坂，下り坂を走行しているとき
- 路面がうねっていたり凹凸がある道路や砂利道を走行しているとき
- ハンドル，セレクターレバー操作を行っていて，システムが運転者の衝突回避操作と判断したとき
- アクセルペダルを数秒間隔で繰り返し踏み込み，システムが解除動作と判断した後しばらくの間
- 重い荷物の積載やタイヤ空気圧の調整不良などで，車両が著しく傾いているとき
- 事故や故障などで走行が不安定なとき
- センサーが外部からの超音波ノイズを受けたとき
  （他車のホーン，二輪車のエンジン，ブレーキ，ラジオ，豪雨，はね水，タイヤチェーンなどのノイズ）
- 地面に対して垂直でない障害物，車両進行方向に対して直角でない障害物，または凸凹な壁や波状の壁があるとき

- 踏み間違い衝突防止アシストが作動している間に，ハンドル操作などをシステムが運転者の回避操作と判断したときや，前方の障害物がセンサーの検知範囲外に移動したときは，踏み間違い衝突防止アシストの作動が解除されることがあります。

⚠注意

- つぎのような状況では踏み間違い衝突防止アシストが作動してしまう場合があります。
  - 路面上に段差または障害物があるとき
  - 駐車場ゲートや踏み切りなどの遮断機が上がりきらないとき
  - 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
  - 水蒸気や霧の中を通過するとき
  - 前方車両に接近して走行するときや，前方の壁ぎりぎりに接近して停車するとき
  - 周辺車両や対向車が路上の水や雪，砂などを巻き上げて走行しているとき
  - カーブや交差点に障害物があるとき
  - 縦列駐車から本線に合流するとき
  - 周囲で大きな音が鳴っているときや超音波を発生する物があるとき（他の車両のホーン，二輪車のエンジン音，大型車のエアブレーキ音，車両感知器，他の車両のソナーなど）
  - センサー付近に市販の電装品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
  - 砂利道を走行するとき
  - 周囲に草が生い茂っているとき

⚠注意

- つぎのような状況では予期しない作動をするおそれがありますので，インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチを押してシステムをOFFにしてください。
  - 脱輪したときやぬかるみから脱出するとき
  - 自動洗車機を使用するとき
  - 車両用エレベーターや機械式駐車場を利用するとき
  - リフトアップしてタイヤを空転させるとき
  - けん引されるとき
  - キャリアカーに積載するとき
  - サーキットなどでスポーツ走行をするとき
  - 整備工場などでシャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
  - タイヤの空気圧が適正でないとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
- システムの正しい作動のため，つぎのことをお守りください。センサーの検出性能を低下させるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - センサー部に強い力や衝撃を与えない
  - センサー部は常にきれいにする
  - センサー部にステッカーを貼り付けない

⚠注意

- サスペンションを改造しない
- センサーおよびセンサーの周辺をぶつけたときは，センサーが正しく機能しなくなりますので，日産販売会社で点検を受けてください。

障害物検出エリア

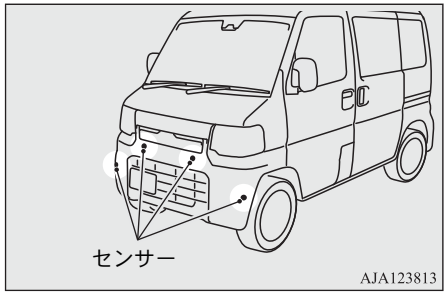
J00734400033

センサーの検出できるエリアには限りがあります。
また，低い位置にある障害物や厚さがない障害物，バンパーに近い障害物は検出できません。
必ず自分の目で安全を確認して運転してください。

センサーの位置

J00734600077

フロントバンパーの 4 箇所にセンサーがあります。



⚠注意

- つぎのような車両や障害物または状況においてはセンサーが検知できず，踏み間違い衝突防止アシストが作動しない場合があります。
  - トレーラーなどをけん引している車両
  - 荷物を積んでいない貨物トレーラーなど
  - 積荷が荷台から突き出している車両など
  - 背が低い障害物など
  - 最低地上高が極端に高い車両など
  - 著しく汚れている車両
  - 雪に覆われた車両や障害物など
  - キャリアカーなど特殊な形状をした車両
  - 標識や街灯などポール状の障害物
  - 地上から高い位置に存在する障害物
  - スポンジ状の物や雪などの表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物

⚠注意

- 鋭角的な形状の物
- 網目の大きいフェンス
- 表面に凹凸がある障害物
- 動いている物
- 周囲で大きな音が鳴っているときや超音波を発生する物があるとき（他の車両のホーン，二輪車のエンジン音，大型車のエアブレーキ音，車両感知器，他の車両のソナーなど）
- センサー付近に市販の電装品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
- 認識できる障害物と自車の間に認識できない障害物があるとき

アドバイス

- バンパーの直下またはバンパーに近いところにある障害物は検出できません。
  また，障害物の高さがセンサーよりも低いときは，最初にセンサーが障害物を検出したとしてもその障害物を検出し続けることができない場合があります。

踏み間違い衝突防止アシストの ON/OFF 作動切り換え

J00733300178

パワースイッチを ON にすると，自動的に踏み間違い衝突防止アシストは ON になります。また，踏み間違い衝突防止アシストの ON/OFF は，インテリジェント エマージェンシーブレーキの ON/OFF 状態に連動して切り換わります。
→「インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチ」P.9-24

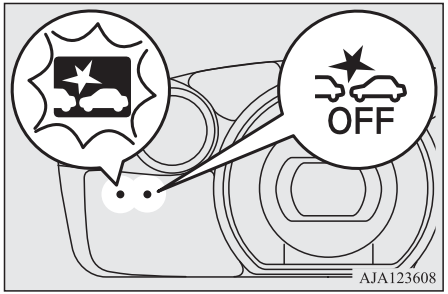
警告表示

J00734500089

システムに異常があるときは，その状態によって作動表示灯が点滅または点灯します。
このとき，表示灯も点灯します。

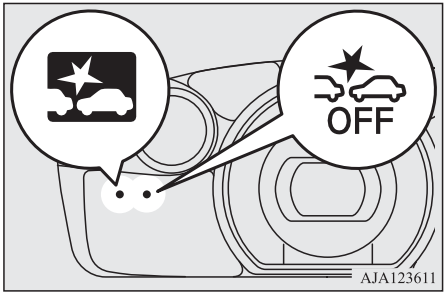
センサーが一時的に使用できないとき

作動表示灯がゆっくり点滅したときは，周囲の状況やセンサー温度の上昇など，何らかの理由によりセンサーが一時的に使用できなくなっています。表示灯が点滅し続けるときは，日産販売会社にご相談ください。



センサーまたはシステムに異常があるとき

作動表示灯が点灯したときは，センサーまたはシステムに何らかの異常が発生しているため，踏み間違い衝突防止アシストが正常に作動しません。できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

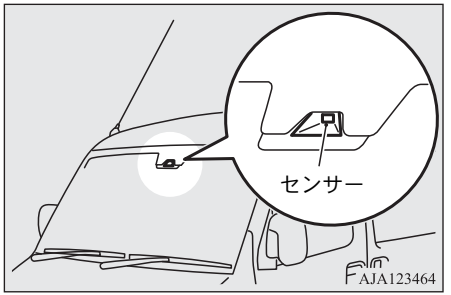


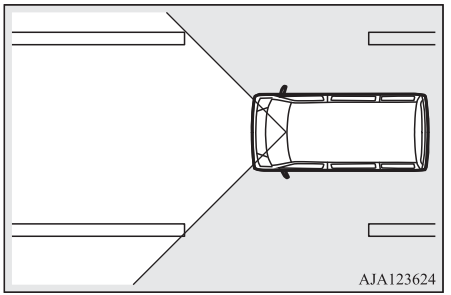
LDW（車線逸脱警報）

J00725601209

LDW: Lane Departure Warning

センサーで走行車線（レーン）を認識し，走行車線を逸脱しそうな状況においてメーター内の警告灯の点滅と警告音で運転者に注意を促します。





⚠注意

- LDW には限界がありますので，機能を過信しないでください。

⚠注意

- わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意や悪天候などによる視界不良を補助するものではありませんので，常にハンドル操作をして進路を修正し，安全運転に心がけてください。
- つぎのような環境下ではシステムが正しく作動できない場合があります。必要に応じてLDWスイッチを押してシステムをOFF にしてください。
  - 車線がかすれたり汚れたりして見えにくいとき
  - 雨，雪，霧，暗い場所，逆光などで車線が見えにくいとき
  - 検札所手前，料金所手前，合流地点，分岐地点など，車線が途切れるとき
  - 道路補修の消し残り線，影，残雪，雨のたまったわだちなど，車線と紛らわしい線が見えるとき
  - 高速道路などの本線（走行車線，追い越し車線）以外の車線を走行するとき
  - 工事による車線規制や仮設車線を走行するとき
  - 車線の幅が極端に狭いとき
  - 前方車両との車間距離が極端に短くなったとき（前方車両が車線の近くを走行して見えにくいとき）
  - 合流地点などで車線が複雑なとき
  - 車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
  - 2重車線など特殊な車線を走行するとき

⚠注意

- うねった道路や荒れた道路を走行するとき
- 雨天時や積雪，凍結などで滑りやすい道路を走行するとき
- トンネルなどの出入口などで，明るさが急激に変化するとき
- 急なカーブのとき
- 逆光を浴びて路面が光っているとき
- 段差などにより車が大きくゆれたとき
- ヘッドライトのレンズが汚れていたり，劣化などにより照射が弱いときや光軸がずれているとき
- 重い荷物の積載やタイヤ空気圧の調整不良などで，車両が著しく傾いているとき
- 対向車のヘッドライトの光がセンサーに入射したとき
- タイヤ，サスペンションの改造など，指定された部品以外を装着した場合（摩耗しているタイヤ，スペアタイヤ（タイプ別装備），タイヤチェーンを装着しているとき）
- 雨，雪，汚れなどがフロントガラスに付着しているとき

- 使用環境を良い状態に保つために，つぎのことを守ってください。
  - フロントガラスは，いつもきれいにしておく
  - センサーに強い衝撃や力を加えない，また分解しない

⚠注意

- センサー前のフロントガラス外側にシール等を貼らない
- ダッシュボードの上などに，白い紙や鏡などの反射する物を置かない
- フロントワイパーを交換する場合は，日産純正品を使用する

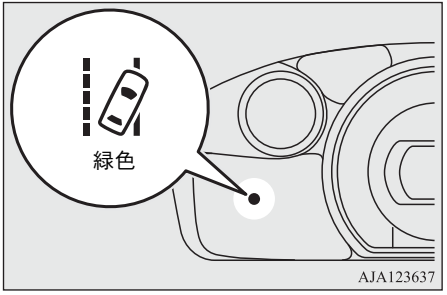
アドバイス

- 市販のカーナビゲーションを装着する場合，フロントガラスにテレビや GPS のアンテナを貼り付けると，テレビの映りやカーナビゲーションの位置精度が悪くなるおそれがあります。

LDW の作動

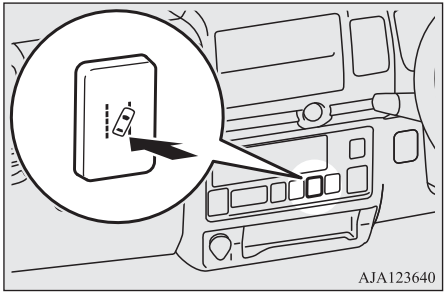
J00725701196

パワースイッチを ON にしたとき，LDW の ON/OFF は前回，パワースイッチを LOCK にしたときの状態になります。
LDW が ON のときは，メーター内の LDW 表示灯（緑色）が点灯します。



システムの ON/OFF 切り換え

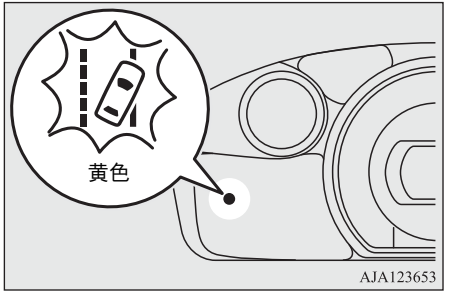
LDW スイッチを押すことで，システムの ON/OFF を切り換えることができます。



車線逸脱警報

J00730400080

つぎの条件がすべて成立したときに，自車の走行している車線を逸脱しそうになると，ブザーが断続的に鳴り，LDW 警告灯（黄色）が早く点滅します。



- 車速が約 60km/h 以上のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- 非常点滅灯が作動していないとき
- 車両の左右にある車線が認識できている環境のとき

アドバイス

- 約3秒以上警報作動し続けたとき，警報を停止します。
- 車線が片側にしかないときは，車線がある方向へのみ車線逸脱警報が作動します。

アドバイス

- 非常点滅灯が作動し終わった後，もしくは方向指示レバーを戻した後，約 7 秒間はシステムは作動しません。

警告表示

J00725801126

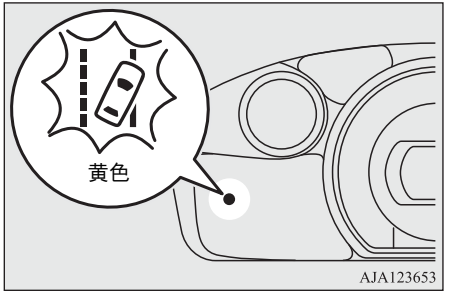
システムに異常があるときは，その状態によってメーター内の警告灯が点灯または点滅します。

センサーの検知性能が低下したときは

つぎのような状況で，システムがセンサーの検知性能が低下したと判断したときは，システムは一時的に停止します。

- フロントガラスのセンサー部に汚れ，雨，雪，氷などが付着しているとき
- 悪天候（雨，雪，砂嵐など）のとき
- 前方車両や対向車が路上の水や雪，砂などを巻き上げて走行しているとき

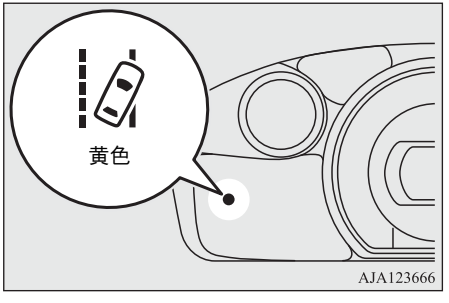
このとき，LDW 警告灯（黄色）がゆっくり点滅します。



システムが作動できる状態になると警告灯が消灯し，システムは自動的に再開します。警告灯が消灯しない場合はセンサーの異常の可能性がありますので，日産販売会社で点検を受けてください。

システムに異常があるときは

LDW 警告灯（黄色）が点灯し，LDW 表示灯（緑色）が消灯して，システムは自動的に停止します。



パワースイッチを LOCK にして再度 ON にしても再び点灯する場合は，日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 炎天下での駐車などでセンサーとその周辺の温度が極端に高くなったときに，LDW 警告灯（黄色）が点灯することがあります。
  センサーの温度が正常な範囲内になっても表示が消えない場合は，日産販売会社で点検を受けてください。

パーキングセンサー(リヤ)

J00740400025

後退時，接近する障害物の位置とおおよその距離をメーター内の表示灯とブザー音で運転者に知らせる装置です。

⚠注意

- パーキングセンサーは車と障害物とのおおよその距離の確認を補助する装置です。
  感知できる範囲および物体は限られています。障害物によっては，正確に感知しないことがありますので，過信せずパーキングセンサーが付いていない場合と同じように慎重に運転してください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。パーキングセンサーだけを頼りに運転しないでください。

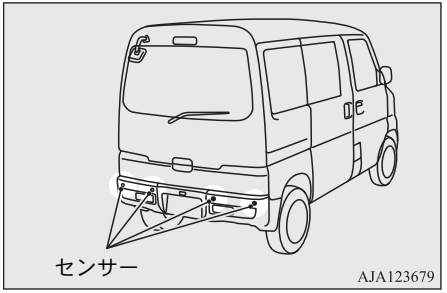
障害物を感知できる範囲

J00740500039

センサーが感知できる範囲は限られています。また，センサーはリヤバンパー付近の低い障害物，細い障害物などは感知できません。
必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

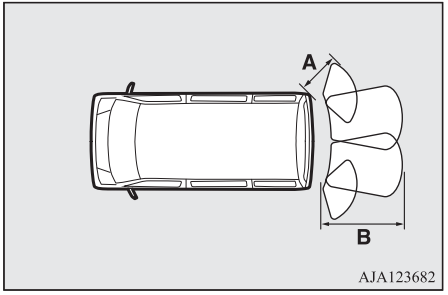
センサーの取り付け位置

リヤバンパーの 4 箇所にセンサーがあります。



感知範囲

感知範囲は，コーナーセンサーから約 60cm (A), リヤセンサーから約 150cm (B) です。



アドバイス

- センサーは，バンパー直下またはバンパーに近いところにある障害物は感知しません。
  また，障害物の高さがセンサーの取り付け位置よりも低いときは，最初にセンサーが障害物を感知したとしてもその障害物を感知し続けることができない場合があります。

⚠注意

- つぎの場合，パーキングセンサーが正常に作動しないことがあります。
  - センサーやその周辺を手で拭いたとき
  - センサーやその周辺にステッカーやアクセサリーを取り付けたとき
  - センサーやその周辺に雨，氷，雪または泥などが付着したとき
  - 外気温が急激に変化する場所を走行しているとき（トンネルやガレージなど）
  - センサーが凍結したとき
  - センサーが外部からの超音波ノイズを受けたとき（他の車両のホーン，二輪車のエンジン，ブレーキ，ラジオ，豪雨，はね水やタイヤチェーンなどのノイズ）
  - センサーが異常に高温もしくは低温のとき（炎天下での駐車または低外気温下での駐車）
  - 車両が大きく傾いたとき
  - 路面がうねっていたり，凹凸がある道路や砂利道を走行しているとき

⚠注意

- •障害物に接近しすぎたとき
- •パワーユニット起動直後

●つぎのような障害物は，センサーが正しく感知しない場合があります。

- •ワイヤーネットやロープなどの細い物
- •雪などの音波を吸収する物
- •鋭い角度で成形された物
- •縁石などの背が低い物
- •動いている物

●システムの正しい作動のため，つぎのことをお守りください。センサーの感知性能を低下させるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

- •センサー部に強い力や衝撃を与えない
- •センサー部は常にきれいにする
- •センサー部にステッカーを貼り付けない
- •サスペンションを改造しない

●センサーおよびセンサー周辺をぶつけたときは，パーキングセンサーが正しく機能しなくなりますので，日産販売会社で点検を受けてください。

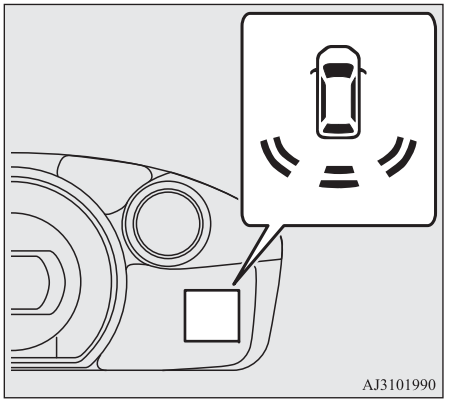
アドバイス

●センサーが外部からの超音波ノイズを受けると，センサー表示が一定の周期で点滅します。
ノイズを受けなくなれば，表示は消え通常の作動に戻ります。

使い方

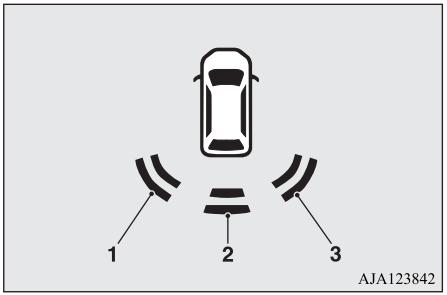
J00740600027

パワースイッチを ON にすると，パーキングセンサーが自動的にONになり，メーター内の表示灯が数秒間点灯します。



障害物の表示と警告

自車の周辺に障害物があると，障害物を感知したセンサー（障害物がある方向）をメーター内の表示灯で表示し，ブザーで警報します。



1- コーナーセンサー（左）
2- リヤセンサー
3- コーナーセンサー（右）

リヤセンサー

障害物までの距離	表示／ブザーの間隔
約 150 ～ 80cm	点灯／遅い断続音
約 80 ～ 40cm	点灯／速い断続音
約 40cm 以内	速い点滅／連続音

9

コーナーセンサー

障害物までの距離	表示／ ブザーの間隔
約 60 ～ 40cm	点灯／ 速い断続音
約 40cm 以内	速い点滅／ 連続音

⚠注意

- 距離は温度，湿度，障害物の形などにより誤差が生じることがありますので，あくまで参考としてください。

9

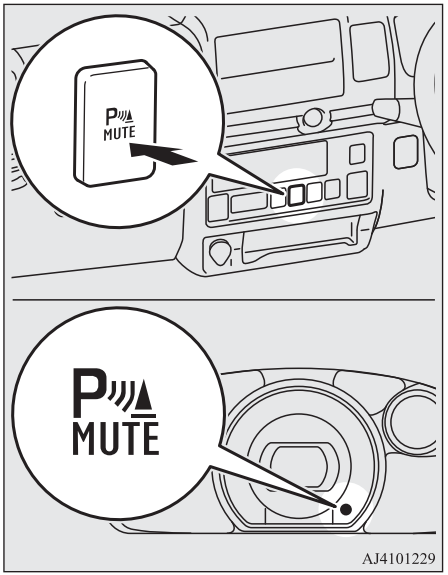
アドバイス

- いくつかの障害物を同時に感知した場合は，すべて表示します。
  ただし，ブザーはより近い障害物を優先して警報します。

警報ブザーを消したいときは

J00740700028

警報ブザーを一時的に消したいときは，スイッチを約 3 秒以上押し続けます。ブザーが鳴り，メーター内の表示灯が点灯します。
スイッチをもう一度約 3 秒以上押し続けると，ブザーが鳴って，表示灯が消灯し，元に戻ります。



アドバイス

- 警報ブザーを消しても，表示灯での警告は継続します。
- 警報ブザーを消しても，パワースイッチを LOCK または ACC にして再度 ON にしたときは，警報ブザーは鳴る状態になります。

警告表示

J00740800032

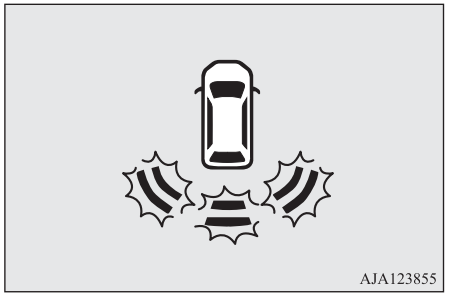
システムに異常があるときは，その状態によってメーター内の表示灯が点滅または点灯します。

センサーの検知性能が低下したときは

つぎのような状況で，システムがセンサーの検知性能が低下したと判断したときは，システムは一時的に停止します。

- バンパーのセンサー部に汚れ，雨，雪，氷などが付着しているとき
- 悪天候（雨，雪，砂嵐など）のとき

このとき，全てのセンサーの位置をゆっくりした点滅で表示し，約 5 秒間ブザーが鳴ります。



システムが作動できる状態になると表示灯が消灯し，システムは自動的に再開します。表示灯が消灯しない場合はセンサーの異常の可能性がありますので，日産販売会社で点検を受けてください。

システムに異常があるときは

すべての表示灯が点灯し，システムは自動的に停止します。
パワースイッチを LOCK にして再度 ON にしても再び点灯する場合は，日産販売会社で点検を受けてください。



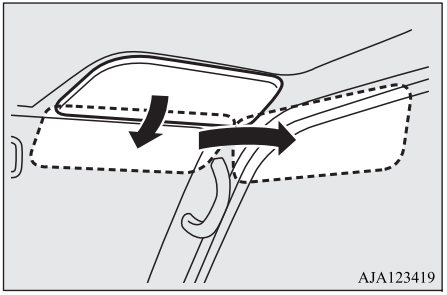
室内装備

サンバイザー 10-2
アクセサリーソケット (DC12V) 10-2
充電用 USB ポート 10-3
アクセサリーコンセント 10-3
室内灯 10-6
グローブボックス 10-8
ドリンクホルダー 10-8
アシストグリップ 10-8
ユーティリティーナット 10-9
フロアカーペット 10-9

サンバイザー

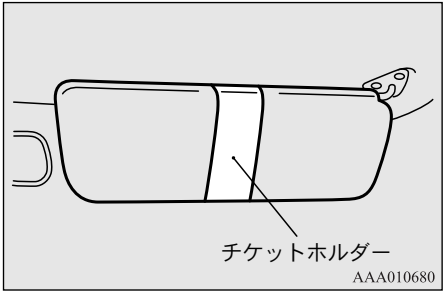
J00900101784

前面だけでなく，側面にも回せます。



チケットホルダー

運転席サンバイザーの裏側にあり，通行券などをはさむことができます。



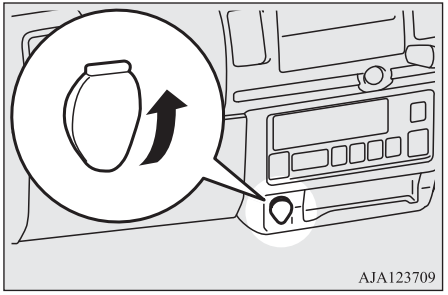
⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，プラスチック素材のカードをはさんだままにしないでください。
  カードが変形やひび割れを起こすおそれがあります。

アクセサリーソケット(DC12V)

J00900502020

パワースイッチがONまたはACCのときに使用できます。
ふたを開け，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず，12Vで消費電力が120W以下の電気製品を使用してください。



⚠注意

- 市販の電気製品を使用しないでください。補機用バッテリー上がりやアクセサリーソケットが損傷する原因となります。
- ソケットのふたを開けたまま放置しないでください。
  プラグタイプ以外の物をソケットに入れると故障したり，ショートする可能性があります。

アドバイス

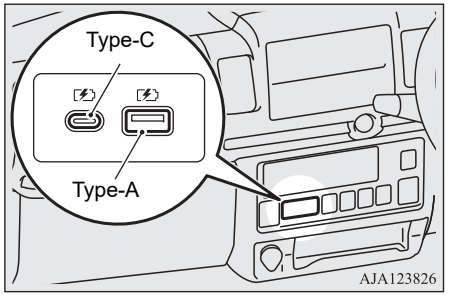
- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間使用すると，補機用バッテリーが上がることがあります。
- アクセサリーコンセント（タイプ別装備）と同時に使用することができます。
  →「アクセサリーコンセント」P.10-3

充電用 USB ポート

タイプ別装備

J00916000068

パワースイッチが ON または ACC のときに，USB デバイス（機器）の電源として使用できます。
使用するときは，充電用 USB ポートに，USB 接続ケーブルを接続します。



⚠注意

- USB 接続ケーブルを差し込むときは，まっすぐに根元まで差し込んでください。差し込みが不十分な場合，発熱によりヒューズが切れるおそれがあります。

⚠注意

- Type-Aの充電用USBポートを使用するときは，接続する USB デバイスの消費電力が 12W（最大定格出力：5V-2.4A），Type-C の充電用 USB ポートを使用するときは，接続する USB デバイスの消費電力が 15W（最大定格出力：5V-3A）を，それぞれ超えないようにしてください。充電用 USB ポートや接続した USB デバイスが損傷するおそれがあります。
- USB コネクターボードが中央にあるリバーシブルタイプのUSBコネクターを接続しないでください。充電用 USB ポートが破損するおそれがあります。

アドバイス

- 充電用USBポートは電源としてのみ使用できます。
  車両のオーディオ機器には接続されません。
- USB ハブなどを使用して，複数の USB デバイスを同時に充電しないでください。
- 万一，飲み物などをこぼした場合は，使用を中止し日産販売会社で点検を受けてください。
- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間使用すると，補機用バッテリーが上がることがあります。

アクセサリーコンセント

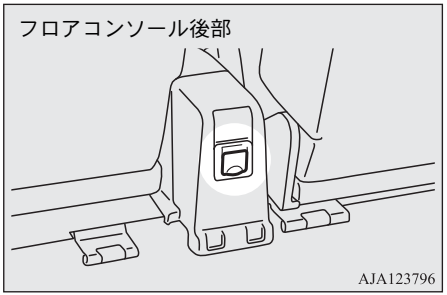
タイプ別装備

J00916100030

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに AC100V の電源として使用できます。
必ず AC100V，かつ消費電力が 1500W 以下で使用してください。

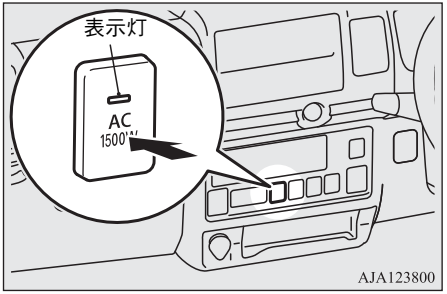
⚠警告

- 電気製品を接続して使用する場合は，使用する電気製品に付属の取扱説明書やラベルに記載されている注意事項を必ずお守りください。
- 医療機器のご使用は，絶対に避けてください。

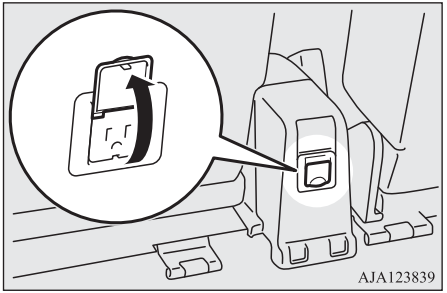


使用するときは

1. アクセサリーコンセントスイッチを押します。表示灯が点灯して，使用可能な状態になります。
スイッチをもう一度押すと，表示灯が消灯します。



2. ふたを開けます。



3. プラグを奥まで差し込みます。
差し込み後は，プラグが確実に固定されていることを確認します。

4. 使用後は，プラグを抜き取りふたを閉めます。

⚠警告

- アクセサリーコンセントを使用して，電気自動車やプラグインハイブリッド車への普通充電は絶対に行わないでください。また，アクセサリーコンセントと家屋内の電力線や配電盤をつなぐことは絶対にしないでください。感電や故障につながるおそれがあります。
- アース線のある電気製品を使用するときは，電気製品の電源を入れる前に必ずアース線をアース端子に接続してください。
- ぬれた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- プラグを抜くときは，ケーブル部を引っ張って抜かないでください。電源コードが損傷するおそれがあります。必ずプラグ部を持ってまっすぐ抜いてください。
- アクセサリーコンセントの改造や分解，修理などは絶対にしないでください。
- つぎの電気製品および運転の妨げになるおそれがある電気製品は，走行中に使用しないでください。重大な事故につながるおそれがあります。
  - 熱を発する電気製品
  - 蒸気を発する電気製品
  - 強い光を発する電気製品

⚠警告

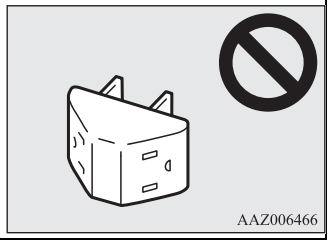
- 駐停車中に電気製品を使用するときは，つぎのことをお守りください。また，つぎの項も併せてお読みください。
→「駐停車するときは」P.3-14
  - 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。
無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
また，誤ってセレクターレバーが押されないよう，電気製品の電源コードや延長ケーブルの配置に注意してください。
  - 車外で使用する場合は，雨や雪でアクセサリーコンセントがぬれないように注意してください。感電のおそれがあります。
- アクセサリーコンセントに飲み物などをこぼしたりしないでください。感電，発煙や発火のおそれがあります。
- お子さまには，アクセサリーコンセントを触らせないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセサリーコンセントを使用しているときは，点検口内（運転席／助手席下）の冷却ファンが自動的に作動することがあります。冷却ファンに手や衣服などを近づけないでください。
- 落雷のおそれがある場合はアクセサリーコンセントを使用しないでください。

⚠注意

- 電気製品のプラグを差し込むときは，まっすぐに根元まで差し込んでください。差し込みが不十分な場合，発熱によりアクセサリーコンセントが損傷するおそれがあります。
- ストーブなどの熱器具を車内で使用しないでください。熱により内装品などが溶けたり，焼けたりするおそれがあります。
- 故障した電気製品を使用しないでください。アクセサリーコンセントが使用できなくなるおそれがあります。

アドバイス

- アクセサリーソケットと同時に使用することができます。
  →「アクセサリーソケット (DC12V)」P.10-2
- アクセサリーコンセントにプラグアダプターなどを取り付けて使用しないでください。また，分岐用コンセントを取り付けて，複数の電気製品を使用しないでください。



アドバイス

- プラグをアクセサリーコンセントに差し込んだときに，緩みやがたつきがあるときは，日産販売会社でアクセサリーコンセントを交換してください。
- アクセサリーコンセントを使用しているときは，車から離れないでください。また，給油や洗車をしないでください。
- アクセサリーコンセントを使用しているときは，ラゲッジルーム付近から冷却ファンなどの作動音が聞こえることがありますが，異常ではありません。
- 振動や熱などに弱い電気製品を車内で使用しないでください。強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，電気製品が故障するおそれがあります。
- 車両にボデーカバーを掛けた状態でアクセサリーコンセントを使用しないでください。
- 窓，ドアやテールゲートを閉める際，電源コードをはさまないように注意してください。
- アクセサリーコンセントを使わないときは，アクセサリーコンセントスイッチをOFF にして，プラグを抜き取りふたを閉めてください。コンセントにたまったほこりにより，ショートするおそれがあります。
- つぎの場合はアクセサリーコンセントを使用できません。
  - パワーユニット警告灯が点灯しているとき
  - 駆動用バッテリーの残量表示が0のとき

アドバイス

  - パワーダウン警告灯が点灯しているとき
- つぎの場合は電気製品が正常に作動しなかったり，給電が停止することがあります。このとき，作動音がすることがありますが，異常ではありません。
  - 消費電力が 1500W を超える電気製品を使用したとき
  - 車内が高温または低温のとき
- アクセサリーコンセントが使用できないときや，給電が停止して自動で復帰しないときは，つぎの手順に従ってください。
  1. 電気製品のプラグを抜きます。
  2. 駆動用バッテリーの残量を確認します。残量が少ない場合は，駆動用バッテリーを充電します。
     →「普通充電のしかた（AC 200V コンセントまたは AC 100V コンセントでの充電方法）」P.5-4
     →「急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）」P.5-14
  3. READY（走行可能）表示灯が点灯していることを確認します。点灯していない場合は，パワーユニットを起動して，再度 READY（走行可能）表示灯を点灯させます。
  4. 車内が高温または低温の場合は，エアコンで適温に調整します。
  5. アクセサリーコンセントスイッチをON にします。

アドバイス

6. スイッチ内の表示灯が点灯したことを確認して，電気製品のプラグを差し込みます。

- 消費電力が1500W以下でもつぎのような電気製品は正常に作動しないことがあります。また，駆動用バッテリーの状態によっては，使用できる電力が変化することがありますので注意してください。
  - 瞬間的に大きな電流が流れる電気製品
  - 精密なデータを測定するような電気製品
  - 水平に設置しないと正常に作動しない電気製品
  - 極めて安定した動作が必要な電気製品
  - タイマー設定など，連続した出力を必要とする電気製品
- 駆動用バッテリーなどの状態によっては，駆動用バッテリーの残量表示が 0 でなくても，アクセサリーコンセントの出力が断たれ，電気製品の電源が切れることがありますので注意してください。
- 使用する電気製品によっては，ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。
- アクセサリーコンセントの電圧は，市販のテスターでは正確に測定できません。電圧の測定が必要な場合は，日産販売会社にご相談ください。
- 電源周波数について
  - 工場出荷時，車両の電源周波数は 50Hz に設定されています。

アドバイス

- 電源周波数の切り換え (50/60Hz) のある製品を使用する場合は，車両の電源周波数に合わせておいてください。

室内灯

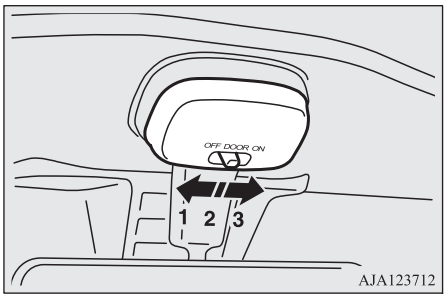
J00900800641

アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間ランプを点灯させておくと補機用バッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルームランプ

J00900902721



1. (OFF)
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。
2. (●)
   - いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します（遅延消灯）。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
     - ドアおよびテールゲートを閉じてパワースイッチを ON にしたとき
     - ドアおよびテールゲートを閉じて集中ドアロックの機能を使って施錠したとき
     - キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

●パワースイッチが LOCK または ACC の位置にあるときにドアまたはテールゲートを開け点灯したままにすると，約 30 分後に自動的に消灯します。
つぎのようなときは，再び点灯します。
•パワースイッチを ON の位置にしたとき。
•キーレスエントリーの操作をしたとき。
•すべてのドアおよびテールゲートを閉じた後，いずれかのドアまたはテールゲートを開けたとき。

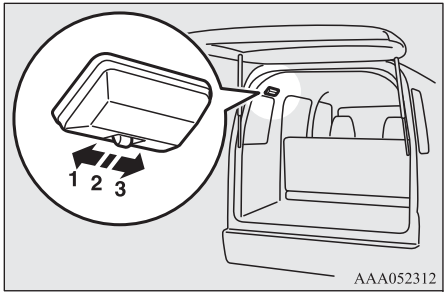
アドバイス

●ドアおよびテールゲートが閉まっているときにパワースイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約 15 秒後に消灯します。
●自動的に消灯する機能は，ルームランプのスイッチが ON の位置にあるときは働きません。

3. （ON）
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。

ラゲッジルームランプ

J00901501642



1.（OFF）
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。
2.（●）
●いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します（遅延消灯）。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
•ドアおよびテールゲートを閉じてパワースイッチを ON にしたとき
•ドアおよびテールゲートを閉じて集中ドアロックの機能を使って施錠したとき
•キーレスエントリーのリモコンスイッチを使って施錠したとき

●パワースイッチが LOCK または ACC の位置にあるときにドアまたはテールゲートを開け点灯したままにすると，約 30 分後に自動的に消灯します。
つぎのようなときは，再び点灯します。
•パワースイッチを ON の位置にしたとき。
•キーレスエントリーの操作をしたとき。
•すべてのドアおよびテールゲートを閉じた後，いずれかのドアまたはテールゲートを開けたとき。

アドバイス

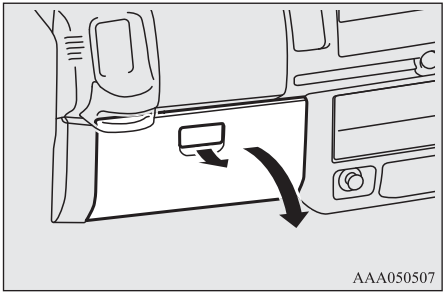
●ドアおよびテールゲートが閉まっているときにパワースイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約 15 秒後に消灯します。
●自動的に消灯する機能は，ラゲッジルームランプのスイッチが ON の位置にあるときは働きません。

3. （ON）
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。

グローブボックス

J00902200216

レバーを引くと開きます。



10

⚠注意

- 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

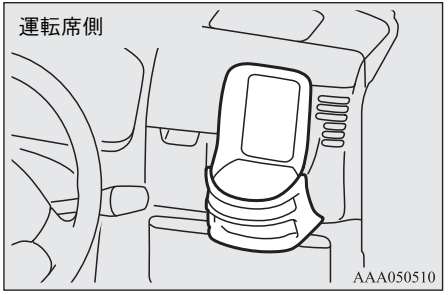
アドバイス

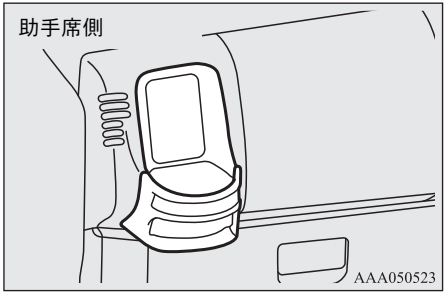
- 車を離れるときはグローブボックス内に貴重品を入れたままにしないでください。

ドリンクホルダー

J00903802095

左右の吹き出し口の前にドリンクホルダーがあります。





⚠警告

- 車内に水をかけたり，飲み物などをこぼしたりしないでください。スイッチ類，配線や電気部品にかかると，故障や車両火災の原因になります。
  万一，飲み物などをこぼした場合は，可能な限り水分を取り除き，すみやかに日産販売会社にご相談ください。

⚠注意

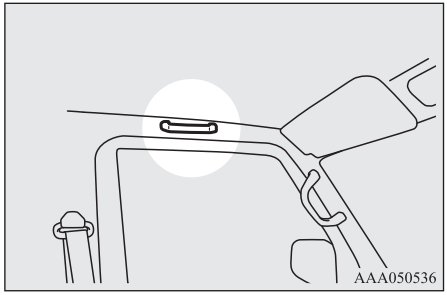
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。
- ドリンクホルダーに手をかけて乗り降りしないでください。
  ドリンクホルダーが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アシストグリップ

タイプ別装備

J00912901457

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。



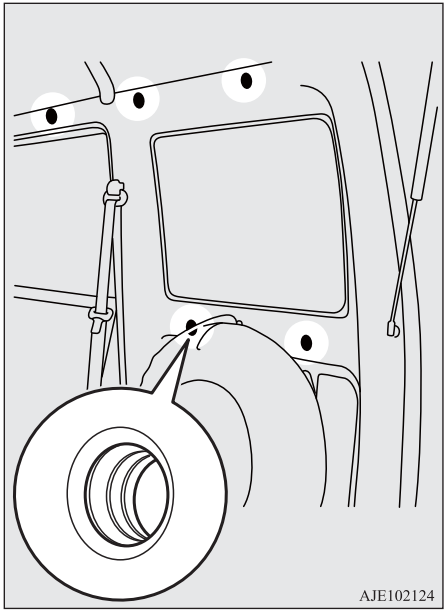
⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

ユーティリティーナット

J00915700026

荷室の図の位置に市販のフックなどを取り付けられるネジ穴があります。(合計10箇所)
フックなどを取り付ける場合，吊り下げる荷物の重さは3kg以下としてください。



ネジ穴のサイズ

ネジ穴の径：M6 (6 mm)
ピッチ　　：1.0 mm

フロアカーペット

タイプ別装備

J00922801130

お客様のお車には，専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

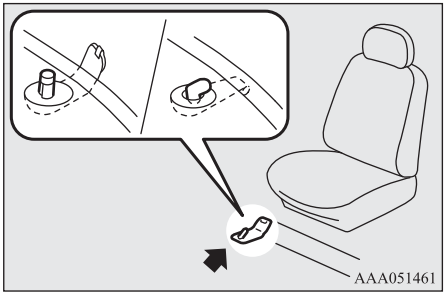
J00922901274

床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。つぎの手順で確実に固定してください。

1. フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し，確実に固定します。

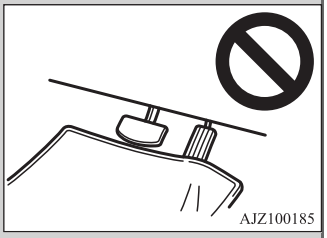
アドバイス

- 車種により，固定クリップ・ピンの形状や各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は，日産販売会社にお問い合わせください。



⚠警告

- お客様のお車専用のフロアカーペットを，床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときはつぎのことをお守りください。
  - 日産純正品であっても，他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
  - フロアカーペットでペダルを覆わない。



  - フロアカーペットを重ねて敷かない。
  - フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
  - 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
  - フロアカーペットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない。
- 運転する前につぎのことを確認してください。

⚠警告

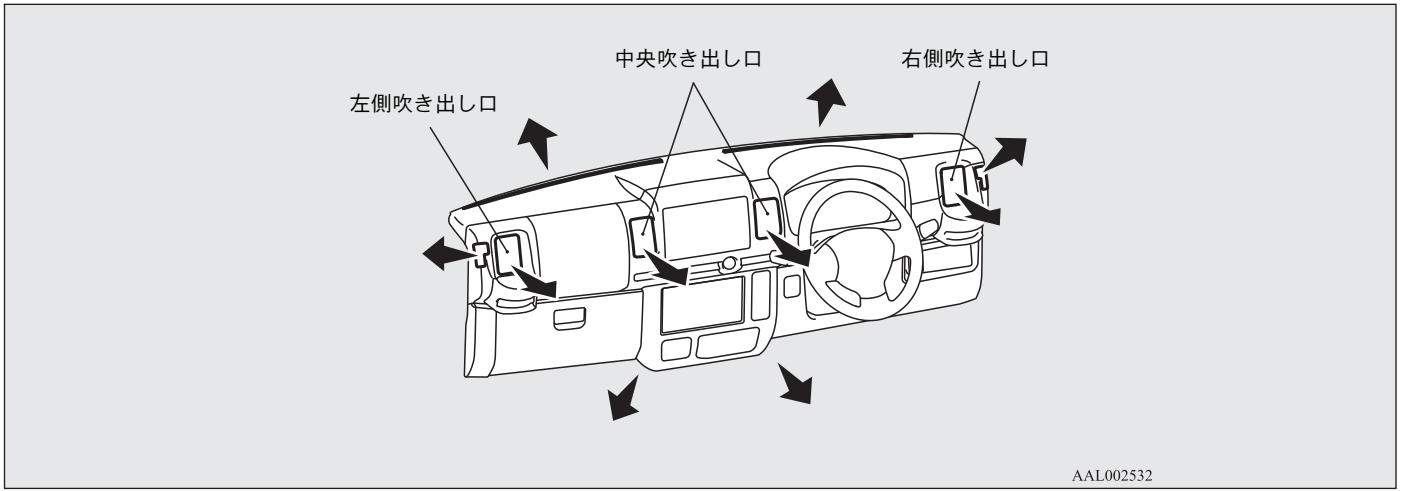
- フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアカーペットを取り外した後は必ず確認する。
- パワーユニット停止時およびセレクターレバーがⓅのときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアカーペットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する。

エアコン

吹き出し口 11-2
マニュアルエアコン 11-4
エアコンの上手な使い方 11-9
クリーンエアフィルター 11-10
充電中のエアコンの使い方 11-10
プレ空調 11-11

吹き出し口

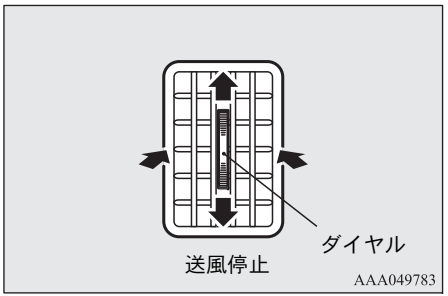
J01000100626



風向き調整

J01000301830

ダイヤルを動かして上下の風向きを調整します。
左右の風向きは吹き出し口の左側，または右側を押して調整します。
また，ダイヤルを下側いっぱいに動かすと送風を停止します。



アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは日産販売会社で点検を受けてください。

吹き出し口の切り換え

J01000400847

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

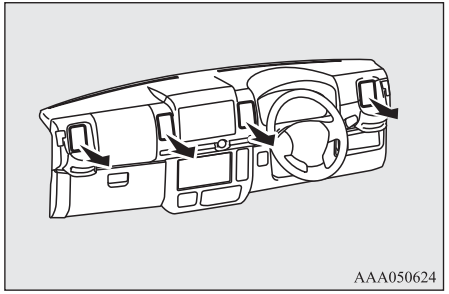
→「吹き出し口切り換えダイヤル」P.11-6

→: 風量弱

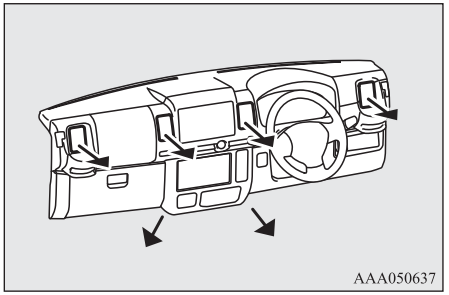
➔: 風量中

➔: 風量強

上半身に送風したいとき



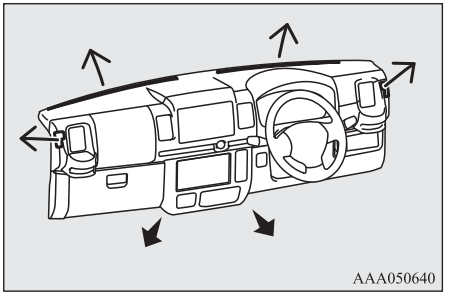
上半身と足元に送風したいとき



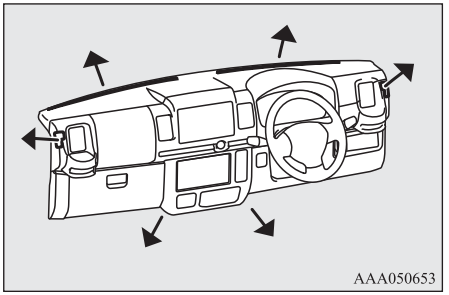
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く， と の間にすると足元へ多く送風されます。
- 夏期，足元付近に暑さを感じる場合は吹き出し口切り換えダイヤルを の位置にセットし送風すると効果的です。

足元に送風したいとき



足元とウインドウガラスに送風したいとき

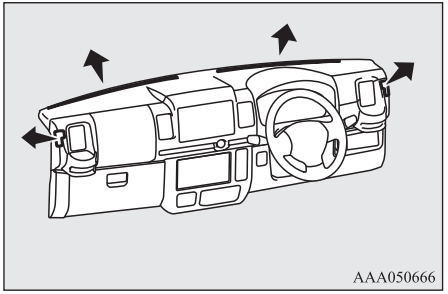


11

アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルをと  の間にすると足元へ多く，と  の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

 ウインドウガラスに送風したいとき



マニュアルエアコン

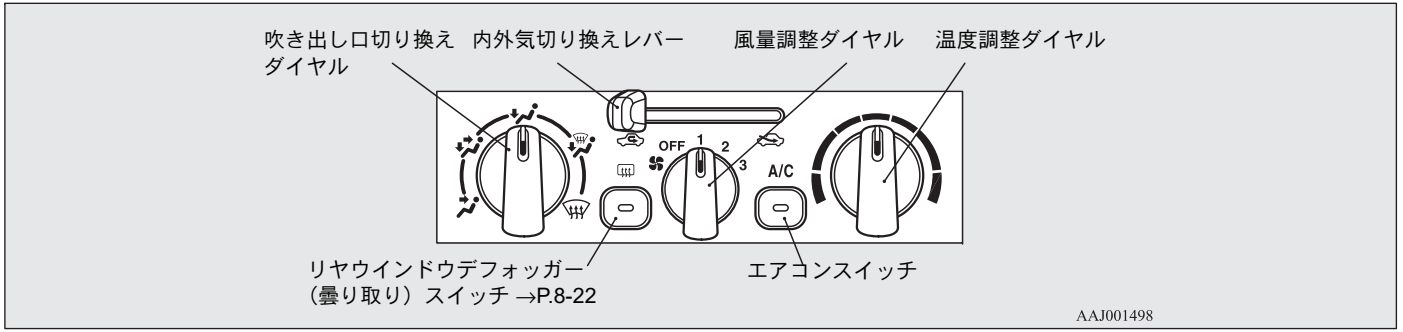
J01000501568

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに使用できます。

11

アドバイス

- 駆動用バッテリー残量計の目盛が 0 のとき，またはパワーダウン警告灯が点灯しているときは，ダイヤルまたはスイッチを操作しても冷房／暖房効果を得られないことがあります。また，曇り取り効果も低下することがあります。
  →「駆動用バッテリー残量計」P.8-8
  →「パワーダウン警告灯」P.8-12
- 普通充電または急速充電中にパワースイッチをACCまたはONにするとエアコンを使用することができます。→「充電中のエアコンの使い方」P.11-10



- スイッチの使い方 P.11-5
- 目的に合った使い方
  - 暖房したいときは P.11-7
  - 冷房したいときは P.11-7
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは P.11-7
  - 曇り止めと暖房を同時にしたいときは P.11-8
  - 換気したいときは（冷暖房を使用しない場合）P.11-8
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは P.11-9

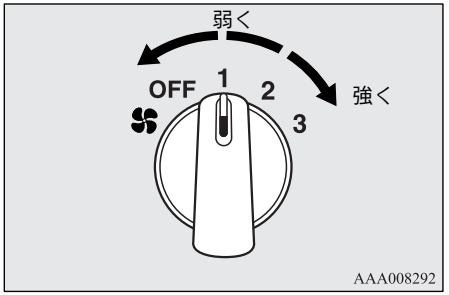
スイッチの使い方

J01000600012

風量調整ダイヤル

J01000700185

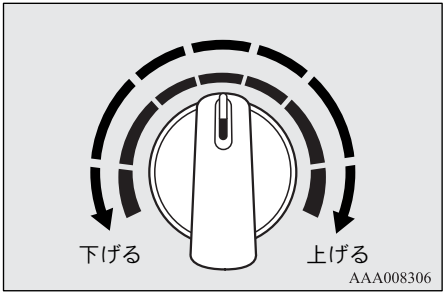
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

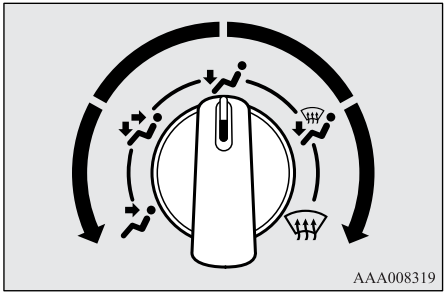


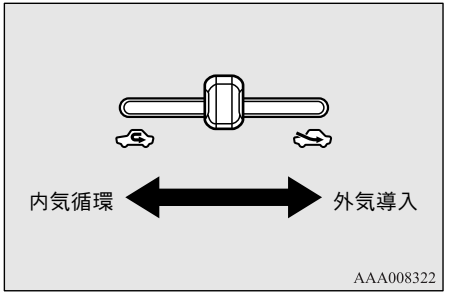
温度調整ダイヤル

J01000900318

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。







アドバイス

- エアコンが作動していない状態で，ダイヤルを冷房側（青色の範囲）へ動かしても送風温度は変わりません。

11 吹き出し口切り換えダイヤル

J01001100261

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P.11-3

⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
→「内外気切り換えレバー」P.11-6

内外気切り換えレバー

J01001400046

外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。

- 通常走行時
- 早く冷房したいときや外気が汚れているとき

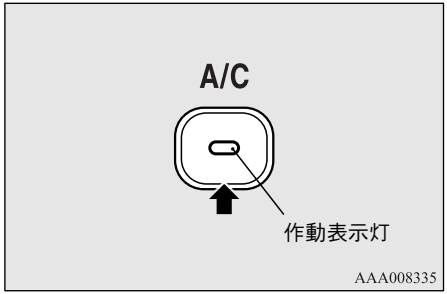
⚠注意

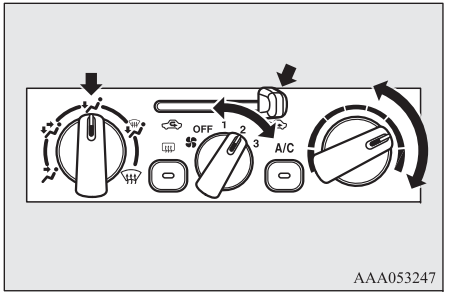
- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいとき内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

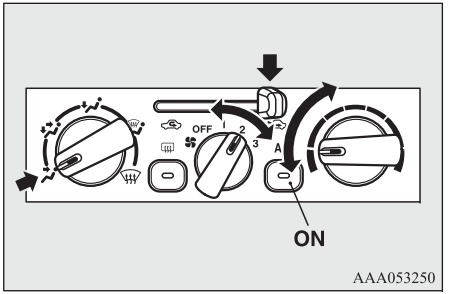
エアコンスイッチ

J01001500278

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。







目的に合った使い方

J01001700010

暖房したいときは

J01001800356

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを🌬にします。
2. 温度調整ダイヤルを暖房側（赤色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルが🌬のとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。

冷房したいときは

J01001900302

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを🌬にします。
2. 温度調整ダイヤルを冷房側（青色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。
5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。

⚠注意

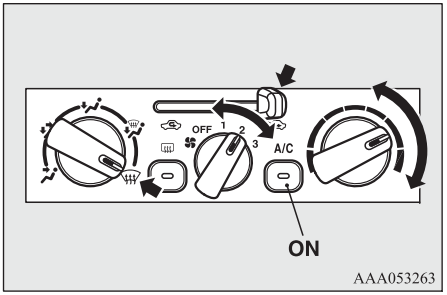
- 早く冷房したいとき内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01002100398

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを🌫(曇り取り）にします。
2. 温度調整ダイヤルを暖房側（赤色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。



早く曇り，霜を取りたいときは風量調整ダイヤルで風量を最大にし，温度調整ダイヤルで温度を最高に設定して，エアコンを使用してください。

⚠注意

- 🌬と🌬の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

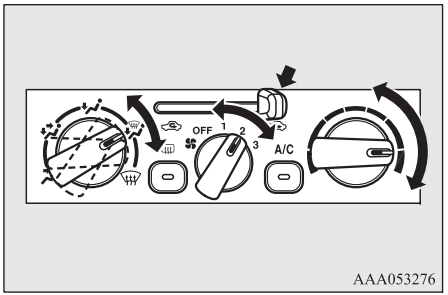
アドバイス

- 🌬位置でエアコンを使用しているときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01002200331

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを🌬にします。
2. 温度調整ダイヤルを暖房側（赤色の範囲）に設定し，お好みの温度になるよう調整します。
3. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



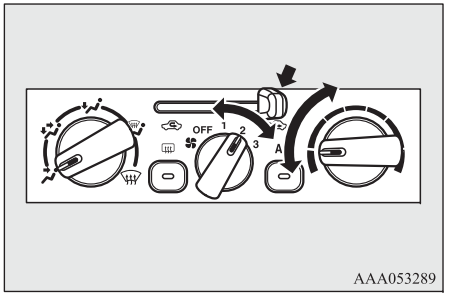
アドバイス

- 曇り止めを優先するときは，吹き出し口切り換えダイヤルを🌬と🌬の間に，暖房を優先するときは，🌬と🌬の間にしてください。
- エアコンを使用すると除湿効果があります。

換気したいときは（冷暖房を使用しない場合）

J01002300316

1. 温度調整ダイヤルを冷房側（青色の範囲）に設定します。
2. 内外気切り換えレバーを外気導入にします。
3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



アドバイス

- 冷暖房を使用しないと，エアコンによる駆動用バッテリーの電力消費が抑えられ，航続可能距離の低下が小さくなります。

排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01009600060

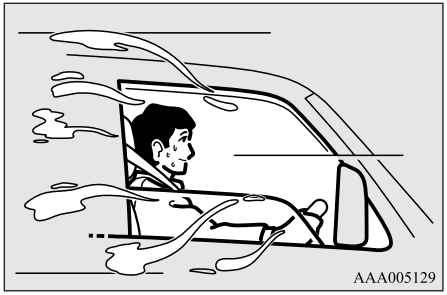
トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えレバーを内気循環にします。
→「内外気切り換えレバー」P.11-6

エアコンの上手な使い方

J01009401850

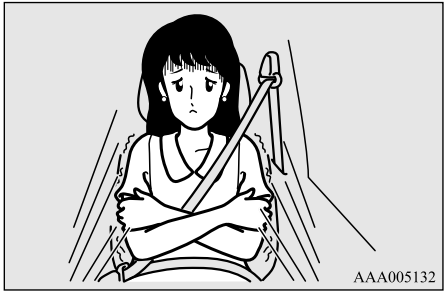
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。



冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。



定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，グローブボックス下の右側面に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填したり，冷媒量が少ないまま使用を続けた場合，エアコンコンプレッサが故障するおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

航続可能距離を延ばすために

J01013100037

エアコンは駆動用バッテリーの電力を消費するため，過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。
冷やしすぎや暖めすぎにならないように，風量をこまめに絞り，さらに設定温度を控えめに調整してください。

クリーンエアフィルター

J01009500610

ほこりなどを取り除くため，内気循環のときに効果のあるフィルターを装着しています。フィルターにほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に清掃することをおすすめします。
→「エアフィルターの清掃」P.13-4

アドバイス

- 吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは清掃時期ですのでフィルターの清掃をしてください。（清掃時期の目安:1年または12,000kmのいずれか早いとき）

充電中のエアコンの使い方

J01014400053

普通充電または急速充電中にエアコンを使用することができます。

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電中にエアコンを使用しているときに乗車しないでください。医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

- 充電中にエアコンを使用しているときにシートヒータースイッチやリヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチをONにすると，シートヒーターやリヤウインドウデフォッガー（曇り取り）を作動させることができます。
  →「シートヒーター」P.7-5
  →「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P.8-22
- 充電中にエアコンを使用すると，駆動用バッテリーへの充電が制限されるため，つぎのようになります。
  - 普通充電時：
    電力消費量が充電量よりも大きくなり，駆動用バッテリーへ充電されず，駆動用バッテリーの充電量が低下する場合があります。
  - 急速充電時：
    充電時間が長くなる場合があります。また，急速充電器の仕様によっては，充電されず，充電量が低下する場合があります。
- 充電中にエアコンを使用すると，強い電磁波またはノイズによりラジオが聞こえなくなることがあります。

使用するときは

J01014500041

1. 普通充電または急速充電を開始します。
   →「普通充電のしかた」P.5-4
   →「急速充電のしかた」P.5-14
2. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。

アドバイス

- 充電ランプが点灯していないと，エアコンが作動しません。充電が正しく行われているか確認してください。

3. パワースイッチをLOCKからACCまたはONにします。

アドバイス

- 充電中にエアコンを使用しているときは，キーレスエントリー機能でドアおよびテールゲートを施錠することができません。盗難などを防ぐため，車から離れないでください。

4. エアコンの各ダイヤルおよびスイッチをお好みの設定にします。
   →「目的に合った使い方」P.11-7

アドバイス

- 駆動用バッテリー残量計の目盛りが0のとき，エアコンは作動しません。また，充電中にエアコンを使用しているときに駆動用バッテリー残量計の目盛りが0になると，エアコンが停止して，送風のみに切り換わります。

アドバイス

- つぎのようなときに，充電中のエアコンで得られる効果が小さくなることがあります。
  - 外気温が非常に高いとき，または低いとき
  - 日射が強いとき
  - 駆動用バッテリーが満充電付近のとき
- 外気温が低いときは，エアコンスイッチを押しても充電中にエアコン（除湿機能）が作動しない場合があります。

停止するときは

J01014600042

パワースイッチを LOCK にします。

アドバイス

- つぎの場合でも充電中にエアコンが停止します。このとき，必ずパワースイッチを LOCK にしてください。パワースイッチを ACC または ON のままにしておくと，補機用バッテリーが上がることがあります。
  - 充電が完了したとき *
  - 普通充電コネクターを取り外したとき
  - 急速充電器側で充電停止操作を行ったとき

  *: 急速充電器側に設定されている停止条件 （充電量・充電時間）となったときを含む

アドバイス

- 充電中にエアコンが停止したあとも，数秒間送風が続くことがあります。

プレ空調

タイプ別装備

J01013701043

普通充電ケーブル接続状態，または急速充電中の乗車前にエアコンを運転しておくことで，乗車時の快適性を向上，または視界確保を容易にすることができます。

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は，充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。また，急速充電器は使用しないでください。充電や電磁波が医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠警告

- 車内にお子さまや介護を必要とされる方，ペットなどがいるときは使用しないでください。
  プレ空調を設定しても，システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。炎天下では車内の温度は急速に上昇し，熱中症や脱水症状になるおそれがあります。また，外気温が低い場合は，車内の温度は急速に下がることがあります。
  最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

アドバイス

- 周囲の環境や状況がつぎのようなときは，キーからの電波を車両が受信できず，プレ空調が正しく作動しない場合があります。あらかじめキーレスエントリーが作動可能かどうか確認して使用してください。
  - 近くに TV 塔や変電所，放送局など強い電波を発する設備があるとき
  - キーの電池が消耗しているとき
- プレ空調が作動しているときは，冷却ファンやエアコンコンプレッサーの作動音が聞こえることがありますが，異常ではありません。

アドバイス

- シートヒータースイッチまたはリヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチを ON にしておくと，プレ空調作動中に作動させることができます。
  →「シートヒーター」P.7-5
  →「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P.8-22
- エアコンの風量調整ダイヤルがOFFのときは，プレ空調の開始操作を行ってもプレ空調は作動しません。
  このとき，シートヒータースイッチやリヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチが ON の場合，各スイッチの表示灯が数秒間点灯しますが異常ではありません。

11 使用するときは

J01014700027

プレ空調の作動条件はつぎのとおりです。

- セレクターレバー：Ⓟ 位置
- パワースイッチ：“LOCK” 位置でキーが抜かれている
- 充電状態：普通充電ケーブル接続状態，または急速充電中
- すべてのドアとテールゲート：閉

1. 降車する前など，事前にエアコンの各ダイヤルおよびスイッチをお好みの設定にします。
   →「マニュアルエアコン：目的に合った使い方」P.11-7

アドバイス

- プレ空調は，設定されたエアコンパネルの状態にしたがって作動します。必ず，風量調整ダイヤルがOFF以外の位置にあることを確認してください。

2. キーのプレ空調スイッチを2秒以内に続けて 2 回押します。



3. プレ空調が作動すると，すべてのドアおよびテールゲートが施錠され，非常点滅灯が 3 回点滅します。

アドバイス

- プレ空調の作動時間は最長で 30 分です。30 分経過すると自動的に停止します。乗車前の約30分以内に作動させると効果的です。
- プレ空調は，車両外部から供給される電力で作動します。
- つぎの場合はプレ空調で得られる効果が小さくなったり，プレ空調作動後に駆動用バッテリーの充電量が低下することがあります。
  - 外気温が非常に高いとき，または低いとき
  - 日射が強いとき
  - 駆動用バッテリーが満充電付近のとき
- プレ空調を使用すると，駆動用バッテリーへの充電が制限されるため，つぎのようになります。
  - 普通充電時：
    電力消費量が充電量よりも大きくなり，駆動用バッテリーへ充電されず，駆動用バッテリーの充電量が低下する場合があります。
  - 急速充電時：
    充電時間が長くなる場合があります。また，急速充電器の仕様によっては，充電されず，充電量が低下する場合があります。
- 駆動用バッテリー残量計の目盛りが 0 のとき，エアコン（冷房・暖房）は作動せず，送風のみ作動します。

アドバイス

- 普通充電コネクターが車両へ接続されていても，普通充電ケーブルの家屋側電源が OFF になっている（家屋側のプラグ外れなど）場合，一旦プレ空調は開始し，非常点滅灯も点滅しますが，数秒後にプレ空調は停止します。

途中で停止するときは

J01014800031

つぎのいずれかの方法で停止することができます。

- パワースイッチをLOCK以外の位置にする。
- エアコンの風量調整ダイヤルを OFF にする。
- 普通充電コネクターを取り外す。
- 急速充電器側で充電停止操作をする。

アドバイス

- つぎの場合でもプレ空調が停止します。
  - プレ空調作動中に満充電または充電器側の充電終了タイマーなどにより，充電が終了したとき
  - プレ空調作動中に停電などにより充電が異常停止したとき
- リモコンスイッチでプレ空調を停止することはできません。

アドバイス

- プレ空調の作動中にドアまたはテールゲートを開けてもプレ空調は停止しません。
- エアコンの風量調整ダイヤルをOFFにすると，プレ空調はすぐに停止します。このとき，シートヒータースイッチやリヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチが ON の場合，各スイッチの表示灯は数秒後に遅れて消灯しますが異常ではありません。

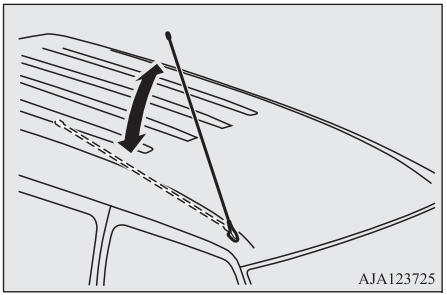
オーディオ

アンテナ 12-2

アンテナ

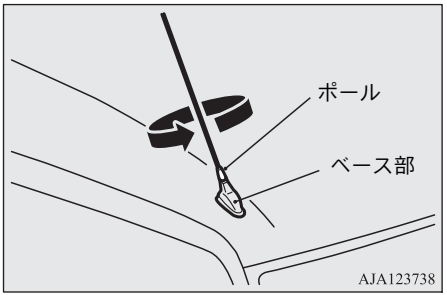
J01102202121

ラジオを聞くときは，アンテナをいっぱいまで起こしてからお聞きください。



取り外し方，取り付け方

取り外すときはポールを反時計回りにまわします。



取り付けるときは時計回りにまわしてポールをベース部にねじ込み，しっかりと取り付けてください。

⚠注意

- アンテナを倒したまま運転しないでください。車体に当たって音が発生したり，ルーフが損傷するおそれがあります。

アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは，アンテナが当たらないように倒してください。

簡単な整備・車のお手入れ

ウォッシャー液の点検・補給 13-2
ブレーキ液タンク 13-2
タイヤメンテナンス 13-3
エアフィルターの清掃 13-4
内装品のお手入れ 13-4
外装品のお手入れ 13-5

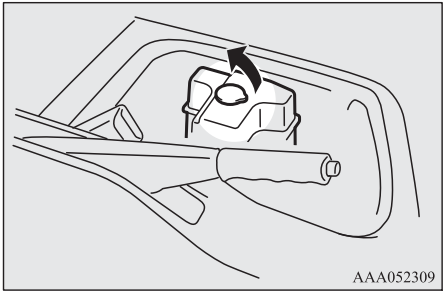
ウォッシャー液の点検・補給

J01200202115

タンク内の液面の位置で液量を点検してください。

フロント・リヤ共用

タンクは助手席シートの下にあります。点検をするときは，助手席シートを操作して行います。
→「点検口（運転席／助手席下）」P.6-10



ウォッシャー液が不足している場合は，日産純正ウインドウォッシャー液を気温に適した濃度になるように補給してください。
希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

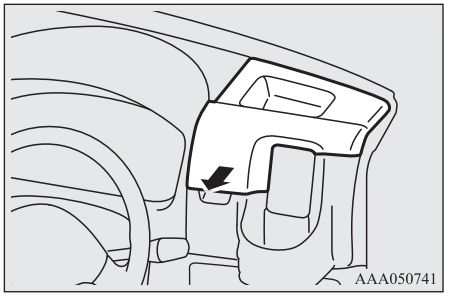
⚠注意

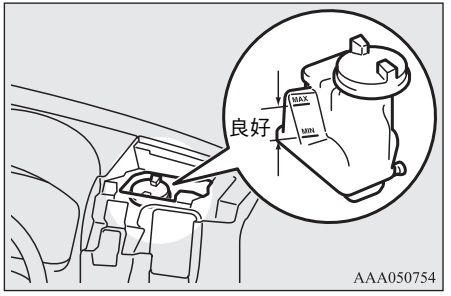
- ウォッシャー液以外の液体を入れないでください。石けん水，ガラス洗浄液，冷却水なども使わないでください。ポンプの故障，ノズルの詰まり，塗装のしみなどの原因となります。
- ウォッシャーノズル内に汚れが付着すると，ウォッシャー液が正しくガラスに噴射されないことがあります。ピンなどで汚れを取り除くとノズルが損傷するおそれがありますので，日産販売会社にご相談ください。
- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

ブレーキ液タンク

J01200300066

運転席側インストルメントパネル上部を手前に引いて外し，ブレーキ液の量を点検してください。





アドバイス

- ブレーキ液の量の点検，補給方法は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

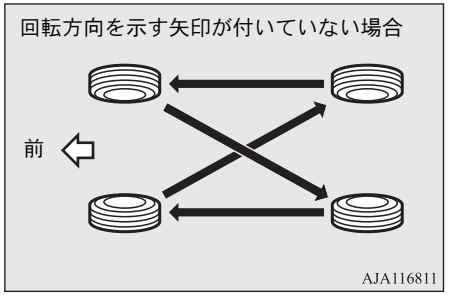
タイヤメンテナンス

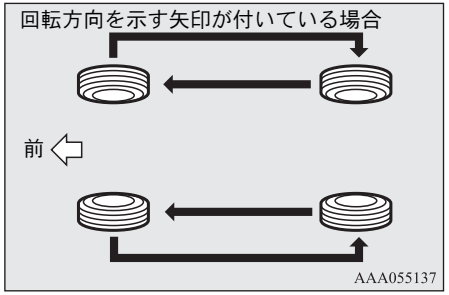
J01202100143

タイヤローテーション

J01202401390

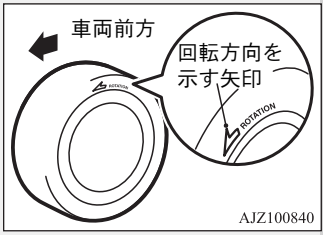
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。





⚠注意

- 応急用スペアタイヤ（タイプ別装備）はローテーション作業を行うとき，外したタイヤのかわりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。
- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4 輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

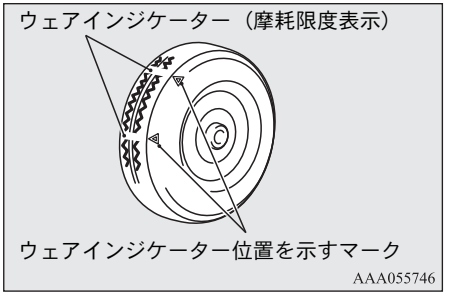


- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202501157

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600018

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P.16-6

⚠警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

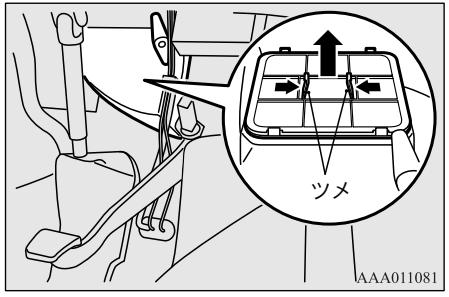
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

エアフィルターの清掃

J01201800039

エアフィルターは運転席足元にあります。



1. ツメを内側に押さえながらフィルターを取り外します。
2. 掃除機などで大きなほこりを取り除いた後，水洗いします。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。
4. フィルターの裏表に注意して，ツメを内側に押さえながらフィルターを取り付けます。

⚠注意

- エアフィルターを取り外したり取り付けたりするときに，けがをしないように注意してください。

アドバイス

- エアフィルターを装着せずにヒーター・エアコンを使用しないでください。故障の原因となる事があります。

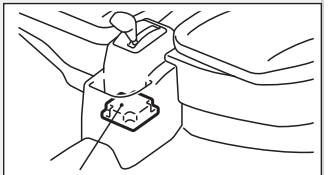
内装品のお手入れ

J01200602236

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

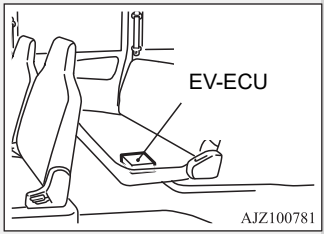
⚠注意

- 車内を直接水洗いすることはできるだけしないでください。やむを得ず洗車をする場合は，つぎのことをお守りください。
  - SRS エアバッグコントロールユニットおよびその周辺に水がかからないように行ってください。
    水がかかると SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。



⚠注意

- EV-ECUおよびその周辺に水がかからないように行ってください。
  水がかかると EV-ECU が正常に作動せず，走行や充電ができなくなるおそれがあります。



- ブレーキペダルの上部に取り付けてある電動パワーステアリング ECU およびその周辺に水がかからないように行ってください。
  水がかかると電動パワーステアリングが正常に作動せず，ハンドルが重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- 見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

シートベルトのお手入れ

J01204800056

1. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 2.5% 水溶液を含ませます。
2. ベルトを軽く叩くようにして汚れを拭き取ります。
   またリングに汚れが付着している場合は，この汚れを拭き取ってください。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤を拭き取ります。
4. お手入れのために引き出したベルトを巻き取らせる前に，十分に乾燥させ，水分が残っていないことを確認してください。

アドバイス

- ベルトやリングが汚れている場合や，ベルトがスムーズに巻き取られなくなってきたときに，清掃を実施してください。

外装品のお手入れ

J01200701155

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202802072

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠警告

- 駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。
  火災，感電の原因となります。
- 洗車をする前には，充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認してください。
  リッドが開いていると充電装置に水がかかり，火災，感電の原因となります。
- パワーユニットルーム内には水をかけないでください。火災，感電の原因となります。

⚠注意

- 洗車時はパワースイッチを LOCK にしてください。
- 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。
  パワーユニットの不調や故障の原因になります。
- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがあります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約 70cm 以上）
  - ドアガラスまわりを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約 70cm 以上）

アドバイス

- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，アンテナおよびドアミラーを格納してください。
  リヤアンダーミラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領に従って洗車してください。
- お客様のお車にはインテリジェント　エマージェンシーブレーキおよび踏み間違い衝突防止アシスト（前進のみ）が装備されています。自動洗車機を使用するとき，予期しない作動を防ぐために，インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチを押して，システムを OFF にしてください。
  →「インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチ」P.9-24

ワックスのかけ方

J01202901496

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 日産純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。



ウインドウガラスのお手入れ

J01203001351

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナーなど）で清掃してください。

アドバイス

- 日産純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100104

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

番号灯のお手入れ

J01203300038

番号灯の内側が汚れたり，水がたまった場合は，まず車体から番号灯を外し，つぎにバルブを外してからレンズを水洗いしてください。
→「番号灯」P.15-44

アドバイス

- レンズの表面をワックス，ベンジンやガソリンなどの有機溶剤で拭いたり，硬いブラシなどでこすったりしないでください。破損したり劣化を早める原因となります。
- 番号灯を外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。

樹脂部品のお手入れ

J01201501307

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。

ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  また，ランプ類にコーティング剤などのケミカル類を付着させると，ひび割れが発生し，ランプ内部へ水が浸入する原因になりますので，絶対に避けてください。

  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。
- [未塗装の材料色（ホワイト）バンパーのお手入れについて]
  汚れが落ちにくい場合は，日産純正ワックスを使用してください。
  未塗装の材料色（ホワイト）バンパーに，日産純正ワックスを使用することは問題ありません。

塗装の補修

J01201701178

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 日産純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 14-2
走行前の点検 14-2
雪道，凍結路の走行 14-3
寒冷地での駐車 14-4
タイヤチェーン 14-4

冬期前の点検と準備

J01300102580

冷却水・温水ヒーター液

工場出荷時は不凍液濃度50%の冷却水および温水ヒーター液を充填しているため，濃度の調整は不要です。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（日産純正品）は気温に適した濃度に調整してください。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P.13-2

補機用バッテリー

液量，比重を確認し，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず日産純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
→「タイヤチェーン」P.14-4
冬用タイヤに取り替えるときは，4 輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P.15-24

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず日産純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300201861

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ガラス，ランプ類，車の屋根の雪や霜を落とす

走行前にガラスやランプ類に付いた雪や霜および車の屋根に積もった雪を落としてください。
また，ワイパーブレードがガラスに凍りついていないか確認してください。

⚠注意

- 車の屋根に雪が積もったまま走行すると，走行中ガラスに雪が落ちて視界の妨げとなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ワイパー作動中に雪が落ちた場合，ワイパーの故障の原因となります。
- 冬季はワイパーブレードが凍結しガラスに張り付くことがあります。ガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを痛めたり，ワイパーモーターの故障の原因となります。フロントガラスの場合は，ヒーターで暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P.11-7

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300301729

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにしてください。
- タイヤチェーンを後輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

⚠注意

- 回生ブレーキは駆動用バッテリーの温度が低いほど効きが弱くなり，極寒時では効かなくなる場合があります。
  このとき，回生ブレーキ力警告灯が点滅します。
  →「極寒時の注意事項と対処方法」P.2-7
  →「回生ブレーキ力警告灯」P.8-11

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。
車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので，下回りを中心に早めに洗車してください。

⚠注意

- 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。
  パワーユニットの不調や故障の原因になります。

寒冷地での駐車

J01300401733

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，セレクターレバーを(P) に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで屋根などのへこみや車体が損傷するおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300702254

後輪駆動車ですので，タイヤチェーンは後輪に取り付けてください。

⚠注意

- タイヤチェーンは前輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず日産純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
日産純正以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤ（タイプ別装備）にはタイヤチェーンは装着できません。後輪がパンクしたときは前輪を後輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。
  また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。
- 車体の端部などで手にけがをしないように作業してください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは30km/h 以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 15-2
ブザーが聞こえたときは！ 15-7
こんなことでお困りのときは！ 15-8
故障したときは！ 15-10
発炎筒を使うときは！ 15-10
工具とジャッキ 15-11
ジャッキアップのしかた 15-13
パンクタイヤ応急修理キット 15-15
スペアタイヤ 15-21
タイヤ交換のしかた 15-24
補機用バッテリーが上がったときは！ 15-27
けん引 15-30
水没したときは！ 15-33
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 15-34
ヒューズが切れたときは！ 15-34
バルブ（電球）が切れたときは！ 15-37

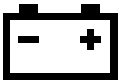
警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400102914

ただちに安全な場所に停車し，車外に退避してから，日産販売会社へ連絡してください。

 車外退避	駆動用バッテリー 熱暴走警告灯	P.8-13

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの日産販売会社へ連絡してください。
ブレーキ警告灯は駐車ブレーキをかけたままのときも点灯します。駐車ブレーキを解除し，消灯すれば異常ではありません。

	ブレーキ警告灯 （ブレーキ警告ブザー）	P.8-10
	補機用バッテリー 充電警告灯	P.8-11
	パワーユニット 警告灯	P.8-12
	セレクターレバー 位置表示	P.9-7

ただちに最寄りの日産販売会社へ連絡してください。

	SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P.7-11，7-19

できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

	電動パワーステアリング警告灯	P.9-16

安全な場所に停車し，セレクターレバーを(P)に入れてパワースイッチを LOCK にしてください。
再度パワーユニットを起動し，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。
ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に停めて最寄りの日産販売会社に連絡してください。

	ABS 警告灯	P.9-14	 および 	VDC（ビークルダイナミクスコントロール）作動表示灯（点灯） および VDC OFF 表示灯	P.9-18

	VDC 作動表示灯 （点灯）	P.9-13

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く日産販売会社へ連絡してください。

 および 	インテリジェント エマージェンシー ブレーキ／踏み間違い 衝突防止アシスト 作動表示灯 （点灯） および インテリジェント エマージェンシー ブレーキ／踏み間違い 衝突防止アシスト OFF 表示灯 （点灯）	P.9-31		LDW（車線逸脱警報） 警告灯（黄色）（点灯）	P.9-35
	ハイビームアシスト 警告灯 （黄色） （点灯）	P.8-18			

15

参照ページをお読みになり処置してください。

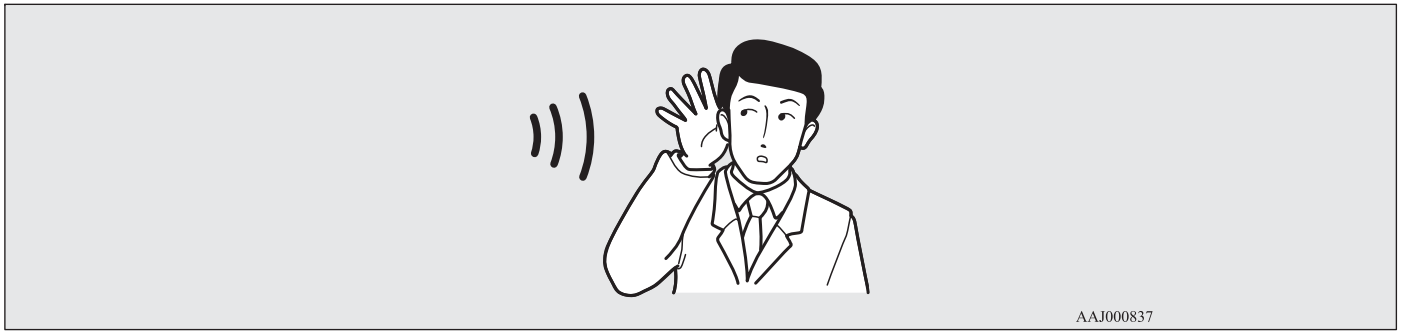
	シートベルト 警告灯	P.7-10		駆動用バッテリー 残量警告灯	P.8-8
	半ドア警告灯	P.8-12		パワーダウン 警告灯	P.8-12
	充電ランプ （点滅）	P.5-21		回生ブレーキ力警告灯 （点滅）	P.8-11
	車両接近通報装置 [AVAS] 警告灯	P.9-12			

定期点検時期が近づいたことを知らせます。日産販売会社で点検を受けてください。

	サービス リマインダー	P.8-5

ブザーが聞こえたときは！

J01400201820

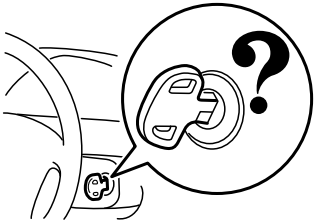


誤操作や盗難防止などのため警報ブザーで注意を促す機能が装備されています。参照ページをお読みになり正しく操作してください。

現象	機能	参照ページ
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る。	「パワースイッチ切り忘れ警告ブザー」 「キー抜き忘れ警告ブザー」 「ライト消し忘れブザー」	→P.6-5 →P.6-5 →P.8-15
パワースイッチを ON にしたときにブザーが鳴る。	「シートベルト警告」	→P.7-10
走行中にブザーが鳴る。	「シートベルト警告」 「半ドア警告灯」	→P.7-10 →P.8-12
車を後退しようとするとブザーが鳴る。	「後退（リバース）ブザー」	→P.9-8
ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むとブザーが鳴る。	「ブレーキ警告ブザー」	→P.8-11
セレクターレバーを操作したときにブザーが鳴る。	「充電コネクター抜き忘れ警告ブザー」	→P.5-4

こんなことでお困りのときは！

J01400303421

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P.3-10
走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯した	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは」 → P.3-13
パワースイッチが回らない。 	**LOCK から ACC に回らない** ハンドルを軽く左右に動かしながらパワースイッチを回してください。 **ACC から LOCK に回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーを抜くときは」→ P.9-5
セレクターレバーがⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 パワースイッチが ON になっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P.9-6

現象	処置
雨の日，湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」 → P.11-7
パンクした。 	1. あわてずに，ハンドルをしっかり持ち，安全な場所に車を停止します。 2. パンクタイヤ応急修理キット付き車は，パンクしたタイヤの応急修理をします。 「パンクタイヤ応急修理キット」→ P.15-15 スペアタイヤ付き車は，スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P.15-24
●パワーユニットが起動しない。 ［READY（走行可能）表示灯が点灯しない。］ ●ライトが点灯しない，暗い。 ●ホーンが鳴らない，音が小さい。 ●充電ができない	補機用バッテリーが上がっているおそれがあります。 「補機用バッテリーが上がったときは！」→ P.15-27
タイヤがスリップして発進できない。 （ぬかるみ，雪道，凍結路などの発進時）	1. 毛布か布などがあるときは，それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。そして，ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 2. 何も滑り止めにするものがないときは，前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは，車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

故障したときは！

J01400401952

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，パワースイッチを ON にしてセレクターレバーをⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

脱輪などで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- パワースイッチをSTARTの位置で保持しても，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。

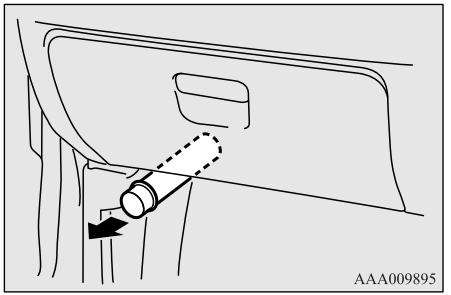
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400501517

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，日産販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。



⚠警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P.8-20
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）がありますので，有効期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

工具とジャッキ

タイプ別装備

J01400602023

⚠注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

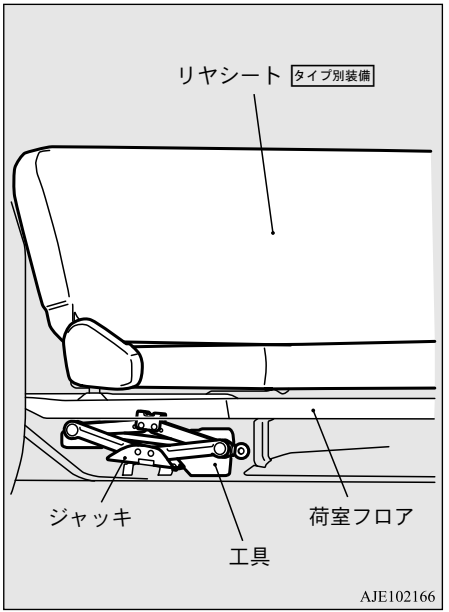
アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

J01405801313

荷室フロアの下に格納されています。

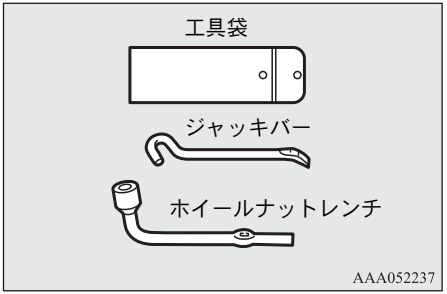


⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404301672



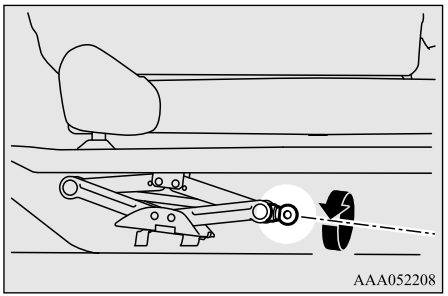
ジャッキ，工具の脱着

J01404201831

ジャッキ

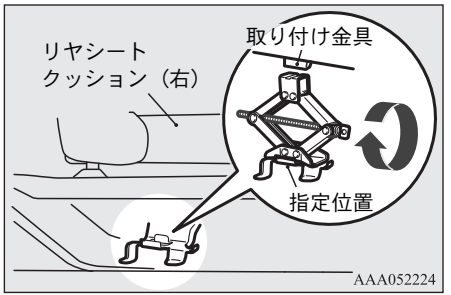
取り出すときは

ジャッキを矢印の方向に回して縮めてから取り出します。



格納するときは

1. ジャッキを縮めてから指定位置に置きます。
2. ジャッキを取り付け金具に当たるまで広げて確実に固定します。

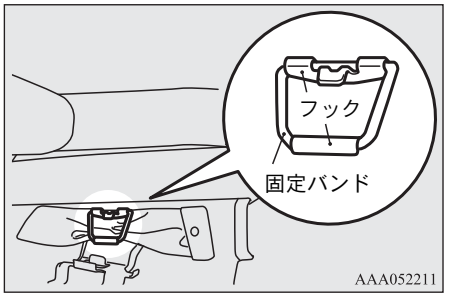


工具

J01408700042

取り出すときは

1. ジャッキを取り出します。
   →「ジャッキ，工具の脱着」P.15-12
2. 固定バンドをフックから外して，工具を取り出します。



15

格納するときは

取り出すときの逆の手順で行います。

ジャッキアップのしかた

J01400702880

⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

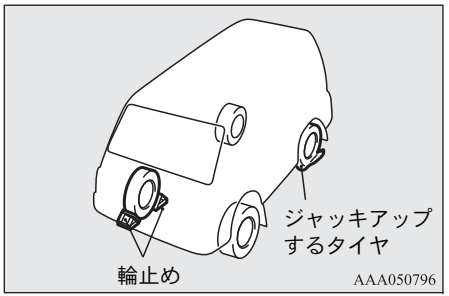
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。
  万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - READY（走行可能）表示灯を点灯させたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを(P)に入れて，パワースイッチを LOCK にします。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠注意

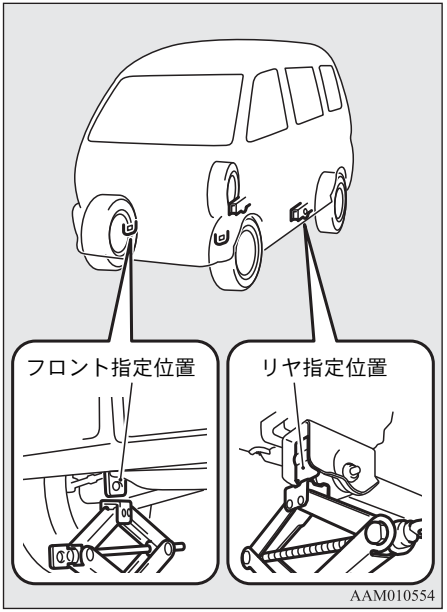
- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.15-11
6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

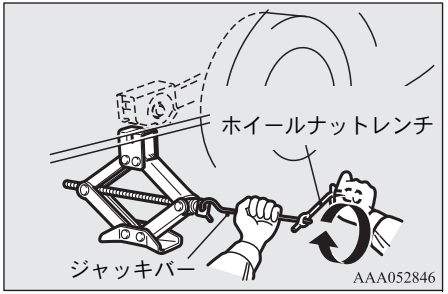
7. ジャッキ頭部がジャッキ指定位置に当たるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。



⚠警告

- ジャッキは，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. タイヤが地面から少し浮くまで，車体をジャッキアップします。
ホイールナットレンチの穴にジャッキバーを差し込んで静かに右に回します。



⚠注意

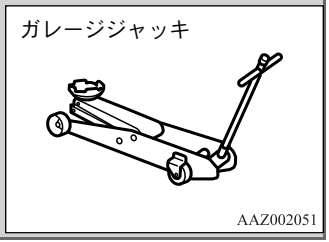
- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。
必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキを使用するときは

J01407100078

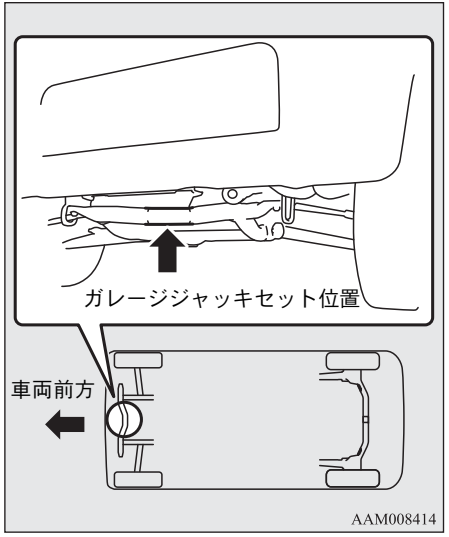
⚠警告

- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

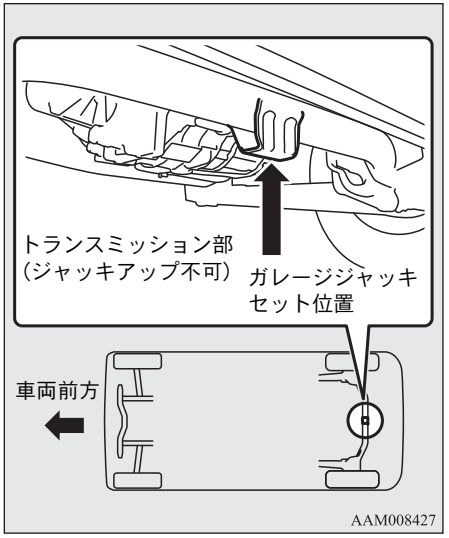


ガレージジャッキセット位置

フロント

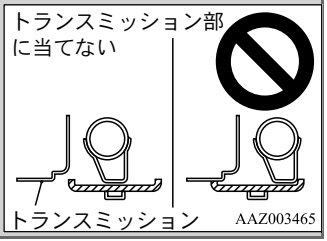


リヤ



⚠警告

- リヤ側をジャッキアップするときは，トランスミッション部にガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。トランスミッション部にガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。



パンクタイヤ応急修理キット

タイプ別装備

J01403801944

本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。
パンクタイヤ応急修理キット付き車には，スペアタイヤが搭載されていません。

⚠警告

- パンクタイヤ応急修理キットは必ず日産純正品を使用してください。

⚠注意

- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は，できるだけたくさんの水を飲み，ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり，皮膚に付いたりした場合は，水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは，医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは，車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

アドバイス

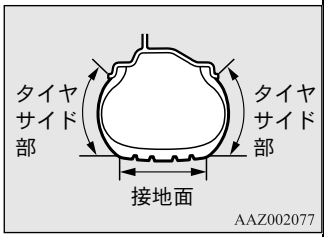
- つぎのような場合は，応急修理剤を使って修理することができません。
  日産販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

アドバイス

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）



- タイヤが 2 本以上パンクしているとき
- およそ 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- タイヤサイド部（接地面以外の部分）が損傷を受け，パンクしたとき



- 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
- ホイールが破損しているとき

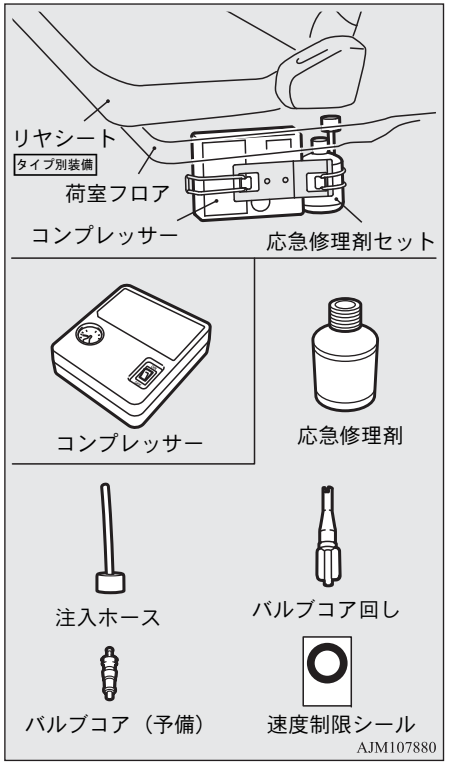
アドバイス

- タイヤに刺さった釘やネジなどは，抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると，おちないおそれがあります。
- 応急修理剤には有効期限がありますので，定期的に点検を行ってください。有効期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

15

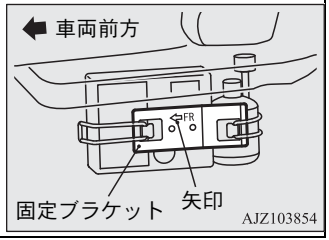
格納場所と内容

荷室フロアの下に格納されています。



アドバイス

- パンクタイヤ応急修理キットを格納するときは，コンプレッサーが入っていたビニール袋にコンプレッサーを収納し，車両前方と固定ブラケットに刻印されている矢印の向きが同じになるように，固定ブラケットの向きを合わせて固定してください。



応急修理のしかた

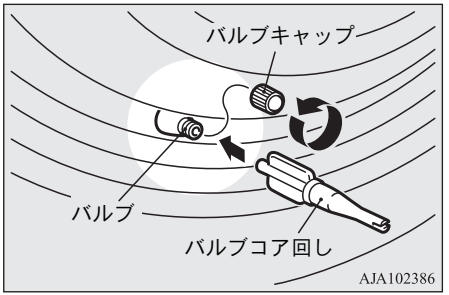
J01407301569

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，パワースイッチを LOCK にします。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，停止表示板などを車両後方に置きます。

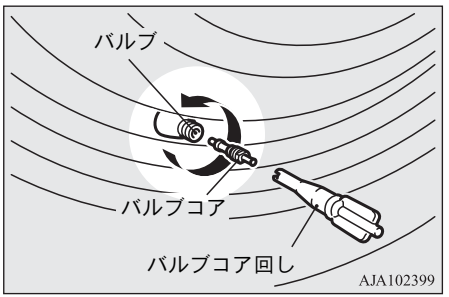
アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。

4. パンクタイヤ応急修理キットを取り出します。
5. タイヤのバルブからバルブキャップを外し，バルブコア回しを図のように押しあてて，タイヤの空気を完全に抜きます。



6. バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。
   取り外したバルブコアは，汚れないようにきれいな場所に保管します。

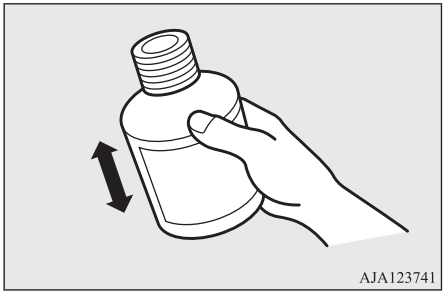


15

⚠注意

- バルブコアを外すとき，タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し，けがをするおそれがありますので，完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

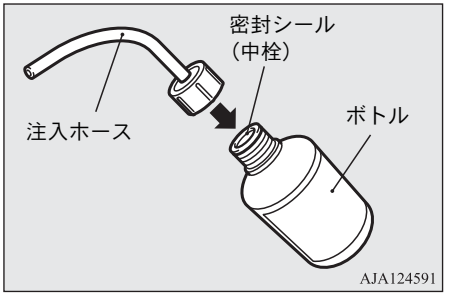
7. 応急修理剤のボトルをよく振ります。



アドバイス

- 寒冷時（0°C 以下）では，応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので，ボトルを振る前に車内などで温めてください。

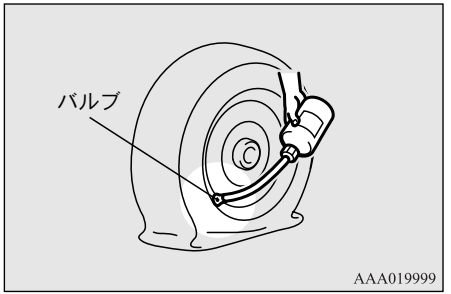
8. 応急修理剤の密封シール（中栓）をつけたまま注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと，密封シール（中栓）が破れ，修理剤が注入できる状態になります。



⚠注意

- 注入ホースをねじ込んだ後，応急修理剤のボトルを振ると，修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

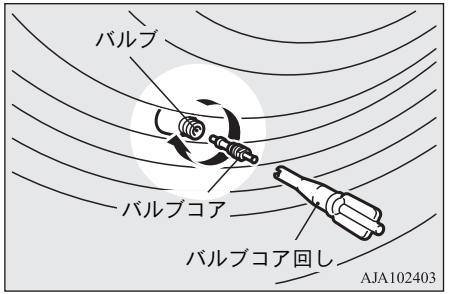
9. 注入ホースをバルブに差し込みます。応急修理剤のボトルを逆さまに持ち，手でボトルを何回も圧迫し，ボトル内のすべての修理剤をタイヤ内に注入します。



アドバイス

- 修理剤は，タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると，修理剤が入りにくい場合があります。

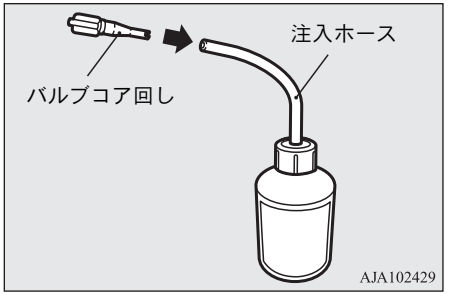
10.注入後，注入ホースをバルブから引き抜き，バルブコアをバルブに取り付け，バルブコア回しでしっかりと時計回りにねじ込んでください。



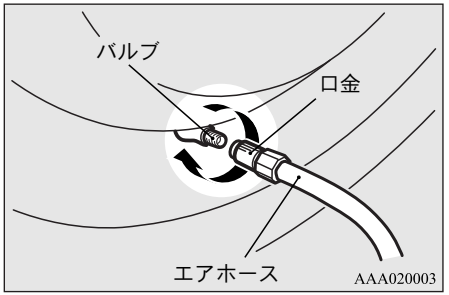
アドバイス

- バルブコア回しは，手で回してください。工具などを使って回すと，バルブコア回しが破損するおそれがあります。

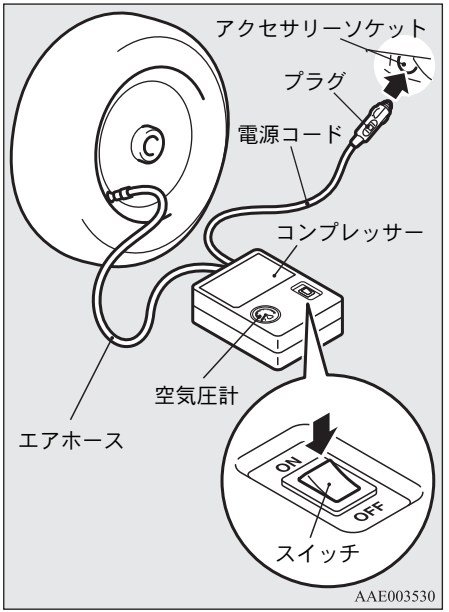
11.注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため，注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。



12.コンプレッサーのエアホースを取り出し，口金をバルブに確実に取り付けます。



13.空気圧計を上にして，コンプレッサーを置きます。
コンプレッサーの電源コードを取り出し，プラグをアクセサリーソケットに差し込みます。
→「アクセサリーソケット（DC12V）」P.10-2
パワースイッチを ACC にし，コンプレッサーのスイッチを ON にして指定の空気圧まで昇圧します。→「タイヤの空気圧」P.16-6



⚠注意

- 備え付けのコンプレッサーは，お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは，自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧の点検以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は，自動車用 12V 専用です。他の電源は接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは，水がかからないようにしてご使用ください。
- コンプレッサーは，砂埃などを吸い込むと，故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解，改造などは絶対にしないでください。また，空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

14.コンプレッサーの空気圧計を使用して，空気圧を点検，調整します。
空気を入れ過ぎたときは，エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。

⚠注意

- タイヤがふくらむとき，タイヤとホイールの間に指などはさまないようにしてください。

⚠注意

- 使用中，コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは 10 分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。
- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなった場合は，オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチを OFF にし，30 分以上放置してください。

アドバイス

- 10 分以内に指定の空気圧に昇圧できないときは，タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり，応急修理剤を使って応急修理することができません。日産販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

15.コンプレッサーのスイッチを OFF にしてから電源コードのプラグをアクセサリーソケットから抜きます。

アドバイス

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで（手順 18. または 19. まで）は，パンク穴より空気が漏れます。

16.速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。

⚠注意

- ハンドルのセンターパッド部にはシールを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
  また，メーターや警告灯が見えなくなる位置にも貼らないでください。

17.応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。
80km/h以下の速度で法定速度を守り，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

⚠注意

- 走行中異常を感じたときは，運転を中止して日産販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。
  応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

18.10 分間または約 5km 走行後，コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。つぎに手順 20. を行ってください。

タイヤの空気圧が不足している場合は，もう一度指定の空気圧まで昇圧し，走行します。

⚠注意

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/ cm ^{2}}) より低下しているときは，応急修理剤での応急修理はできません。
  運転を中止して日産販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

19.10 分間または約 5km 走行後，再びタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。

アドバイス

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して日産販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

アドバイス

- 寒冷時 (0°C 以下) では修理完了までの時間，走行距離が長くなる場合があるため，2 度目の空気圧の昇圧，走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。
  そのような場合は，もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに 10 分間または約 5km 走行後，もう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し日産販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

20.すみやかに日産販売会社まで慎重に運転し，タイヤの修理，交換を行ってください。

⚠注意

- 必ず空気圧の点検を行い，応急修理の完了を確認してください。

アドバイス

- 応急修理剤の空ボトルは，日産販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。
- 応急修理剤を使用したタイヤは，新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は日産販売会社にご相談ください。なお，応急修理後の恒久修理のとき，パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。

スペアタイヤ

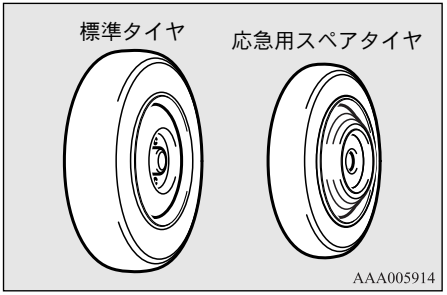
タイプ別装備　J01400802315

⚠注意

- 空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの日産販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
  →「タイヤの空気圧」P.16-6

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて直径がいくぶん小さくなっています。



⚠注意

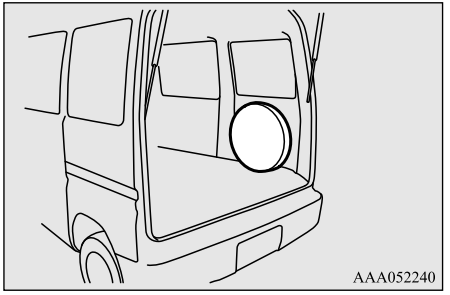
- 応急用スペアタイヤを装着したときは，80km/h 以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤにタイヤチェーンは装着できません。後輪がパンクしたときは，前輪を後輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組みあわせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。
- 応急用スペアタイヤを同時に 2 本以上使用しないでください。

格納場所

スペアタイヤは荷室右側に格納されています。

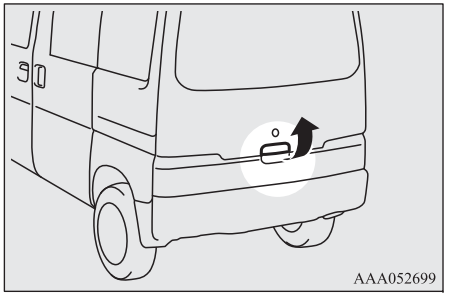


スペアタイヤの脱着

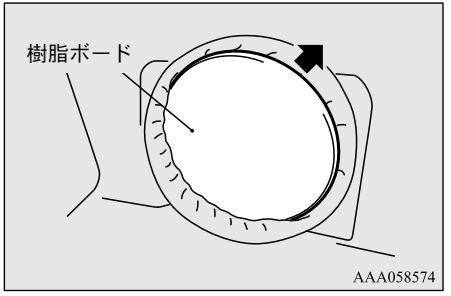
J01408800056

取り出すときは

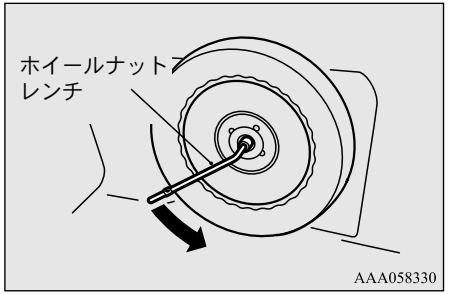
1. ホイールナットレンチを取り出します。
   →「ジャッキ・工具の脱着」P.15-12
2. テールゲートを開きます。



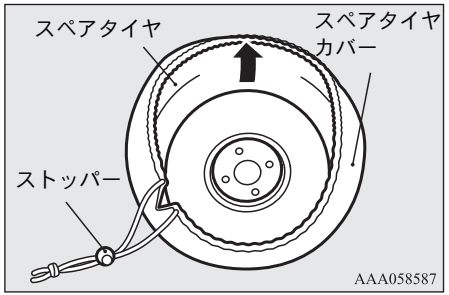
3. スペアタイヤカバーから樹脂ボードを取り外します。



4. ホイールナットレンチを使用して，スペアタイヤ取り付けボルトをゆるめて，取り外します。

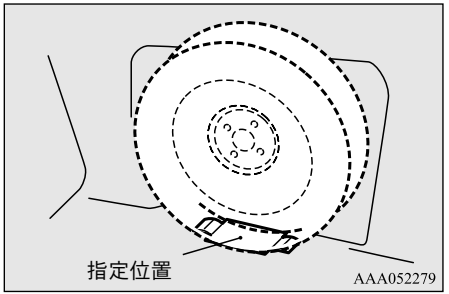


5. ストッパーをゆるめてスペアタイヤカバーを取り外します。

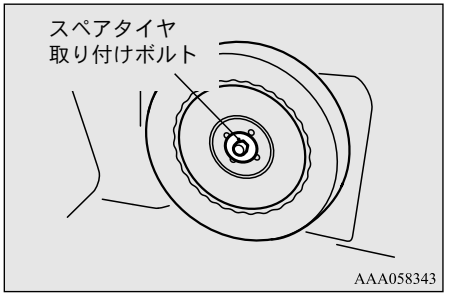


格納するときは

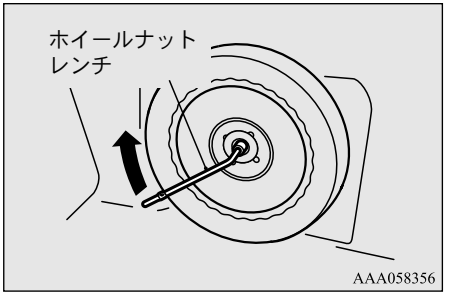
1. スペアタイヤカバーを元のように取り付け，荷室右側の指定位置にスペアタイヤを置きます。



2. スペアタイヤ取り付けボルトでスペアタイヤを固定します。



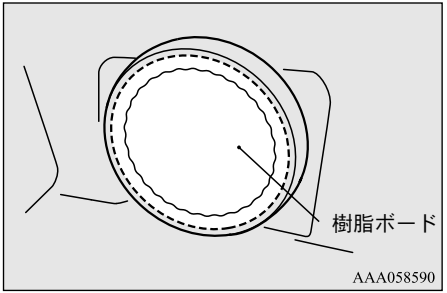
3. ホイールナットレンチを使用して，スペアタイヤががたつかない程度に，スペアタイヤ取り付けボルトを締め付けます。



アドバイス

- スペアタイヤ取り付けボルトは，必要以上に締め付けないでください。ネジ部やホイールの損傷の原因になります。

4. スペアタイヤカバーに樹脂ボードを元のように取り付けます。



アドバイス

- スペアタイヤ取り付けボルト，スペアタイヤカバー，樹脂ボードは応急用スペアタイヤ専用のため他のタイヤは格納できません。パンクタイヤは荷室に格納してください。

タイヤ交換のしかた

J01400902996

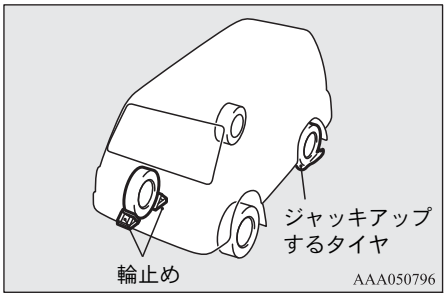
15 タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，パワースイッチを LOCK にします。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



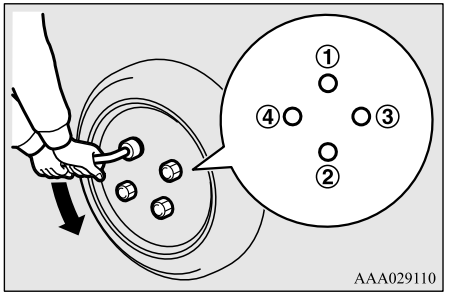
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.15-11
6. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P.15-13
7. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。



8. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
9. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

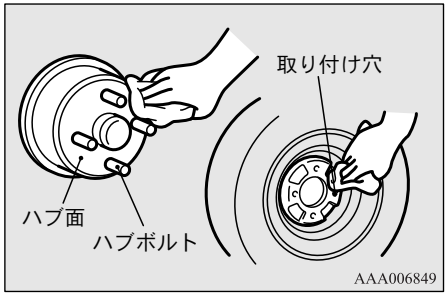
- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

⚠警告

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

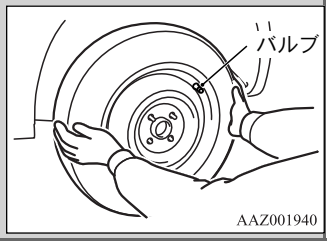
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



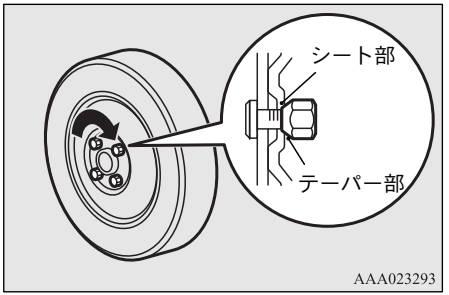
2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

- タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。
  タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。



3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。
   ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

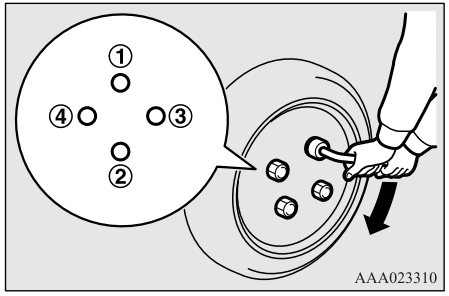


⚠注意

- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
  必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク：90~110N•m
{9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で360~430N｛36~43kgf｝の力）



⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P.16-6

6. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
→「格納場所」P.15-11

7. 交換したタイヤを荷室に格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，日産販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

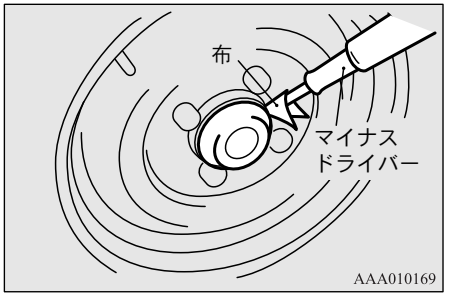
- タイヤ交換したときは，約1,000km走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

センターキャップ

J01402901049

取り外すときは

ドライバー（市販品）の先に布をかぶせてホイールとセンターキャップの間に差し込み，タイヤ側にこじてセンターキャップを取り外します。



取り付けるときは

センターキャップを手でたたき取り付けます。

補機用バッテリーが上がったときは！

J01407401195

つぎのような状態を補機用バッテリー上がりといいます。

- パワーユニットが起動しない。
  ［READY（走行可能）表示灯が点灯しない。］
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。



ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，パワーユニットを起動することができます。

⚠警告

- 救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してパワーユニットを起動するときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

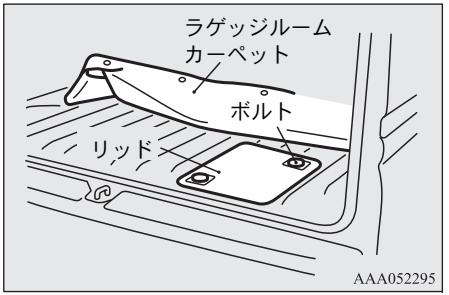
- 救援車は必ず 12V で，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 自車は駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを Ⓟ に入れ，パワースイッチを LOCK まで回します。
   救援車も駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車の場合はシフトレバーを Ⓝ，オートマチック車の場合はセレクターレバーを Ⓟ に入れ，エンジンスイッチを LOCK まで回します。

⚠警告

- ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンを止め，自車のパワースイッチも LOCK にしてください。
  ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- 冷却ファンは，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中，パワーユニット作動中または充電中は，ファンに手を近づけないでください。

4. テールゲートを開きます。
   →「テールゲート」P.6-7
   ラゲッジルームカーペットをめくり，ボルト 2 本を外してリッドを開けます。



5. 補機用バッテリーの液量を確認します。

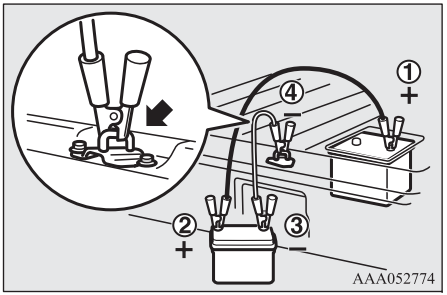
⚠警告

- 補機用バッテリーの液量が下限 (LOWER LEVEL) 以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

6. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車の補機用バッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーのー端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）



⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ず図の矢印の位置にしてください。補機用バッテリーの — 端子に直接つなぐと，補機用バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と — 端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルは，バッテリーの＋と — 端子を正しく接続してください。逆に接続すると，車の電装品が故障するおそれがあります。

アドバイス

- 補機用バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

アドバイス

- ブースターケーブルは，補機用バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

7. 接続した後，救援車のエンジンをかけます。
8. 自車のパワースイッチを START まで回します。
9. READY（走行可能）表示灯が点灯するか確認します。
   [READY（走行可能）表示灯が点灯したとき]
   救援車のエンジンを止め，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外し，そのまま 30 分以上補機用バッテリーを充電します。
   （充電後，手順 16. から処置を続けてください。）
   [READY（走行可能）表示灯が点灯しないとき]
   補機用バッテリーおよび駆動用バッテリーが同時にバッテリー上がりを起こしています。
   以下の手順（手順 10. ～手順 14.）で補機用バッテリーおよび駆動用バッテリーを充電します。

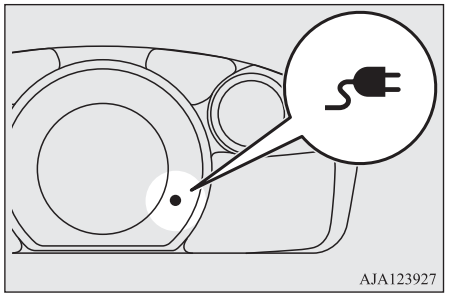
10.ブースターケーブルを接続したまま，自車のパワースイッチをLOCKまで回します。

アドバイス

- 車載充電器などは補機用バッテリーの電源で作動するため，駆動用バッテリーの充電開始時にはブースターケーブルを補機用バッテリーに接続する必要があります。

11.普通充電で駆動用バッテリーの充電を開始します。
→「普通充電のしかた」P.5-4

12.メーター内の充電ランプが点灯したら，救援車のエンジンを止め，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。



アドバイス

- 充電ランプは，普通充電コネクターを普通充電給電口に差し込むと点滅し，充電が開始されると点灯に切り換わります。
- 駆動用バッテリーを充電すると補機用バッテリーも自動的に充電されます。

13.そのまま1時間以上駆動用バッテリーを充電します。

14.普通充電ケーブルを取り外します。
→「普通充電のしかた」P.5-4

15.パワースイッチをSTARTまで回して，READY（走行可能）表示灯が点灯するか確認します。
READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は，再度手順 6. に戻って処置してください。
それでも充電できないときは，日産販売会社へご連絡ください。

16.補機用バッテリーのリッドを閉め，ラゲッジルームカーペットを元の位置に戻します。

17.最寄りの日産販売会社で補機用バッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- 市販のバッテリーチャージャーなどを電源として，車両に搭載したまま補機用バッテリーを充電しないでください。引火爆発や車両損傷につながるおそれがあります。

⚠警告

- 充電中は補機用バッテリーに火気を近づけないでください。補機用バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所で補機用バッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，補機用バッテリーのキャップをすべて外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

⚠注意

- お客様のお車には専用の補機用バッテリーが搭載されています。このため補機用バッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。補機用バッテリーを交換するときは日産販売会社に依頼してください。

アドバイス

- 押しがけやけん引によりパワーユニットを起動することはできません。

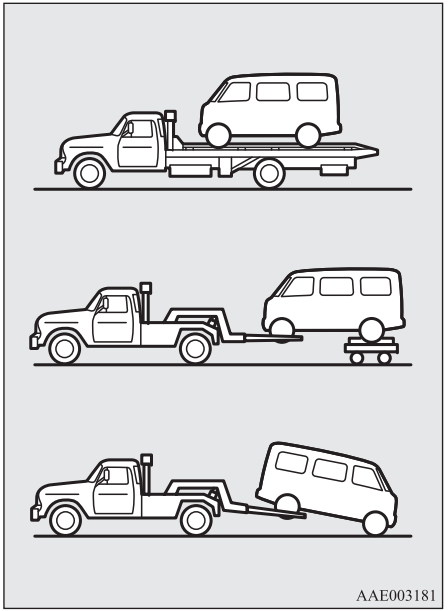
けん引

J01401202781

けん引は日産販売会社または JAF など専門業者に依頼し，4 輪または後輪（駆動輪）を持ち上げて搬送してください。
つぎの場合は，日産販売会社に連絡し，必ず4輪とも持ち上げて搬送してください。

- READY（走行可能）表示灯が点灯しているのに車が動かない。または異音がする。
- パワーユニット警告灯が点灯している。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。
- 事故などで車体が大きく破損・変形している

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，日産販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。



駆動用バッテリーが上がったときなどの非常時には，一時的に後輪（駆動輪）を接地してけん引することができます。
やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，「他車にけん引してもらうとき」の手順にしたがってできるだけ短距離にとどめ，慎重に行ってください。
→P.15-31

アドバイス

- JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

レッカー車に搬送してもらうとき

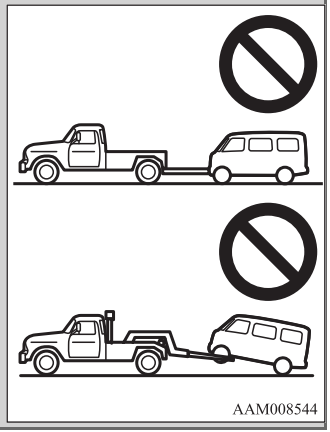
⚠警告

- レッカー車で吊り上げた場合は，絶対に車両の下に入らないでください。車両が落下した場合，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- けん引される車両には乗車しないでください。

15

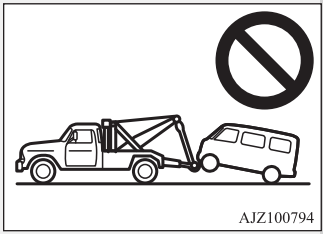
⚠警告

- 後輪（駆動輪）を接地してのけん引はしないでください。モーター（パワーユニット）が損傷するおそれがあります。また，パワーユニットルームの配線が損傷しているときなどに後輪（駆動輪）を接地してけん引すると，モーターが発電し，万一の場合，漏電による火災の原因となることがあります。

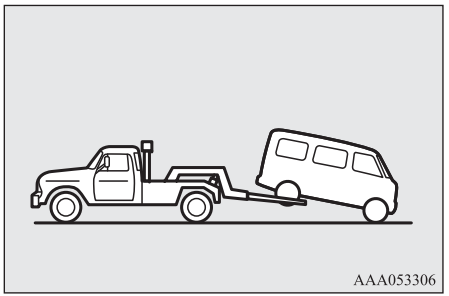


⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でのけん引はしないでください。バンパーや車体が破損するおそれがあります。



後輪（駆動輪）を持ち上げてけん引するときは



セレクターレバーをⓃに入れ，パワースイッチを ACC にして，ハンドルをロープなどで直進状態に固定してください。

パワースイッチは絶対にLOCKまたはONにしないでください。

⚠注意

- 駆動系や操舵系に異常がないことを確認してください。これらに異常がある場合は，必ず 4 輪とも持ち上げて搬送してください。
- パワーユニットを起動して後輪（駆動輪）を持ち上げたけん引を行うと，VDC（ビークルダイナミクスコントロール）機能が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。
  必ずパワースイッチをACCにしてください。

他車にけん引してもらうとき

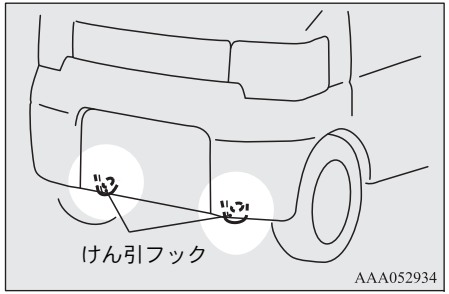
J01403903040

駆動用バッテリーが上がったときなどの非常時に，やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領にしたがってできるだけ短距離にとどめ，慎重に行ってください。

⚠警告

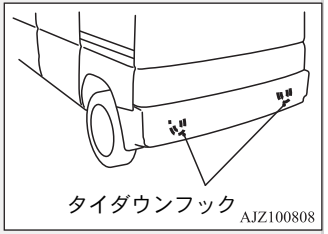
- 駆動用バッテリーが上がったとき以外は，この方法でけん引しないでください。パワーユニットルームの配線が損傷しているときなどにこの方法でけん引すると，モーターが発電し，万一の場合，漏電による火災の原因となることがあります。

1. つぎのことを確認します。
   - 駐車ブレーキがかかっている。
   - セレクターレバーがⓅに入っている。
   - パワースイッチが LOCK の位置にある。
2. けん引ロープをけん引フックにかけます。



⚠注意

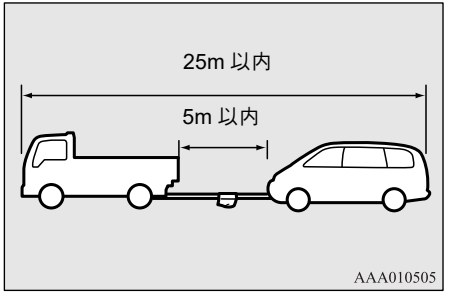
- 車体後部にあるタイダウンフックは，車両を輸送するときに使用するものです。けん引には使用しないでください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損するおそれがあります。



アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて，斜めけん引とならないようにしてください。

3. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm× ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



4. パワーユニットを起動します。

⚠注意

- パワーユニットを起動せず，パワースイッチをONの位置にしてけん引すると，けん引中に補機用バッテリーが上がることがあります。この場合，ブレーキの効きが非常に悪くなることがあります。また，ハンドル操作が非常に重くなります。
- パワースイッチがLOCK位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- けん引時の思わぬ事故や予期しない作動を防ぐため，インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/ OFF スイッチを押して，システムを停止してください。
  →「インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト ON/OFF スイッチ」P.9-24

5. セレクターレバーをⓃに入れ，駐車ブレーキを解除します。
6. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P.8-20

⚠警告

- けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- けん引するときの速度は30 km/h以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えると車両の故障の原因になります。

他車のけん引

J01404100019

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

水没したときは！

J01409100056

万一，車両が水没したときには，つぎの通り対処してください。

- 落ち着いてシートベルトを外してください。
- ドアを開けられるかどうか試してください。ドアが開いたら車外に出てください。
- ドアが開かないときは，ドアガラスを開けて，窓から車外へ出てください。
- ドアガラスを開けることができないときは，緊急脱出用ハンマーでドアガラスを割って，窓から車外へ出てください。
- 緊急脱出用ハンマーでドアガラスを割れないときは，車内外の水圧差がなくなるまで浸水するのを待ち，ドアを開けて車外に出てください。

⚠警告

- 着座位置，乗員の体格などによっては，窓から車外へ脱出できないことがあります。
- フロントガラスは合わせガラスのため，緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。リヤドア・テールゲート（バックドア）のガラスは強化ガラスのため，ハンマーで割ることができます。

⚠警告

- フロントドアガラスは合わせガラスの場合と，強化ガラスの場合がありますので，事前に確認しておいてください。

  合わせガラスの見分け方：
  ガラス断面を上から見たとき，3 層構造になっているのが合わせガラスです。



アドバイス

- 緊急脱出用ハンマーは標準装備されておりません。日産販売会社でお買い求めください。使い方は緊急脱出用ハンマーに添付の取扱説明書にしたがってください。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401301411

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，日産販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

J01401502380

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

アドバイス

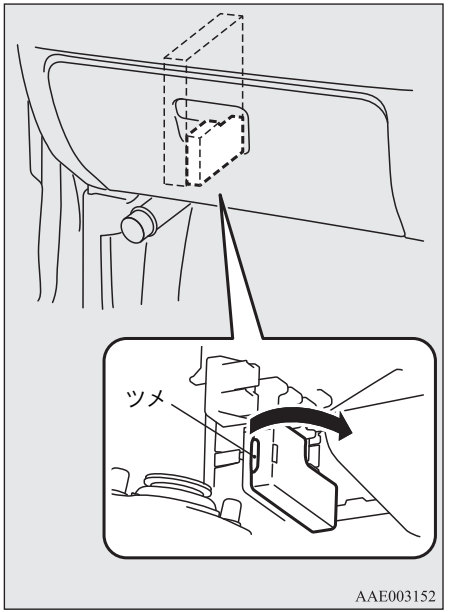
- 予備ヒューズは装備されておりません。日産販売会社などでお買い求めください。

ヒューズボックスの位置

J01407500128

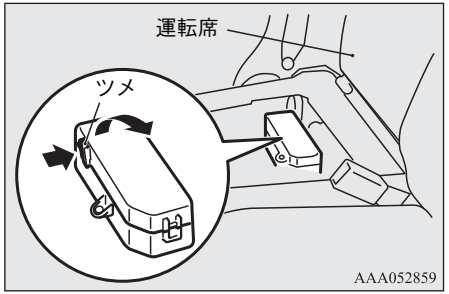
助手席足元

ツメ部を引いてヒューズカバーを取り外します。



点検口（運転席下）

ツメを押してロックを外し，カバーを取り外します。



ヒューズの交換

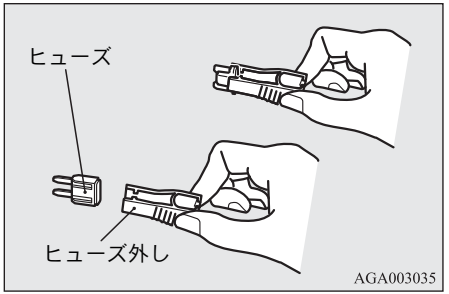
J01407601168

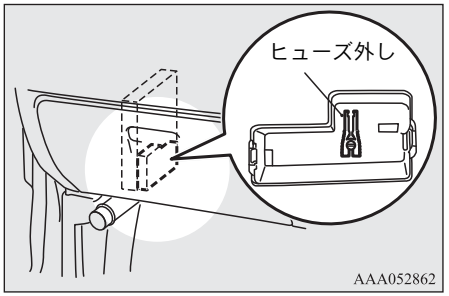
1. パワースイッチを LOCK にします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P.15-36

アドバイス

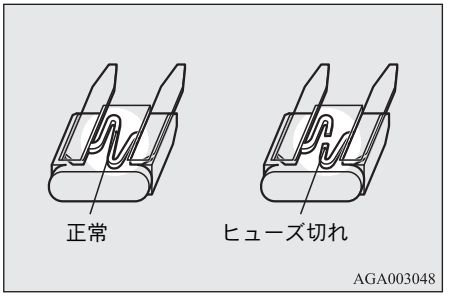
- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，ヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，助手席足元のヒューズボックスカバーの内側にあります。





4. ヒューズを点検し，切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。



⚠警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。

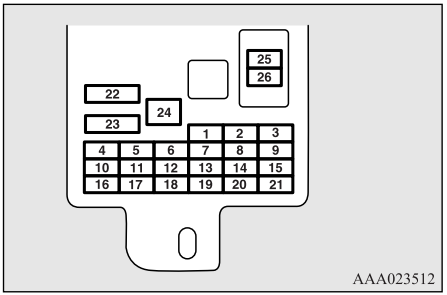
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403702937

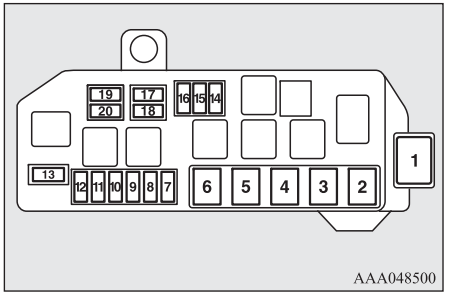
助手席足元



NO.	表示	装備	容量
1		尾灯（テールランプ）（左）	7.5A
2		シガレットライター／アクセサリーソケット	15A
3	—	—	—
4		スターター	7.5A
5		EV-ECU	10A
6	—	—	—
7		尾灯（テールランプ）（右）	7.5A
8		アクセサリーソケット	10A
9		コントロールユニット（パワーユニット）	7.5A
10		コントロールユニット	7.5A
11	—	—	10A
12		ドアロック	15A
13		室内灯（ルームランプ）	10A
14		リヤワイパー	15A
15		メーター	7.5A
16		リレー	7.5A
17		シートヒーター	20A
18	OPTION	OPTION	10A
19	—	—	7.5A
20		フロントワイパー	25A
21		後退灯（バックアップランプ）	7.5A
22		デフォッガー	30A
23		ヒーター	30A
24		補機用バッテリー	30A
25		ラジオ	10A
26		エレクトロニックコントロールユニット	15A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

点検口（運転席下）



NO.	表示	装備	容量
1		パワースイッチ	60A
2		補機用バッテリー	30A

NO.	表示	装備	容量
3		ウォーターポンプ（パワーユニット）	30A
4		ラジエーターファンモーター	40A
5		パワーウインドウ	30A
6		バキュームポンプ（ブレーキ）	30A
7		パワーユニットコントロール	15A
8	STOP	制動灯（ストップランプ）	15A
9		フロントフォグランプ	15A
10	—	—	—
11		オンボードチャージャー	10A
12		非常点滅灯	10A
13		ホーン	10A
14		イグニッションコントロール	7.5A
15	—	—	—
16		ウォーターポンプ（エアコン）	10A
17		ヘッドライト（下向き）（右）	20A
18		ヘッドライト（下向き）（左）	20A
19		ヘッドライト（上向き）（右）	10A
20		ヘッドライト（上向き）（左）	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたときは！

J01401602062

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

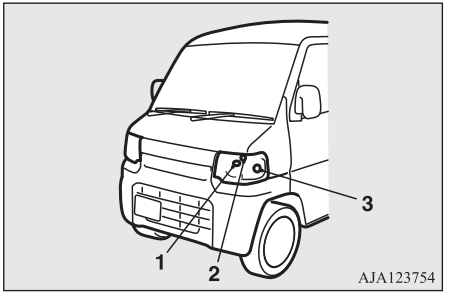
バルブ（電球）のワット数

J01406201125

車外照明

J01406802131

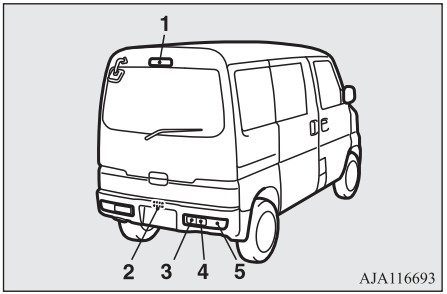
■フロント



1	ヘッドライト	60/55W (H4)
2	車幅灯	5W (W5W)
3	方向指示灯／非常点滅灯（フロント）	21W (PY21W)

- （ ）内はバルブ（電球）の型式を示しています。

■リヤ



1	ハイマウント ストップランプ	—
2	番号灯	5W (W5W)
3	後退灯	16W (W16W)
4	方向指示灯／ 非常点滅灯（リヤ）	21W (WY21W)
5	制動灯／尾灯	21/5W (W21/5W)

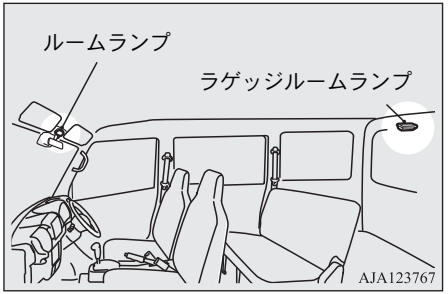
●（ ）内はバルブ（電球）の型式を示しています。

アドバイス

●ハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は日産販売会社にご相談ください。

車内照明

J01406301780



ルームランプ	8W *
ラゲッジルーム ランプ	8W

*：電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

バルブ（電球）の交換

J01401702324

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，日産販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，パワースイッチを LOCK にします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P.15-37

⚠注意

●消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

●市販の LED バルブを取り付けないでください。
走行装置やランプが正常に作動しなくなるなど，車両に悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

●バルブを交換するときは，同じワット (W) 数，同じバルブ色のものを使用してください。

15

アドバイス

- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライトの脱着

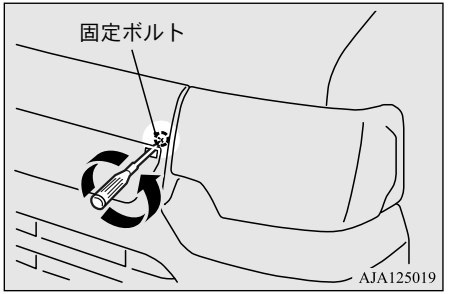
J01401903192

ヘッドライト，車幅灯，方向指示灯（フロント）のバルブ（電球）の交換は，ヘッドライト全体を車から取り外して行います。

つぎの手順で取り外してください。

取り外すときは

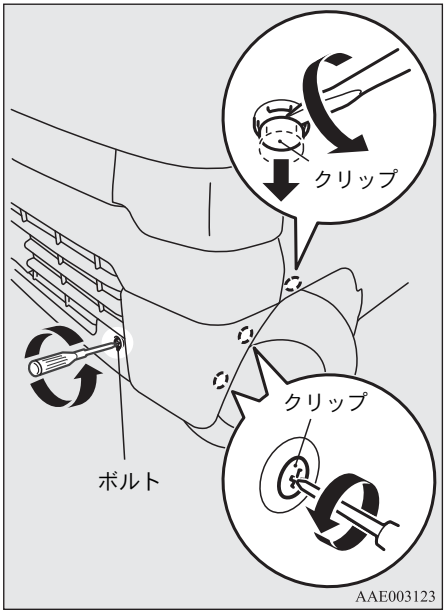
1. 交換したいヘッドライトの反対方向側にステアリングホイールを一杯に回して作業スペースを作ります。
2. ヘッドライトの固定ボルトを，4 回転程度ゆるめます。



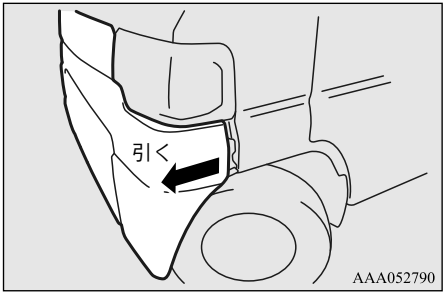
アドバイス

- ボルトは必要以上にゆるめないでください。
  ゆるめすぎるとボルトが落下することがあります。

3. バンパーを固定しているクリップ（3箇所）とボルトを取り外します。



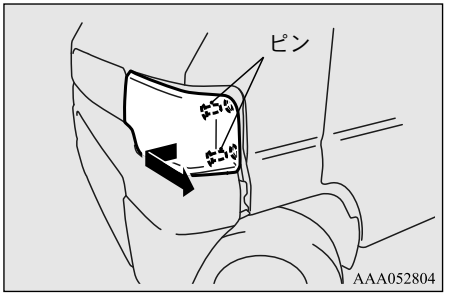
4. バンパーをゆっくりと引いてバンパーとフェンダーの結合部を外します。



アドバイス

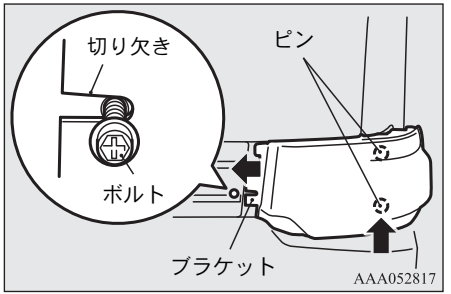
- 結合部を取り外すときは，周辺部品を損傷させないように注意してください。

5. ヘッドライトの外側を手前に引き，ヘッドライト裏側にある固定ピンを外します。そのまま，バンパーをめくりながらヘッドライトを車両の外側にずらして取り外します。

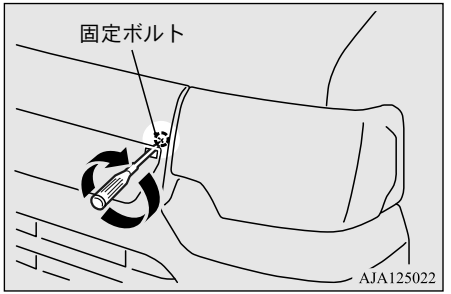


取り付けるときは

1. ヘッドライトの車両内側にある取り付けブラケットの切り欠きを車側に残してあるボルトに差し込み，ヘッドライト裏側にあるピンを固定クリップに差し込んで，ヘッドライトを取り付けます。

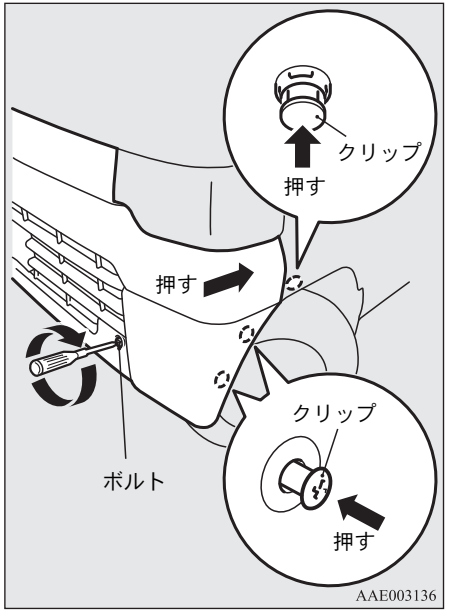


2. ヘッドライトの固定ボルトを確実に締め付けます。



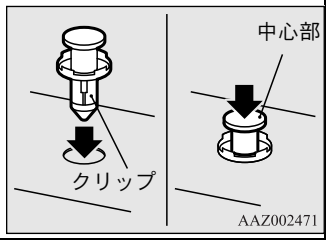
15

3. バンパーとフェンダーの結合部を押さえてはめ込んだ後，バンパー固定クリップとボルトで固定します。



アドバイス

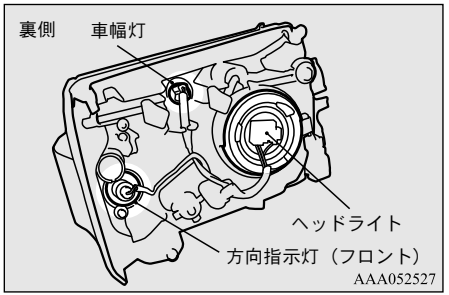
- バンパー固定用クリップは，はじめにクリップを取り付け穴に差し込み，その後でクリップの中心部を押し込んで固定します。



ヘッドライトのバルブ交換

J01407801157

各バルブの交換は，ヘッドライト裏側から行います。



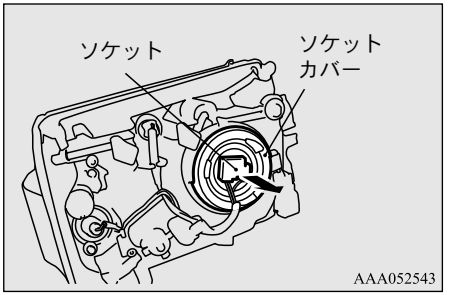
交換方法についてはつぎの項をお読みください。

→「ヘッドライト」P.15-41
→「車幅灯」P.15-42
→「方向指示灯（フロント）」P.15-43

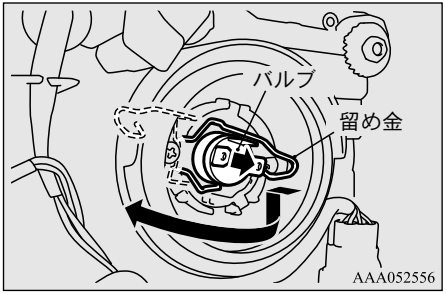
ヘッドライト

J01401903134

1. ソケットを引き抜き，ソケットカバーを外します。



2. 留め金を外し，矢印の方向に引き起こして，バルブを抜き取ります。



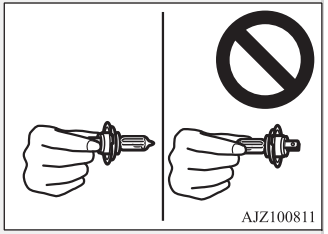
3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠注意

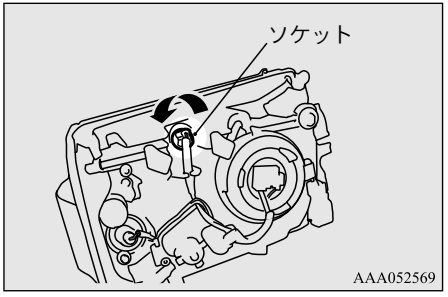
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



車幅灯

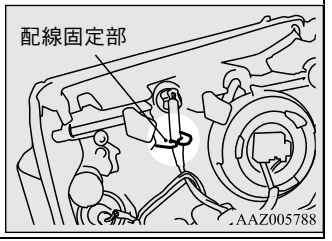
J01402000841

1. ソケットを反時計回りに回して外します。

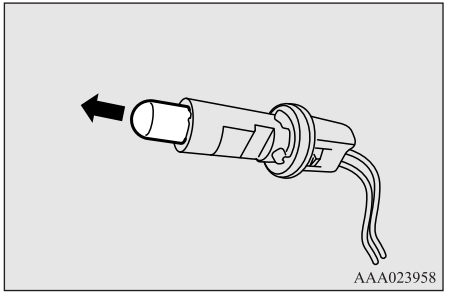


アドバイス

- ソケットを外すときは，配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは，配線を確実に固定してください。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。



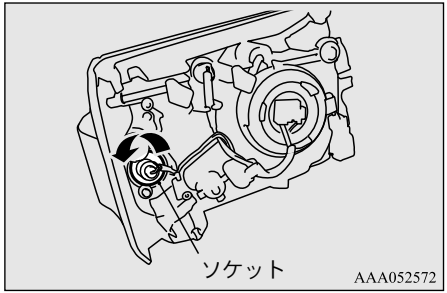
3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

15

方向指示灯（フロント）

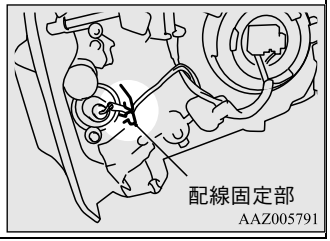
J01402101908

1. ソケットを反時計回りに回して外します。

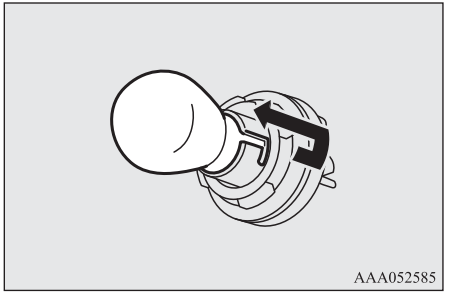


アドバイス

- ソケットを外すときは，配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは，配線を確実に固定してください。



2. バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。

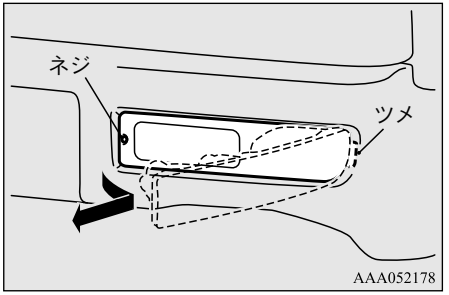


3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

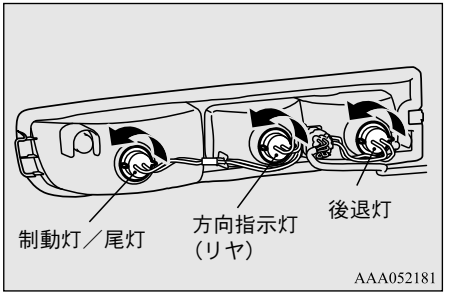
リヤコンビネーションランプ

J01403001962

1. ネジを外して，ランプ本体を手前に引き出し，ツメを外しながらランプ本体を取り外します。



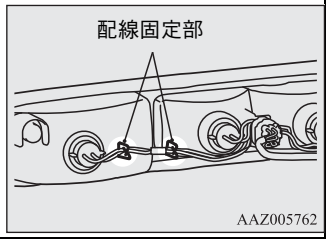
2. ソケットを反時計回りに回して外します。



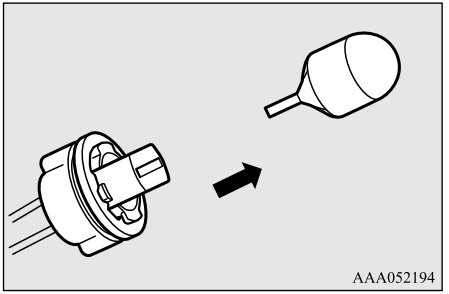
15

アドバイス

- 制動灯／尾灯のソケットを外すときは，配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは，配線を確実に固定してください。



3. ソケットからバルブを引き抜きます。

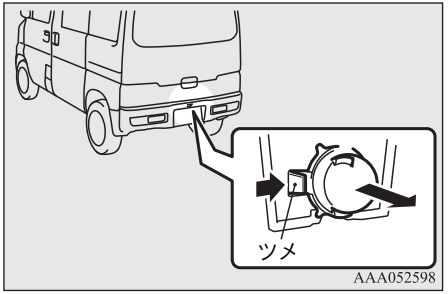


4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

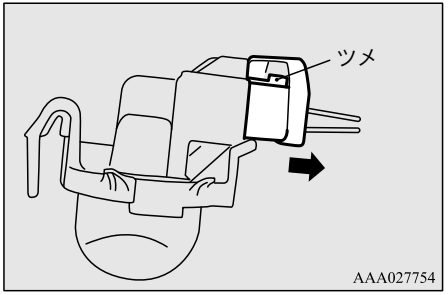
番号灯

J01402601798

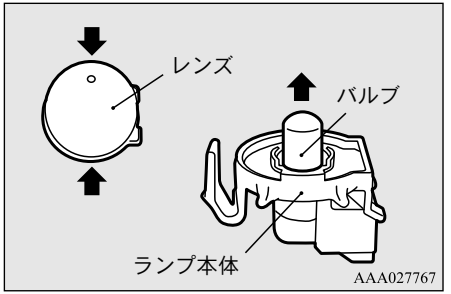
1. ツメを押しながら，ランプ本体を取り外します。



2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



3. レンズの両端を押しながらレンズをランプ本体から外し，バルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ハイマウントストップランプ

J01402701627

アドバイス

- ハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は日産販売会社にご相談ください。

サービスデータ

メンテナンスデータ 16-2
タイヤ，ホイールのサイズ 16-5
タイヤの空気圧 16-6
充電システム仕様 16-7
車両データの記録について 16-8

メンテナンスデータ

J01600101427

- 日常点検，定期点検の内容およびトランスミッションオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

オイル類の量と種類

J01600602357

項目	容量	使用銘柄
トランスミッションオイル	約 0.75L	三菱自動車純正 ATF SP III

⚠注意

- トランスミッションオイルは，指定の三菱自動車純正 ATF を必ずご使用ください。それ以外のオイルを使用すると，トランスミッションが破損するおそれがあります。

項目	容量	使用銘柄
ブレーキ液	所要	三菱自動車純正 ブレーキフルードスーパー 4 (DOT4)

冷却水の量と種類

J01600701898

項目	容量	使用銘柄
冷却水	約 4.1L （コンデンスタンク内 約 1.0L を含む）	日産純正 スーパーロングライフクーラント

温水ヒーター液の量と種類

J01601301110

項目	容量	使用銘柄
温水ヒーター液	約 2.2L （コンデンスタンク内 約 0.85L を含む）	日産純正 スーパーロングライフクーラント

ウォッシャー液の量と種類

J01600801600

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約 2.0L	日産純正ウインドウォッシャー液

補機用バッテリーの種類

J01601402088

形式
34B19L

⚠警告

- 補機用バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- 補機用バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，補機用バッテリーが爆発するおそれがあります。
- 駆動用バッテリー充電中に補機用バッテリーを取り外さないでください。
  補機用バッテリーは，駆動用バッテリー充電中に自動的に充電されているため，取り外すと感電など，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- お客様のお車には専用の補機用バッテリーが搭載されています。このため補機用バッテリーの型式が同じでも，お車に正しく取り付けられないことがあります。補機用バッテリーを交換するときは日産販売会社に依頼してください。
- 補機用バッテリーを取り外すときは，パワースイッチを LOCK の位置にしてから約 2 分以上経過後に，接続されている＋端子や－端子を取り外してください。パワースイッチを LOCK の位置にした直後に補機用バッテリーの端子を取り外すと電気部品故障の原因となります。
  また，パワーユニット警告灯が点灯しているときは，高電圧部位に異常が発生しています。補機用バッテリーを外さずに，日産販売会社へご連絡ください。

整備基準値

J01601001869

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときのフロントエンドパネルとのすき間（踏力約 500N｛約 50kgf｝）	225mm 以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力 200N｛20kgf｝）	3~4 ノッチ

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600203031

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4 輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは国土交通省に届け出をしています。

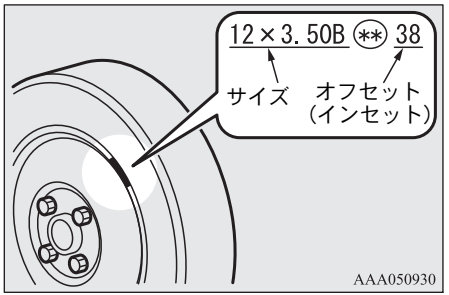
⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉したり，強度が不足して使えないことがありますので，指定以外のホイールは使用しないでください。

タイヤ	ホイール
145/80R12 86/84N LT	12×3.50B (38mm) [100mm] 4 穴

( ) 内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
[ ] 内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）
冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

- 日産純正ホイールのサイズおよびオフセット（インセット）は，図の位置に表示されています。



タイヤの空気圧

J01600302279

	タイヤサイズ	空気圧 (kPa {kgf/cm²})	
		前輪	後輪
標準タイヤ	145/80R12 86/84N LT	260 {2.6}	450 {4.5}
応急用スペアタイヤ（タイプ別装備）	T125/70D14 93M	420 {4.2}	

充電システム仕様

J01602001172

普通充電システム	定格電圧	AC 200V（単相）	AC 100V（単相）
	定格周波数	50Hz/60Hz	
	最大定格電流	15A*1	10A*1
	最大消費電力	3.0kVA*1	1.0kVA*1
	純正充電ケーブル内蔵コントロールボックス漏電検知電流	20mA	
	充電モード	IEC61851-1 に基づく Mode 2/Case B*1 Mode 3/Case C*2	
急速充電システム	準拠規格	CHAdeMO	
	最大入力電流	62A	
共通	IP 等級	IP44: 充電コネクターが接続されている状態のとき IP55: 充電リッドを閉じて走行している状態のとき	

*1:純正コントロールボックス付き充電ケーブル使用時

*2:公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器使用時。
普通充電器の一部は，CLIPPER EV に対応していないことがあります。

車両データの記録について

J01602400065

本車両には，車両を制御するためコンピューターが複数装備されており，車両の制御や操作に関するデータなどを記録しています。

記録されるデータ

- エンジン／電気モーター回転数や車速など，車両の状態
- アクセルペダル／ブレーキペダルなどの操作状況
- 車両運転時の環境情報
- 各車載コンピューターの制御に関する情報
- 各車載コンピューターの故障診断情報

記録されるデータの項目は，車両型式，グレードやオプションなどにより異なります。また，使用条件などにより，データが記録されない場合もあります。
なお，コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は，コンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・品質の向上・研究開発を目的として取得・利用することがあります。
なお，次の場合を除き，取得したデータを前述以外の第三者へ開示または提供することはありません。

- 車両の当該データ記録時の使用者の同意がある場合
- 警察／裁判所／政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う目的で，使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

A

ABS(アンチロックブレーキシステム) ... 9-14

ABS警告灯 9-14

C

CLIPPER EV
- 主な特長 2-2
- 駆動用バッテリー 2-2
- 航続可能距離 2-3
- 極寒時の注意事項と対処方法 2-7
- 酷暑時の注意事項と対処方法 2-6
- 車両接近通報装置 [AVAS] 2-3

E

EPS(電動パワーステアリング) 9-15
- 警告灯 9-16

I

INT 8-21

L

LDW(車線逸脱警報) 9-32

M

MIST 8-21

R

READY(走行可能)表示灯 8-10

S

SRSエアバッグ 7-16

SRSエアバッグ警告灯 7-11, 7-19

U

USB
- 充電用 USB ポート 10-3

V

VDC OFF スイッチ(ビークルダイナミクスコントロールオフスイッチ) 9-17

VDC OFF表示 9-18

VDC(ビークルダイナミクスコントロール) 9-16

VDC警告表示 9-18

VDC作動表示 9-18

ア

アクセサリーコンセント 10-3

アクセサリーソケット(DC12V) 10-2

アシストグリップ 10-8

アンチロックブレーキシステム(ABS) ... 9-14
- ABS 警告灯 9-14

アンテナ 12-2

イ

インテリジェント エマージェンシーブレーキ 9-19

ウ

ウインカー(方向指示レバー) 8-19

ウインドウガラスのお手入れ 13-7

ウォッシャー
- ウォッシャー液 16-3
- ウォッシャー液の点検・補給 13-2
- フロントウォッシャースイッチ .. 8-21
- リヤウォッシャースイッチ 8-22

運転支援機能 9-18

運転のしかた 9-9
- 走行 9-10
- 駐車 9-11
- 停車 9-11

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

発進 9-9

エ

エアコン
エアコンの上手な使い方 11-9
エアフィルターの清掃 13-4
クリーンエアフィルター 11-10
充電中のエアコンの使い方 11-10
吹き出し口 11-2
プレ空調 11-11
マニュアルエアコン 11-4
エアバッグ
SRS エアバッグ 7-16
SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 7-11, 7-19
ABS 9-14

オ

オートライトシステム 8-13
お手入れ
ウインドウガラス 13-7
シートベルト 13-5
樹脂部品 13-7
洗車 13-6
塗装の補修 13-8
ワイパー 13-7
ワックス 13-6
オドメーター(積算距離計) 8-3
主な特長(CLIPPER EV) 2-2
温水ヒーター液 16-3
温水ヒーター液の点検・補給 ..... M

カ

回生ブレーキ 2-2, 3-11
警告灯 8-11
外装品のお手入れ 13-5
ガレージジャッキ 15-14
寒冷時の取り扱い 14-2

キ

キー 6-2
キーレスエントリー 6-3
急速充電 5-14

ク

区間距離計(トリップメーター) 8-3
駆動用バッテリー残量計 8-8
駆動用バッテリー残量警告灯 8-8
曇り取り
ウインドウガラスの曇り取り 11-7
リヤウインドウデフォッガースイッチ 8-22
クラクション(ホーンスイッチ) 8-23
クリーンエアフィルター 11-10, 13-4
グローブボックス 10-8

ケ

警告灯 8-9, 8-10
ABS 警告灯 9-14
SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 7-11, 7-19
回生ブレーキ力警告灯 8-11
駆動用バッテリー残量警告灯 8-8
シートベルト警告灯 7-10
電動パワーステアリング警告灯 .. 9-16
パワーダウン警告灯 8-12
パワーユニット警告灯 8-12
半ドア警告灯 8-12
ブレーキ警告灯 8-10
補機用バッテリー充電警告灯 8-11
警告表示
LDW 警告表示 9-35
VDC 警告表示 9-18
インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告表示 9-25
パーキングセンサー警告表示 9-38
ハイビームアシスト警告表示 8-18
踏み間違い衝突防止アシスト警告表示 9-31
けん引 15-30

17

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

コ

交換
キーの電池 6-3
タイヤ 15-24
バルブ（電球）..... 15-38
ヒューズ 15-35
工具 15-11
航続可能距離表示 8-3, 8-7
後退灯
バルブ（電球）の交換 15-43
バルブ（電球）のワット数 15-37
極寒時の注意事項と対処方法 2-7
酷暑時の注意事項と対処方法 2-6
コンデンスタンク
温水ヒーター液 1-6
冷却水 1-7

サ

サービスデータ 16-2
サービスリマインダー 8-3, 8-5
サイドアンダーミラー 9-3
三角表示板（停止表示板）..... 15-10
サンバイザー 10-2

シ

シート 7-2
シート調整 7-2
シートヒーター 7-5
チャイルドシート 7-12
シート位置別チャイルドシートの選択 7-13
シートベルト 7-7
お手入れ 13-5
3点式シートベルト 7-9
シートベルト警告 7-10
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 7-10
室内灯 10-6
バルブ（電球）のワット数 15-38
車線逸脱警報(LDW) 9-32
ジャッキ 15-11
ジャッキアップ 15-13
車幅灯 8-13
バルブ（電球）の交換 15-39, 15-42
バルブ（電球）のワット数 15-37
車幅灯表示灯 8-10
車両重量 ..... S
車両寸法 ..... S
車両接近通報装置[AVAS] 9-11
車両データの記録 16-8
集中ドアロック 6-6
充電 5-3
急速充電 5-14
普通充電 5-4
普通充電ケーブル 5-6
充電中のエアコンの使い方 11-10
充電中の作動音について 2-3
充電トラブルシューティングガイド 5-18
修理の連絡先 ..... M
樹脂部品のお手入れ 13-7

ス

スイッチ
ライトスイッチ 8-13
水没したときは 15-33
スタビリティコントロール機能 9-17
スピードメーター 8-2
スペアタイヤ 15-21

セ

制動灯
バルブ（電球）の交換 15-43
バルブ（電球）のワット数 15-37
積算距離計（オドメーター）..... 8-3
セレクターレバー 9-6

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

セレクターレバー位置表示 9-7
洗車 13-6

タ

タイヤ
空気圧 16-6
空気圧の点検・調整 13-3
交換 15-24
スペアタイヤ 15-21
タイヤ，ホイールのサイズ 16-5
タイヤチェーン 14-4
タイヤの摩耗 13-3
タイヤメンテナンス 13-3

チ

チェーン（タイヤチェーン） 14-4
チケットホルダー 10-2
チャイルドシート 7-12
助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意 7-12
駐車ブレーキ
駐車ブレーキ 9-2, 16-4
ブレーキ警告灯 8-10

テ

テールゲート 6-7
テールランプ（尾灯）
バルブ（電球）の交換 15-43
バルブ（電球）のワット数 15-37
定期点検 ..... M
停止表示板 15-10
電球（バルブ） 15-38
点検・整備をするときは 3-2
点検口 1-7
点検口（運転席／助手席下） 1-6, 6-10
電動パワーステアリング 9-15
電動パワーステアリング警告灯 .. 9-16

ト

ドア 6-4
施錠・解錠 6-5
テールゲート 6-7
ドアミラー 9-3
トラクションコントロール機能 9-16
トランスミッション
運転のしかた 9-9
セレクターレバー 9-6
セレクターレバー位置表示 9-7
トランスミッションオイル 16-2
トリップメーター（区間距離計） 8-3
ドリンクホルダー 10-8

ナ

内装品のお手入れ 13-4

ニ

荷室の作り方 7-5
日常点検 ..... M

ハ

パーキングセンサー（リヤ） 9-36
パーキングブレーキ（駐車ブレーキ） . 9-2
排気量 ..... S
ハイドロプレーニング現象 3-10
ハイビームアシスト 8-16
ハイマウントストップランプ
バルブ（電球）の交換 15-44
バルブ（電球）のワット数 15-37
ハザードランプ（非常点滅灯） 8-20
バルブ（電球）の交換 ... 15-39, 15-43
バルブ（電球）のワット数 15-37
発炎筒 15-10
バックミラー（ルームミラー） 9-2
バックランプ（後退灯）
バルブ（電球）の交換 15-43
バルブ（電球）のワット数 15-37
バッテリー

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

駆動用バッテリー 5-3
補機用バッテリー 16-3
バルブ(電球)
交換 15-38
ワット数 15-37
パワーウインドウ 6-9
パワースイッチ 9-4
パワーステアリング
電動パワーステアリング 9-15
電動パワーステアリング警告灯 .. 9-16
パワーダウン警告灯 8-12
パワーメーター 8-2
パワーユニット起動のしかた 9-5
パワーユニット警告灯 8-12
パワーユニット点検口 6-11
パワーユニットルーム 1-7
パンクタイヤ応急修理キット 15-15
番号灯
バルブ（電球）の交換 15-44
バルブ（電球）のワット数 15-37
半ドア警告灯 8-12

ヒ

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) 9-16
非常点滅灯スイッチ 8-20
非常点滅表示灯 8-10
尾灯
バルブ（電球）の交換 15-43
バルブ（電球）のワット数 15-37
ヒューズ 15-34
交換 15-35
ヒューズボックス 15-34
表示
VDC OFF 表示 9-18
VDC 警告表示 9-18
VDC 作動表示 9-18
表示灯 8-9, 8-10
車幅灯表示灯 8-10
充電ランプ 8-10
セレクターレバー位置表示 9-7
非常点滅表示灯 8-10
ヘッドライト上向き表示灯 8-10
方向指示表示灯 8-10
READY（走行可能）表示灯 8-10
日よけ(サンバイザー) 10-2
ヒルスタートアシスト 9-12

フ

VDC OFF 表示 9-18
VDC警告表示 9-18
VDC作動表示 9-18
ブザー
ブレーキ警告ブザー 8-11
ライト消し忘れブザー 8-15
普通充電 5-4
普通充電ケーブル 5-6
踏み間違い衝突防止アシスト(前進のみ) 9-28
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 7-10
プリテンショナー警告灯 7-11, 7-19
ブレーキ
ABS (アンチロックブレーキシステム) 9-14
ブレーキ液 16-2
ブレーキ液量の点検・補給 ..... M
ブレーキ警告灯 8-10
ブレーキ警告ブザー 8-11
ブレーキパッドの摩耗 15-34
ブレーキアシスト 9-13
ブレーキ液タンク 13-2
ブレーキ警告ブザー 8-11
ブレーキランプ(制動灯)
バルブ（電球）の交換 15-43
バルブ（電球）のワット数 15-37
プレ空調 11-11
フロアカーペット 10-9
フロントウォッシャースイッチ 8-21
フロントワイパースイッチ 8-21

17

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

へ

ヘッドライト 8-13
　バルブ（電球）の交換 ... 15-39, 15-41
　バルブ（電球）のワット数 15-37
ヘッドライト上向き表示灯 8-10
ヘッドライトレベリングダイヤル .. 8-19

ホ

ホーンスイッチ 8-23
ホイール
　タイヤ，ホイールのサイズ 16-5
方向指示灯
　バルブ（電球）の交換 ... 15-39, 15-43
　バルブ（電球）のワット数 15-37
方向指示表示灯 8-10
方向指示レバー 8-19
補機用バッテリー 1-7
補機用バッテリー上がり 15-27
補機用バッテリー液量の点検・補給 .... M
補機用バッテリー充電警告灯 8-11
ポジションランプ（車幅灯）
　バルブ（電球）の交換 ... 15-39, 15-42
　バルブ（電球）のワット数 15-37

マ

マニュアルウインドウ 6-10
マニュアルエアコン 11-4
万一，事故が起きたときは 2-4

ミ

ミラー
　サイドアンダーミラー 9-3
　ドアミラー 9-3
　リヤアンダーミラー 9-4
　ルームミラー 9-2

メ

メーター
　オドメーター（積算距離計） 8-3
　駆動用バッテリー残量計 8-8
　スピードメーター 8-2
　トリップメーター（区間距離計） .. 8-3
　パワーメーター 8-2
メンテナンスデータ 16-2

ユ

ユーティリティーナット 10-9

ラ

ライセンスランプ（番号灯）
　バルブ（電球）の交換 15-44
　バルブ（電球）のワット数 15-37
ライトスイッチ 8-13
ラゲッジルームランプ 10-7
ランプ
　バルブ（電球）の交換 15-38
　ワット数 15-37

リ

リヤアンダーミラー 9-4
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 8-22
リヤウォッシャースイッチ 8-22
リヤコンビネーションランプ
　バルブ（電球）の交換 15-43
　バルブ（電球）のワット数 15-37
リヤワイパー／ウォッシャースイッチ 8-22

ル

ルームミラー 9-2
ルームランプ（室内灯） 10-6
　バルブ（電球）のワット数 15-38

レ

冷却水 16-2

17

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

コンデンスタンク（温水ヒーター液）の位置 1-6
コンデンスタンク（冷却水）の位置... 1-7
冬期前の点検と準備 14-2
冷却水量の点検・補給 ..... M
READY（走行可能）表示灯 8-10

ワ

ワイパー
フロントワイパースイッチ 8-21
リヤワイパースイッチ 8-22
ワックス 13-6

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。